

〔資料〕

## 惟宝蓮体『真言礦石集』翻刻と解題（その二）

関口 静雄・寺津 麻理絵

### 〔解題3〕「妙香印法」奥書にみる近世戒律復興

#### 1 覚彦浄厳

泉州大鳥山神鳳寺は槇尾西明寺・河内野中寺と並んで律院三僧坊と称され、近世戒律復興の拠点として多くの末寺と学侶を擁し盛隆を極めた。惟宝蓮体の師である覚彦浄厳は、寛文十一年（一六七二）に高野山の交衆を辞し、郷里の河内に戻ると、延宝元年（一六七三）三月、三十五歳の時、「密乗ノ人ハ持戒ニアラザレバ、悉地ヲ得ザルコトヲ」思い、師の真政を招じて神鳳寺を復興し、戒律復興を先導する快円房恵空に従って菩薩戒を受けた。快円と浄厳は高野山南院の良意から安流を伝受したのであり、七歳年長の快円は同門の先達として、浄厳にとって頼りやすい存在だった。おそらく菩薩戒授受は神鳳寺ではなく、当時快円が住持していた住吉の地藏院であったと考えられるが、神鳳寺は浄厳にとって因縁深い律苑であった。

浄厳は菩薩戒を受けた翌延宝二年（一六七四）四月、「妙香印法」を書写して快円に奉献した。もちろんこれは快円の法恩に対する報恩のためでもあったが、蓮体の『浄厳大和尚行状記』によると、この頃の浄厳は「諸流ノ事相ノ聖教印契真言ニ謬リ多キコトヲ歎テ」いたと伝えるから、聖教・

印契・真言の謬りを正そうと、書写しては校正するといった自身の行業の一端を快円に示したのである。

『浄厳大和尚行状記』によると、浄厳は仁和寺中興の尊寿院顕証より受法したいと冀い、延宝二年三月、観心寺地藏院の龍海とともに上京し、東山栗田口の天王坊歆喜院裏に寓居し、歆喜院主湛海及び快円の師である真政と交友を深め、真政の『修善要法集』『観行要法集』の校正を助けている。龍海は延宝二年九月、湛海は同四年正月に神鳳寺において真政に従い具足戒を受戒したことが『泉州大鳥山神鳳寺一派衆僧名帳』<sup>〔注1〕</sup>によって知られるが、この『一派衆僧名帳』に龍海とともに上京した浄厳の名を見出すことができない。

大鳥派の真政・快円・龍海・湛海等と親密な交流があった浄厳ではあるが、しかし浄厳は延宝四年（一六七六）五月十四日、神鳳寺の近くに自ら創建した上神谷の高山寺において、興正菩薩叡尊の行実を追慕し、その作法次第に法って、紀州名草郡和佐慈光寺の玄忍恵海房大徳を証明師として、恵隆慈念房とともに自誓受戒を遂げたのであった。このことは後に、あくまで真言を宗として如法の真言師たらんと律を護持する浄厳によって唱導された如法真言律の思想が、真言律を標榜し受戒の道場として開かれていた神鳳寺と相容れなかったことを意味している。浄厳はこの頃すでに延命



延命寺本堂

寺を如法真言律の道場として整備していたのであり、やがて悲願とする如法真言律の本寺である江戸靈雲寺の創建へと繋がる一連の流れを、その脳裏に想い描いていたものと推察せられる。

浄厳は快円より菩薩戒を受けた翌延宝二年四月五日、「妙香印法」を書写して快円に奉獻すると、同月二十三日より仁和寺において、念願であった顕証に従って西院流の四度加行を開白している。しかし、加行の終わらぬうちに顕証の老衰

が甚だしく、ために儀軌の伝受は真乗院孝源に従うことになった。この仁和寺における始終三年に及ぶ伝受の日々は、浄厳にとってよほど充実していたようで、その一端は歓喜のあまりに詠んだ一絶からも窺うことができる。

仁和寺<sup>ニシテ</sup>侍<sup>ニ</sup>孝源闍梨法筵<sup>一</sup>

日日<sup>シ</sup>転<sup>ル</sup>来<sup>ル</sup>正法輪<sup>ニ</sup> 万年<sup>ノ</sup>橋木已<sup>ニ</sup>回<sup>ス</sup>春<sup>ヲ</sup>

舌端不<sup>レ</sup>二<sup>ドモ</sup>是<sup>レ</sup>自家帚<sup>ニ</sup> 稍覺<sup>フ</sup>掃<sup>ニ</sup>除心裏塵<sup>一</sup>

浄厳は仁和寺止住の間、梅尾法鼓台の弘法大師御請来儀軌を藉りて連日書校に励み、その助筆に龍海と、延宝二年一月に十二歳で出家したばかりの妙厳、すなわち後の蓮体の参加があったことが生駒宝山寺に伝わる契冲書写の儀軌奥書から知られる。これは浄厳と蓮体の動向が窺われて極めて注目に値することであって、出家直後の年若い蓮体がすでに相当の学識を備えていただろうことを予想させるし、常に師の傍に随従して薫陶を受けながら、師の行業を援けていたことを推量させるのである。

蓮体の撰述した『真言礦石集』には、随所に密教的な要素が織り交ぜられ、さらには刻された多種多様な漢字字体も、その一々が何らかの意図をもって配されたのだろうことが推察されるが、それも蓮体が年若い頃より浄厳に随従して第一級の儀軌や聖教を閲覧し、寸暇を惜しんで書写校合に励み研鑽蓄積していった知識を母胎に生み出されたものであった。こうした蓮体の書写校合活動は、自身が中興した地藏寺で、その生涯を終えるまで倦むことなく続けられたのである。

なお、浄厳が醍醐・野山所伝の聖教と明版・高麗版の異同を点校し、世に名高い黄檗鉄眼の大藏經の梓行にあたって、秘密儀軌の刊行を企てたのもこの流れを受けてのことである。

## 2 「妙香印法」の浄厳奥書

「妙香印法」は、正しくは「観自在菩薩大悲智印周遍法界利益衆生薰真如法」（二巻）といい、「観自在菩薩薰真言香印法」、また「妙香印法」などと称される。観想の次第と効験を説いたもので、西方極樂世界に生じ、衆生を利益せんと願う瑜伽人は、阿闍梨に従って蓮華儀を受け、広く供養を述べて念詞の法をなすべしと教えている。その観想を行ずる際に香を焚くのであるが、壇中の香炉などについて指示がある。すなわち、香炉の中に阿弥陀如来の種子である<sup>キリク</sup>の型に香を盛り、香炉の蓋には<sup>フシ</sup>、縛日羅達<sup>マ</sup>摩等の五梵字を刻んで煙出しとするが、この五梵字は絃哩字と合わせて阿弥陀仏の真言となる。蓋の中央に独鈷杵を立て、その尖端に八葉開蓮華を安ずるが、これは観自在菩薩の三昧耶形であって、阿弥陀仏は観自在菩薩の果位の仏であるから、真言を念誦すれば命終の後には極樂上品の生を得るといっているのである。

さて、浄厳が自ら書写して快円に奉獻した「妙香印法」の底本は、おそらく今も梅尾高山寺に所蔵される文龜元年（一五〇一）十一月二十三日に

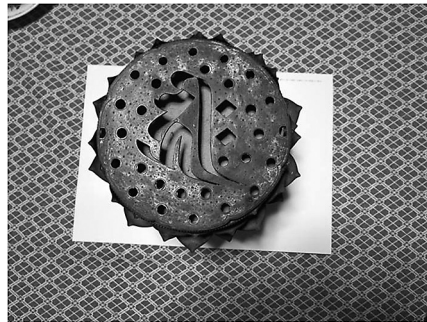




野中寺所蔵香炉



地藏寺所蔵香炉



笠簷が書写した一本かと思われるが、今日伝えられる「妙香印法」の伝本中に浄嚴の名が記されたものが散見する。家蔵の写本（翻刻文を後掲する）もその一つで、表表紙に「法慧」と所持者であろう僧名が記され、巻末の奥書に、

延宝二年四月五日書写之

奉献和上快円大苾芻了

弟子浄嚴

享保庚戌年泉州大鳥山輪住之序<sub>ニ</sub>以浄公<sub>ノ</sub>之

手書之本書写<sub>了</sub> 同七月七日也 比丘觀慧

享保十八<sub>癸丑</sub>年於<sub>テ</sub>浄智精舎<sub>ニ</sub>修<sub>ス</sub>輪王<sub>ノ</sub>法<sub>ヲ</sub>于<sub>レ</sub>時

秀春公寄<sub>ニ</sub>付<sub>ス</sub>香炉<sub>ヲ</sub>序<sub>ニ</sub>書<sub>レ</sub>之五月二十一日

沙弥寂潭

とあり、浄嚴が書写して快円に奉献した「妙香印法」の転写本であると知られる。右の奥書によれば、享保庚戌年すなわち享保十五年（一七三〇）に神鳳寺の觀慧が浄公、すなわち浄嚴の自筆本を閲覧する機会を得てこれを書写し、さらにその三年後の享保十八年（一七三三）に、寂潭なる人物が浄智精舎において輪王法を修した折に、秀春公なる人物より香炉の寄付を受け、その所縁によって觀慧書写本を書写したのである。

觀慧は『泉州大鳥山神鳳寺一派衆僧名帳』に載る快運房觀慧で、右の『衆僧名帳』には「具戒得時元禄十一年正月十四辰時中分中／元文三戊午正月廿二日寂」と記されている。しかし、寂潭・秀春公・法慧については、いずれも神鳳寺に関係深い人物たちと思われるが、明確な資料を見出せないでいる。

ともあれ、近世を通じて盛隆を誇った神鳳寺は、明治に入り廃仏毀釈の煽りを受けて廃寺となり、仏像や聖教類の多くが末寺の大阪堺市の百舌鳥八幡宮に隣接する光明院に移された。この光明院にも浄嚴の名が記された「妙香印法」が伝わる。『妙香印図軌』と称されるもので、その奥書は次のようである。

延宝二年四月五日書写之

奉献和上快円大苾芻了 弟子浄嚴

維安永三次甲午春二月三日以淨嚴和上御自筆本

於大鳥山月直寮小比丘義勇謹贍之者也

前記した家蔵本「妙香印法」と書名が異なるが、奥書に淨嚴が延宝二年四月五日に書写し快円に奉獻したとの記載があつて、安永三年（一七七四）に大鳥山月直寮の義勇が淨嚴自筆本を書写したものと知られる。『泉州大鳥山神鳳寺一派衆僧名帳』に守口房義勇の名があり、受戒をしたのが明和七年（一七七〇）二月二十九日、没年を安永四年（一七七五）と伝えるから、義勇は淨嚴自筆本「妙香印法」を書写した翌年に没したのである。<sup>(注2)</sup>

このように、淨嚴が書写した「妙香印法」は、戒律復興を担う神鳳寺にあつて、斯道に励む僧侶たちによって、あたかも聖跡のごとく伝えられていた一端を窺うことができる。それは、豊山長谷寺にあつても同様であつた。

### 3 無等と秘密儀軌

淨嚴の影響を強く受けた人物に大和長谷寺妙音院の本寂房無等がいる。無等は武蔵国大里郡広瀬村に生まれ、元禄十二年（二六九）に同国瀬山村正福寺鏡秀の弟子となり、その年の九月に針ヶ谷弘光寺の日叙のもとで出家した。延享二年（一七四五）には能満院の住職につき、同四年には慈心院に移って法印となり、寛延二年（一七四九）には武蔵国中野の宝仙寺に移っている。無等が極めて優れた学僧であつたことは、長谷寺において『大日経疏』の講義が数百回にわたって開かれていたことや、その記録である『大日経疏探蹟録』（十八巻）が一山において高い評価を得ていたことから知られるが、またその弟子には、後に長谷寺三十二世を務めた智幢房法住や、淨嚴が中興した河内延命寺の七世を継いだ勇心房真常がいることから、無等が子弟の教育にも優れた人物であつたことが窺い知られる。

無等もまた淨嚴書写本「妙香印法」を閲覧し、それを書写している。「大正新脩大藏經」に収載された「觀自在菩薩大悲智印周遍法界利益衆生薰眞如法」の奥書には次のようにある。

觀自在妙香印法一卷

享保龍集乙卯仲夏之穀。以淨嚴和尚之点本。將讐校之寿梓。而以香

煙輝眞如雲覆刹塵

大和長谷妙音院輪下沙門無等誌

右に見るように、無等は享保二十年（一七三五）の夏、『觀自在妙香印法』一卷を淨嚴の点本をもつて讐校し、これを寿梓版行したと記している。それは『觀自在妙香印法』一卷をのみ開板したものとも考えられるが、おそらく自身で編集版行した『秘密儀軌』に収め得たことをいうのであろう。たとえば九州大学図書館に、無等が儀軌を編集刊行した『秘密儀軌』八冊が所蔵されているが、この中に『觀自在妙香印法』一卷が収録されているからである。

この『秘密儀軌』選集にあたって、無等が淨嚴の行業を尊重していたことは、同書に収められた『慈氏菩薩略修愈識念誦法』下刊末の奥書から窺うことができる。

大中九年九月七日珍記又於同時檢勘之珍記少疑不少八家録云行運円覚加本然今所校刻之本奥載智証大師檢勘之記以之見此則智証所請来本乎詳今以淨嚴和上点本及異本挑灯讐校之鏤布普天而以期珊瑚殿上之嘉会耳 肯元文五上章渚灘十二月朔旦 豊山妙音輪下沙門無等

淨嚴の点本と異本をならべて讐校したとあるように、無等が事相に明るく、かつ校勘作業に極めて慎重で丁寧な人物であつたことが察せられる。『秘密儀軌』に収録された諸儀軌の奥書には「讐校」の二文字が散見

するが、その姿勢はまさに浄厳が仁和寺にありし日、儀軌の整備に備え、梅尾法鼓台の儀軌を書写し、異本と対校していた姿に重なる。河内延命寺には、無等が浄厳の行業を追って、浄厳自筆本を書写した『安祥寺流折紙伝授日記』（享保十八年写）、『宝珠法』（元文三年写）が伝えられている。

無等もまた、成熟しつつある近世戒律復興の渦中において、熱心な聖教・典籍の書写活動を通じて浄厳の跡を追い求め、『秘密儀軌』八冊の刊行を成就したのであるが、それはとりもなおさず、浄厳の奥書を有した儀軌や聖教が、他山の豊山長谷寺においても極めて尊重に値する、あたかも聖跡のごとき価値を有するものと考えられていたからである。

#### 4 蓮の華の如く

そもそも、大部の儀軌を開版し世に弘通をはかったのは浄厳が最初であった。浄厳は多忙の日々にあつて寸暇を惜しんで儀軌を書写し、吟味しては誤りを正す作業に励んだ。その成果は黄檗印房より八帙七十四冊の儀軌と目録一卷の刊行と、中古途絶えていた儀軌伝授の整備に大きな道筋をつけた。儀軌伝授は生涯に七回、そのうち皆伝は五回を数える。後に靈雲寺二世となる高弟の慧光は、貞享三年（一六八六）から四年にかけて江戸牛込の多聞院において行われた第三回目の儀軌伝授を聴聞し、「貞享丙寅之年、稟<sup>ニ</sup>受<sup>ニ</sup>囊<sup>ニ</sup>祖<sup>ニ</sup>請<sup>ニ</sup>来<sup>ニ</sup>秘密<sup>ニ</sup>經<sup>ニ</sup>軌<sup>ニ</sup>得<sup>ニ</sup>未<sup>ニ</sup>曾<sup>ニ</sup>有<sup>ニ</sup>、身<sup>ニ</sup>毛<sup>ニ</sup>皆<sup>ニ</sup>豎<sup>ニ</sup>」<sup>ヨツテス</sup>と、その衝撃を自著『秘密瑜伽學習捷図』（元禄六年刊）の序文に記している。慧光の「胎藏法儀軌」四部十一巻の開版も先師の偉業を忠実に継承したものであり、その遺風は慧光の門流で「妙香印法」を採録した豊山長谷寺の無等の『秘密儀軌』、及びその弟子法住の六十七部の「享保儀軌」、快道の四十四部の「享和儀軌」が長谷寺から開版され、無等のもとで研鑽した延命寺七世真常の「諸儀軌稟承録」十三巻へと継がれて行ったのである。

秘密の儀軌を版行し、広く世間に公開することについて当然反対の声も

あった。宗内外から漏れ聞こえる批判に抗して、それでもなお浄厳は儀軌を書写し、諸本と校合しては儀軌本文を整備し、それを版に刻んで公刊し、そしてさらにそれをテキストとして弟子たちに儀軌の伝授を施していった。それは、延命寺においては如法真言律を唱導し、江戸にあっては新安祥寺流を確立して靈雲寺を創建した浄厳の、一山一派を担う開山和尚としての覚悟にほかならなかった。

梅尾高山寺に、「録外秘密經軌目録」（享保七年写）がつたわる。これは浄厳が比叡山横川禅定院主獅絃に呈した聖教で、獅絃は元禄十二年（一六九九）七月から八月に靈雲寺において行われた第六回目の儀軌講伝において、浄厳から蘇悉地等数部を伝受している。

右伝授之<sup>ヲ</sup>了<sup>ス</sup>。且<sup>ツ</sup>任<sup>レ</sup>便<sup>ニ</sup>載<sup>ス</sup>疑<sup>ニ</sup>偽<sup>ニ</sup>及<sup>ニ</sup>偽<sup>ニ</sup>造<sup>ニ</sup>經<sup>ニ</sup>軌<sup>ニ</sup>。冀<sup>ク</sup>ハ弘<sup>ニ</sup>通<sup>ニ</sup>後<sup>ニ</sup>葉<sup>ニ</sup>興<sup>ニ</sup>隆<sup>ニ</sup>セ<sup>ハ</sup>如<sup>ク</sup>法<sup>ノ</sup>之<sup>ノ</sup>行<sup>ノ</sup>業<sup>ヲ</sup>者。是<sup>ハ</sup>貧<sup>ニ</sup>道<sup>ノ</sup>カ<sup>ノ</sup>之<sup>ノ</sup>大<sup>ニ</sup>幸<sup>ニ</sup>ナ<sup>ラ</sup>ン也。故<sup>ニ</sup>識<sup>ス</sup>。

元禄十二年星紀己卯秋八月二十一日 武城北郊靈雲開基六十一老浄厳欽<sup>テ</sup>呈<sup>ス</sup>  
叡嶽横川禅定大徳獅絃函文<sup>ニ</sup>。

横川禅定院は天台の名刹であり、その院主位にある獅絃が、他宗のそれも創建して間もない靈雲寺にわざわざ足を運び、浄厳から儀軌を伝受したのである。このことは、浄厳によって体系的に整備された儀軌を用いた伝受を、いかに仏教界全体が欲していたかを象徴しているように思われる。浄厳の悲願は、自身の整備した儀軌の弘通は勿論のことながら、儀軌を用いた靈雲寺や延命寺での人材育成であったと考えられるから、浄厳は儀軌の伝授について宗門の枠を設けるようなことはしなかったのである。

先師の行業を継承するために連体もまた儀軌を整備し、伝授をしている。宝永五年（一七〇八）四十六歳のときに草した『秘密經軌伝授記』のはじめの一章には、「宝永戊子年四月十六日受者四十五人／河南 葉樹山延命寺連体四十六歳臘十九」とあり、続いて浄厳による儀軌伝授の功績を称



えて、この度の伝授が浄嚴の七回忌にあたり、弟子仏祖の広恩に酬い、先師の罔極に報いんがため竊かに伝授の筵を開いたと記している。

蓮体は『浄嚴大和尚行狀記』に、浄嚴が平生、蓮華を愛好していたと記している。蓮華は、「妙香印法」の一文に、「たとえ惡濁した世間に交わろうとも、衆生を済度し美しく咲く蓮華の如く」とあるように、浄嚴は儀軌開版という種をまき、惜しめない儀軌伝授を行い、泥の如く濁った真言宗内ひいては仏教界で、後葉たちが正法興隆の蓮の華となる日を渴望していたはずである。

浄嚴の願いは、蓮体は勿論ながら、後に慧光や真常、さらには他山の無等や法住といった後葉たちによって結実するのだが、近世戒律復興における浄嚴の行業の偉大さとその影響の甚大なことは計り知れない。

## 5 結 語

次のような奥書を有する「妙香印法」の書写伝本がある。家蔵のものであるが、表紙に「観自在妙香印法」とあり、巻尾に、

元禄十六年癸未四月十五日以師主前法務

御自毫写之重可改書也

金剛仏子寛順

元禄十六年十月七日以右奥書書御本写之記

金資祐誉

延享二乙丑季秋性善律師以御本書權之

介乗快真

とある。寛順と祐誉はともに醍醐寺三宝院流報恩院方の血脈に連なる真言僧で、寛順は報恩院大僧正位にあり、祐誉に次第相承を施している。祐誉は後に洞泉房性善と改名し、近世戒律復興の拠点であった槇尾西明寺に伝

わる『槇尾山自誓受具同戒録』に名を連ね、のちに南都東大寺戒壇院長老職を務めた碩徳である。奇しくも、性善は先の豊山長谷寺の無等のもとで学んだのち、他山の学にふれたいと願った長谷寺能化の法住に密教を伝授している。

また、寛順の記す「師主前法務」は寛済であろうから、寛済―寛順―祐誉の流れは、唐招提寺山内の律宗戒学院三宝院経蔵に所蔵される曉了の書写資料の中にも見出すことができる。<sup>(注3)</sup>

すなわち、包紙に『印仏作法』と記されたわずか一紙の折紙の、さらにそれを包んだ包紙に、

此印仏作法以祖師釈迦院僧全隆勝 御自筆之本書之 末資寛済

右以御自□書写畢 末弟寛順

右以御自筆写之了 祐誉

右以御本写之畢 曉了

と記されている。この折紙を書写した智玄房曉了もまた性善と同じく槇尾西明寺に学び、明和九年（一七七二）十一月十一日に同寺で自誓受具を果たし、のちに東大寺戒壇院主に就いている。曉了のおよそ四十七年に及ぶ膨大な数量の書写活動は、極めて真摯で優れ、律僧のあるべき姿といえる。以上述べ来たったように、その奥書に浄嚴の名が記された「妙香印法」の諸伝本をめぐって、神鳳寺の無名に近い僧たちの熱心な書写活動や、浄嚴の遺風を継ぐ無等や浄嚴の門葉である僧たちの秘密儀軌の大成という流れが見えてきた。さらには浄嚴と直接のつながりはないものの、槇尾西明寺において自誓受戒を成就した性善や曉了もまた、等しく近世戒律復興のただなかであって、確かな足跡を残している。その源を遡れば、すべては槇尾西明寺において自誓受戒を行い、これをもって江戸時代の戒律復興の夜明けとした俊正房明忍に帰するが、これについては後考に期したい。



注1 研究代表者稲城信子『日本における戒律伝播の研究』（平成十六年三月、元興寺文化財研究所）所載。

注2 光明院には義勇の名を確認できる文書が他にも伝わる。『祭礼導師法則』の奥書には、「安永三龍集甲午正月廿又七日 在於泉南大鳥山神鳳僧寺進度別住 紫冥柳城沙門義勇謹贈之」と書き付けられている。

注3 関口・松本・寺津「律宗戒学院所蔵曉了書写資料について」（昭和女子大学大学院生活機構研究科紀要」Vol. 20 二〇一一年三月）所載「律宗戒学院所蔵曉了書写資料目録」C183「印仏作法」。

### 【妙香印法】翻刻凡例】

- 一、底本には家蔵本を用いた。紙縫綴装、縦二三糎・横一七糎、墨付七丁。
- 一、漢字および片仮名は通行の字体に改めた。
- 一、句読点は私に施し、判読不能の字は□で示した。

※

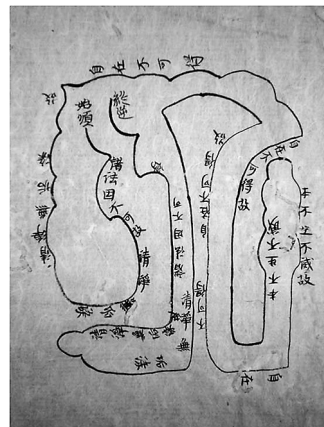
妙香印法 法慧

観自在菩薩大悲智印周遍法界利益衆生薰真如法一卷

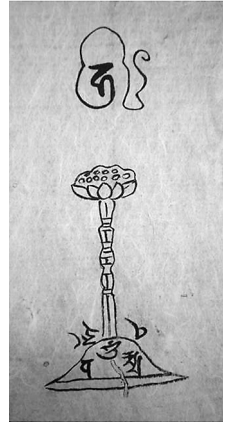
大唐特進試鴻臚卿加開府儀同三司封肅国公贈司空諡大弁正大広智不空三蔵和尚訳

我レ蒙テ毘盧遮那ノ聖旨一ヲ、而説ニ観自在摩訶枳儼母怛羅ノ法一ヲ、若シ有テ修ル瑜伽ノ人、欲ス生ニ西方極樂世界ニ利益セント衆生ノ者、即從テ阿遮梨耶ノ有ニ智慧ノ者ニ、而受ニ蓮華念法儀一、広ク陳ニ供養ニ作ニ念誦ノ法一ヲ。於ニ其ノ壇中ニ安置ス香炉一ヲ。其ノ香炉含ニ撰観自在周遍法界ノ之相一ヲ。以何ヲ為ニ相ト。即其ノ香印ニ應レ作ニ「呪哩」ノ二合文一ヲ、智業不可得□、□ニ四種ノ義一ヲ。カライハ、アキニ合シテ成ニ一字一ヲ。其ノ梵文ハ、是也。賀字諸法因不可得。羅字清淨無垢染。伊字自在不可得。惡字本不生不滅。是レヲ為ニ順ノ義一ト。本不生不滅。自在不可得。清淨無垢染。諸法因不可得。是レヲ為ニ逆ノ義一ト。

逆順相応シテ顯ニ香印ノ文一ヲ。我レ作ル其ノ図一ヲ。



是ノ妙香印ノ名ニ大悲拔苦一ト。所以者何トナレハ。依ニ燒ノ之次第、而顯ニ真実ノ理一ヲ、若シ燒尽ス時ハ、表ニ若ハ順若ハ逆、遂ニ歸ニ空法一也。應ニ當ニ觀察ス。從ニ「呪哩」ノ一字、出ニ生ニ「庵縛日羅」ニ合達摩等ノ五字一。一一ノ字ノ中ニ出生ス無量ノ字門一。一字門化シテ作ニ一切ノ仏菩薩身一ト。一一ノ化身周ニ遍シテ法界ニ、利益ス衆生一。是レ故ニ行者得ニ無量ノ福德悉地圓滿一ト。蒙ニ諸仏ノ護、現世安穩ニ無諸障礙、如ニ妙蓮華一。見者ノ愛惜セン此ノ身一ヲ。已得レ生ニ極樂上品ノ蓮ノ中一。其ノ有ニ利根智慧方便一、現身ニ得ニ陀羅尼一。名ニ不染、世々ニ所生之處身出ニ妙香遍ニ十方国ニ衆生得ニ熏皆証不退一。如是ノ功德不レ可ニ具説一。其ノ香炉蓋ノ上ニ、可レ雕縛日羅合達摩ノ字一。首ニ加ニ「庵縛日羅」以ニ為ニ五字一ト可達。其ノ蓋ノ中央ニ應レ立ニ三昧耶形一。一鉢杵ノ上ニ安ニ開ケル八葉ノ蓮華一。是如上ノ五字圍ニ遶此ノ三昧耶一。三昧耶者是レ本誓之形也。若シ見ニ此ノ形一作ニ「礼」專念スレハ、即証ニ蓮華ノ性一ト。所以ニ生ニ極樂ノ者更ニ不染レ世ニ。設ヒ交ニ世間、度ニ二衆生ノ如蓮華ノ不中レカニ為ニ諸垢ノ所ニ染セ也。皆由ニ過去ノ本誓願力ニ故。証ニ此ノ果也。是レ故ニ行者立ニ此ノ三昧耶形一、應ニ專ニ念シテ之ニ而作是ノ想上ト。其ノ文之香煙成ニ此ノ三昧耶形一ト。此形更ニ為ニ本尊ノ形体一ト。表ニ因ノ時ノ本誓、遂ニ為ニ二果時ノ色一ト。是ニ三昧耶ノ義也。燒香ノ之時結ニ本尊契一ヲ、誦ニ是本真言印レ之。即得ニ成就一ト。其蓋ノ図如斯。



得<sup>レ</sup>入<sup>ニ</sup>此<sup>ノ</sup>輪<sup>一</sup>至<sup>ニ</sup>無上菩提<sup>一</sup>。若欲<sup>ニ</sup>不聞<sup>ニ</sup>常誦<sup>ニ</sup>真言<sup>一</sup>。然<sup>一</sup>而末離<sup>ニ</sup>攀緣<sup>一</sup>擬<sup>ニ</sup>懈怠<sup>一</sup>者。但依<sup>ニ</sup>是妙印<sup>一</sup>、応<sup>レ</sup>燒<sup>ク</sup>栴檀妙蓮等<sup>ノ</sup>香<sup>一</sup>。如<sup>ニ</sup>是之<sup>一</sup>每日<sup>ニ</sup>作<sup>ニ</sup>燒香<sup>一</sup>法<sup>一</sup>者。即成<sup>ニ</sup>恒常誦<sup>ニ</sup>持<sup>ニ</sup>金剛法明<sup>一</sup>。何以<sup>ニ</sup>故<sup>一</sup>、如上<sup>ノ</sup>真言<sup>一</sup>字義、皆<sup>ニ</sup>於此<sup>ノ</sup>印香<sup>一</sup>能顯示<sup>ニ</sup>スル<sup>一</sup>故<sup>一</sup>根本印、一<sup>ニ</sup>手金剛縛<sup>一</sup>、二<sup>ニ</sup>頭指頭合<sup>一</sup>如<sup>ニ</sup>蓮華葉<sup>一</sup>。二<sup>ニ</sup>大指並<sup>一</sup>立<sup>ニ</sup>即成<sup>一</sup>。真言<sup>ニ</sup>曰<sup>一</sup>、  
ランバザダラマキヤク  
ウバヤク

若<sup>シ</sup>人持<sup>ニ</sup>此<sup>ノ</sup>一字<sup>一</sup>真言<sup>一</sup>、能除<sup>ニ</sup>一切<sup>一</sup>災禍疾病<sup>一</sup>、命終<sup>ノ</sup>之後<sup>ニ</sup>常<sup>ニ</sup>得<sup>ニ</sup>極樂上品<sup>一</sup>之生<sup>一</sup>。余<sup>ノ</sup>諸<sup>ノ</sup>所求世間出世<sup>ノ</sup>大願隨<sup>レ</sup>持<sup>ニ</sup>得<sup>レ</sup>成<sup>コトヲ</sup>。何<sup>ニ</sup>況<sup>一</sup>依<sup>ニ</sup>此教法<sup>一</sup>而修行<sup>スレハ</sup>者、一切悉地不<sup>レ</sup>久<sup>一</sup>円滿<sup>ス</sup>也。  
觀自在菩薩薰真如香印法説<sup>コトハ</sup>已<sup>ニ</sup>竟<sup>ス</sup>。

延宝二年四月五日書写之

奉獻和上快円大苾芻了

弟子淨嚴

享保庚戌年泉州大鳥山輪住之序<sup>ニ</sup>以淨公<sup>一</sup>之

手書之本書写了同七月七日也

比丘觀慧

享保十八<sup>癸丑</sup>年於<sup>ニ</sup>淨智精舍<sup>一</sup>修<sup>ニ</sup>輪王<sup>一</sup>法<sup>ヲ</sup>于<sup>レ</sup>時

秀春公寄<sup>ニ</sup>付<sup>一</sup>香炉<sup>一</sup>序<sup>ニ</sup>書<sup>レ</sup>之五月二十一日

沙弥寂潭

#### 『付記』

小稿をなすにあたり、葉樹山延命寺の上田靈宣御住職、青龍山野中寺の野口眞戒御住職、九華山地蔵寺の堀智真御住職には写真掲載の御許可をはじめ、格別の御配慮をいただきました。また掲載した写真はすべて、調査に御同行いただいた山田ちひろさんが撮影し、文書資料の修補・表装には岩城佑希さん、山田さんが尽力下さいました。末筆ながら、御各位のご厚意に深く感謝申し上げます。

なお、『真言鑛石集』第二冊目の読解と翻刻およびデータ入力に、次の歴史文化学科の現三年生諸氏が精励せられました。

岩城佑希 小野詩織 菊地えり 鈴木柚佳里  
また、編集・校正作業に、次の日本語日本文学科・歴史文化学科の現二年生諸氏の協力をいただきました。

岡本夏奈 家田佳奈 伊藤奈海 岩田枝里香 川又 愛  
酒井美妃 鈴木 花 榎木晴香 山田ちひろ 細川 環  
各位の労を銘記し、御礼申し上げます。

(寺津麻理絵)

#### 【凡例】

- 一、底本には宮島コレクション所蔵の元禄六年刊の四冊本を採った。
- 一、上段に写真影印を置き、下段に翻刻文を付した。
- 一、翻刻にあたって、漢字は可能な限り底本に近い字体を採った。よって複数の字体が混用されていても、あえて統一しなかった。ただし、仮名については、合略仮名を元に戻すなどした上で、すべて通行の字体に改めた。
- 一、清濁、句読点も原文のままにした。ただし、「叙」の読点は右に寄せた。
- 一、右ルビは原文のままに付したが、左ルビは（ ）に入れ、当該下に置いた。
- 一、音訓および発音を示す記符号は省略した。
- 一、判読不能の箇所は□で示した。



共四

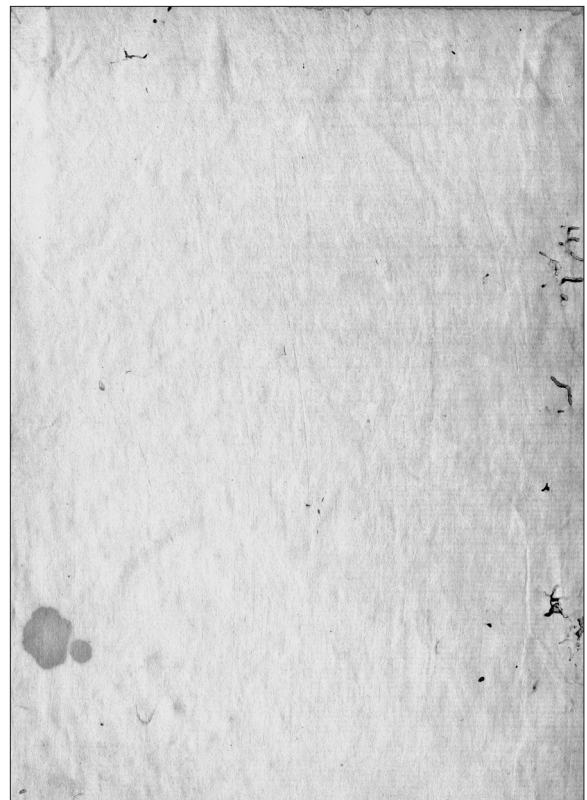
普照

○

礦石集

「  
②表表紙

真言	地蔵菩薩ノ告ヲ蒙リテ石像ヲ掘出セシ事
河内高安郡	山畑村石地藏ノ事
河内鬼住延命寺	地藏尊ノ事
河内長野村阿弥陀寺	地藏尊ノ事
阿州伊津ノ人所持ノ地藏尊ノ事	
河内石見川藥及ビ藥師如來ノ緣起並ニ佛ヲ偷ムノ辨	
天竺健陀羅國ノ畫像ノ事	附阿育王前生ノ事
和州ノ石地藏童子ノ供ヲ受玉フ事	
德行才智アル童子ノ事	
大坂天王寺屋父子地藏ノ引攝ニ預リシ事	
唐ノ惟岸法師及ヒ童子淨土ニ往生セル事	



真言	地蔵菩薩ノ告ヲ蒙リテ石像ヲ掘出セシ事
河内高安郡	山畑村石地藏ノ事
河内鬼住延命寺	地藏尊ノ事
河内長野村阿弥陀寺	地藏尊ノ事
阿州伊津ノ人所持ノ地藏尊ノ事	
河内石見川藥及ビ藥師如來ノ緣起並ニ佛ヲ偷ムノ辨	
天竺健陀羅國ノ畫像ノ事	附阿育王前生ノ事
和州ノ石地藏童子ノ供ヲ受玉フ事	
德行才智アル童子ノ事	
大坂天王寺屋父子地藏ノ引攝ニ預リシ事	
唐ノ惟岸法師及ヒ童子淨土ニ往生セル事	

(印)

(白丁) ②表表紙見返

②目録01才



河内鳩原村ノ童子辭世ノ歌云事

附白樂天道林和尚問答事

千手三河力事

或人ノ寵童死ノ後ニ夜々來ル事

少年ヲ畜フベカラズト云ノ辨。並ニ智増悲増ノ菩薩ノ事

梁ノ慧布法師。及ビ三種菩提心等ノ事

念佛者ノ癖。並ニ闕支分念佛ノ事

如來出世ノ本懷ノ事

唐ノ法照法師生身ノ文殊ヲ拜スル事

法華經ハ阿弥陀ノ三昧ナル事

法花經ヲ誦シテ舌根壞セザル人ノ事 附唐ノ少康法師ノ事

巖山ノ東塔院ノ圓善法師ノ事

熊野ノ比丘死シテ後モ經ヲ誦スル事

春朝法師慈濟ノ心深キ事

定照法師ノ墓ノ事

唐ノ遂端法師口中ヨリ青蓮花ヲ生スル事

播磨ノ平願法師法花ヲ誦シテ蓮花ヲ感ズル事

一宿上人ノ事

常ニ法華ヲ誦シテ妙法蓮花ヲ感得セシ人ノ事

念佛三昧ヲ修シテ蓮花ヲ感ズル人ノ事

慧心ノ僧都胸ヨリ蓮花ヲ生ズル事

讃岐源太夫發心往生ノ事

畜生佛ヲ念シテ靈感ヲ得ル事

目錄畢

河内鳩原村ノ童子辭世ノ歌云事 附白樂天道林和尚問答ノ事

千手三河力事

或人ノ寵童死シテ後ニ夜々來ル事

少年ヲ畜フベカラズト云ノ辨。並ニ智増悲増ノ菩薩ノ事

梁ノ慧布法師。及ビ三種菩提心等ノ事

念佛者ノ癖。並ニ闕支分念佛ノ事

如來出世ノ本懷ノ事

唐ノ法照法師生身ノ文殊ヲ拜スル事

法華經ハ阿弥陀ノ三昧ナル事

法花經ヲ誦シテ舌根壞セザル人ノ事 附唐ノ少康法師ノ事

巖山ノ東塔院ノ圓善法師ノ事

熊野ノ比丘死シテ後モ經ヲ誦スル事

春朝法師慈濟ノ心深キ事

定照法師ノ墓ノ事

唐ノ遂端法師口中ヨリ青蓮花ヲ生スル事

播磨ノ平願法師法花ヲ誦シテ蓮花ヲ感ズル事

一宿上人ノ事

常ニ法華ヲ誦シテ妙法蓮花ヲ感得セシ人ノ事

念佛三昧ヲ修シテ蓮花ヲ感ズル人ノ事

慧心ノ僧都胸ヨリ蓮花ヲ生ズル事

讃岐源太夫發心往生ノ事

畜生佛ヲ念シテ靈感ヲ得ル事

目錄畢 ②目錄02オ

②目錄01ウ

礦石集第二

地藏菩薩ノ告ヲ蒙リテ石像ヲ掘出セシ事

泉州大津ニ正木長兵衛ト云人アリ。此人慶安ノ初メ家ヲ造ラントテ地引ナドシテ。明日ハ礎固柱立ナド、定メシニ。其夜ノ夢ニ。高貴僧ノ杖ツキテ來リ玉ヒ。長兵衛ニ告玉ハク。我ハ此家ノ地中ニ久シク住スル者ナリ。汝今度家ヲ造ラントス。然ラバ願クハ我ヲ掘イダセ。若今度イダサズンバ。我何レノ年ニカ出ヅベキトアリケレバ。長兵衛アト答ヘケリ。又眠リタルニ。曉ニ又夢ラク。先ノ僧來テ必ス我ヲ掘ダセ。忘ルハコトナカレト再三告玉ヘリ。長兵衛唯唯ト答ヘケリ。妻其ノ傍ニ臥シケルガ。彼ノ兩三度ノ唯諾ヲヨク聞ケリ。サテ夜明テモ夢ノコトハ人ニモ語ラズ。唯衆人ニ告テ曰ク。今日石

礦石集第二

地藏菩薩ノ告ヲ蒙リテ石像ヲ掘出セシ事

泉州大津ニ正木長兵衛ト云人アリ。此人慶安ノ初メ家ヲ造ラントテ地引ナドシテ。明日ハ礎固柱立ナド、定メシニ。其夜ノ夢ニ。高貴僧ノ杖ツキテ來リ玉ヒ。長兵衛ニ告玉ハク。我ハ此家ノ地中ニ久シク住スル者ナリ。汝今度家ヲ造ラントス。然ラバ願クハ我ヲ掘イダセ。若今度イダサズンバ。我何レノ年ニカ出ヅベキトアリケレバ。長兵衛アト答ヘケリ。又眠リタルニ。曉ニ又夢ラク。先ノ僧來テ必ス我ヲ掘ダセ。忘ルハコトナカレト再三告玉ヘリ。長兵衛唯唯ト答ヘケリ。妻其ノ傍ニ臥シケルガ。彼ノ兩三度ノ唯諾ヲヨク聞ケリ。サテ夜明テモ夢ノコトハ人ニモ語ラズ。唯衆人ニ告テ曰ク。今日石

居スヘキナレトモ。思フ子細アレバ延引スルナリトテ。人ヲ雇  
テ。ヒタスラニ地ヲ掘ケリ。衆人怪シミテ。家主ハ狂ゼルヤト  
笑ヒケリ。然ルニ七尺ばかり掘ケレバ。底ニ石アリ。家主此ヲ  
見テソレ損ズルナ。靜ニ掘トゾ下知シケル。掘出シ竟ルニ。地  
藏尊ノ石像ニテゾアリケル。其時家主諸人ニ告テ曰ク。昨  
夜兩回マデ告ヲ蒙リシマ。カクハ掘リシナリトテ。種々ニ  
供養ジケレハ。諸人異口音ニサテモ。不思議ナル靈夢カナト  
アヤシミ尊ミアヘリ。サテヨク。土ヲ洗ヒテ拜スルニ。夢中ニ立カ  
ヘラセ玉ヒシ後容ニ。少モカハラザリケリ。弥信ヲ起シテ。後園ニ小  
堂ヲ造シテ安置シ奉リ。時々香花燈明ヲ供養シ。今現ニ  
泉州大津ニアリ。此事ハ嫡孫大津屋長兵衛。予ニ語ラレ  
タレバ更ニウカレタル事ニアラズ。誠ニ惟ミレバ菩薩ノ大悲ハ限り

居スヘキナレトモ。思フ子細アレバ延引スルナリトテ。人ヲ雇  
テ。ヒタスラニ地ヲ掘ケリ。衆人怪シミテ。家主ハ狂ゼルヤト  
笑ヒケリ。然ルニ七尺ばかり掘ケレバ。底ニ石アリ。家主此ヲ  
見テソレ損ズルナ。靜ニ掘トゾ下知シケル。掘出シ竟ルニ。地  
藏尊ノ石像ニテゾアリケル。其時家主諸人ニ告テ曰ク。昨  
夜兩回マデ告ヲ蒙リシマ。カクハ掘リシナリトテ。種々ニ  
供養ジケレハ。諸人異口音ニサテモ。不思議ナル靈夢カナト  
アヤシミ尊ミアヘリ。サテヨク。土ヲ洗ヒテ拜スルニ。夢中ニ立カ  
ヘラセ玉ヒシ後容ニ。少モカハラザリケリ。弥信ヲ起シテ。後園ニ小  
堂ヲ造シテ安置シ奉リ。時々香花燈明ヲ供養シ。今現ニ  
泉州大津ニアリ。此事ハ嫡孫大津屋長兵衛。予ニ語ラレ  
タレバ更ニウカレタル事ニアラズ。誠ニ惟ミレバ菩薩ノ大悲ハ限り

ナシトイヘトモ。先ツ有縁ヲ度シ玉フ。然ルニ若此人。ソノマ、措  
テ其上ニ家ヲ造リナバ。自ラモ無量ノ罪ヲ得テ。現ニハ災  
殃ヲマネキ。死シテハ劇苦ヲ受ベキコトヲアハレミ。又尊像出サ  
セ玉ヘバ。衆人ノ結縁少ナカラザルコトヲ知シメシテ。殊ニ夢ヲ  
示シ玉ヘリ。家主ノ苦ヲ拔キ。衆人ニ樂ヲ與ヘ玉フ。拔苦與  
樂ノ悲願。アリガタカリケル事トモナリ

#### 河内高安郡山畑村石地藏ノ事

河州高安郡。教興寺ノ北ニ。山畑村ト云アリ。其村ニ一リノ農  
夫アリ。田ツクルニ昔ヨリ我田ノ側ニ。地藏尊ノ石像マシ。ケ  
リ。何ノ世誰ノ人カ香花ヲ備ヘ燈明ヲ挑ケン。久シク廢レテ苔  
ムシ。アサマシクナラセ玉ヒケリ。然ルニ此男。舉手低頭ノ敬モナク。  
口稱南無ノ志モナカリケリ。剩サヘ田作ルニ妨アリトテ。鋤ヲ

#### 河内高安郡山畑村石地藏ノ事

河州。高安郡。教興寺ノ北ニ。山畑村ト云アリ。其村ニ一リノ農  
夫アリ。田ツクルニ昔ヨリ我田ノ側ニ。地藏尊ノ石像マシ。ケ  
リ。何ノ世誰ノ人カ香花ヲ備ヘ燈明ヲ挑ケン。久シク廢レテ苔  
ムシ。アサマシクナラセ玉ヒケリ。然ルニ此男。舉手低頭ノ敬モナク。  
口稱南無ノ志モナカリケリ。剩サヘ田作ルニ妨アリトテ。鋤ヲ



以テ打ケレバ。頸ヨリ折テ。下ナル田ヘ落玉ヒケリ。彼男罪ヲ恐  
ルハ心ハ露バカリモナクテ。却テ快ヨシト思テ。再タビ取擧モセ  
テ捨タリケリ。サテ彼男程ナク煩ヒテ。頸ニ腫物生テ。一年  
ガアヒダ苦痛シ。百療効シアラズ。終ニ翌年去歲ノ地藏尊  
ヲ打折シ。我頸モ折テ落死シケリ。其子教興寺ノ忍空  
律師ノ許ヘ來リテ。始末ノ因縁ヲ語り。懺悔シテ追福回向  
ヲ頼ミケリ。貞享ノ始ノ事ニテ。諸人普ネク知レルコトナリ

河内鬼住延命寺地藏尊ノ事

河州錦部郡。小西見村。藥樹山。延命密寺ハ。弘法大師草創  
ノ寺ナリ。縁起記録等ハ久シク絶テ聞ユルコトナシ。然レトモ本尊  
地藏菩薩ノ尊像ハ。高祖ノ刻彫シ玉ヘル石像ナリ。上古靈驗  
居多ナリトイヘ。古記ナケレバ聞ユルコトナシ。古來ヨリ地藏尊ニ

以テ打ケレバ。頸ヨリ折テ。下ナル田ヘ落玉ヒケリ。彼男罪ヲ恐  
ルハ心ハ露バカリモナクテ。却テ快ヨシト思テ。再タビ取擧モセ  
デ捨タリケリ。サテ彼男程ナク煩ヒテ。頸ニ腫物生テ。一年  
ガアヒダ苦痛シ。百療効シアラズシテ。終ニ翌年去歲ノ地藏尊  
ヲ打折シ。我頸モ折テ落死シケリ。其子教興寺ノ忍空  
律師ノ許ヘ來リテ。始末ノ因縁ヲ語り。懺悔シテ追福回向  
ヲ頼ミケリ。貞享ノ始ノ事ニテ。諸人普ネク知レルコトナリ

河内鬼住延命寺地藏尊ノ事

河州錦部郡。小西見村。藥樹山。延命密寺ハ。弘法大師草創  
ノ寺ナリ。縁起記録等ハ久シク絶テ聞ユルコトナシ。然レトモ本尊  
地藏菩薩ノ尊像ハ。高祖ノ刻彫シ玉ヘル石像ナリ。上古靈驗  
居多ナリトイヘトモ。古記ナケレバ聞ユルコトナシ。古來ヨリ地藏尊ニ

寄附シ奉リシ田數畝アリ。又小池アリ中ニ鮒魚多シ。或人  
竊カニ盜ミ取テ食シケルニ。其人程ナク癩病ヲ受テ終ニ死  
シケリ。又地藏堂ニモ非法濫行ノ僧住スル時ハ必ス災殃アリ。  
心善直信ノ人住スレハ。奇瑞多シ。或ハ安産ヲ祈リ。或ハ病ノ  
除愈ヲ祈ルニ。應スルコト月ノ水ニ印ズルガ如ク。水ノ器ニ隨フニ  
似タリ。又此地ハ如意輪觀音應現ノ地ナリ。吾老和尚再タビ  
寺院ヲ修シテヨリ已來。靈瑞少カラズ。但シ人ノ疑ヲ生ゼンコトヲ  
恐ルハガ故ニ茲ニ記セズ。誠ニ如意輪地藏ハ一體ナレバ。互相ニ利  
益ヲ施シ玉フコト宜ナルカナ。請後來ノ君子。再タビ延命寺ノ  
靈應ヲ記シ續シコトヲ

河内長野村阿弥陀寺地藏尊ノ事

同郡長野村。阿弥陀寺ニ。一尺餘ノ地藏尊アリ。傳ラク聖

寄附シ奉リシ田數畝アリ。又小池アリ中ニ鮒魚多シ。或人  
竊カニ盜ミ取テ食シケルニ。其人程ナク癩病ヲ受テ終ニ死  
シケリ。又地藏堂ニモ非法濫行ノ僧住スル時ハ必ス災殃アリ。  
心善直信ノ人住スレハ。奇瑞多シ。或ハ安産ヲ祈リ。或ハ病ノ  
除愈ヲ祈ルニ。應スルコト月ノ水ニ印ズルガ如ク。水ノ器ニ隨フニ  
似タリ。又此地ハ如意輪觀音應現ノ地ナリ。吾老和尚再タビ  
寺院ヲ修シテヨリ已來。靈瑞少カラズ。但シ人ノ疑ヲ生ゼンコトヲ  
恐ルハガ故ニ茲ニ記セズ。誠ニ如意輪地藏ハ一體ナレバ。互相ニ利  
益ヲ施シ玉フコト宜ナルカナ。請後來ノ君子。再タビ延命寺ノ  
靈應ヲ記シ續シコトヲ

河内長野村阿弥陀寺地藏尊ノ事

同郡長野村。阿弥陀寺ニ。一尺餘ノ地藏尊アリ。傳ラク聖



徳太子ノ作ナリト。威容嚴乎ト。拜スル者畏伏セズト云ナシ。若人佛壇ノ扉ヲ閉スシテ。其近邊ニ倚臥スル時ハ。必ス枕倒シ玉ヘリ。故ニ諸人敬畏シテ禮拜供養ジ上ル。又初ハ在家ニアリシ。故ニ阿弥陀寺ヘ移シ奉ルナリ。又唐久谷村ニ地藏尊アリ。坐像ニシテ尺有餘ナリ。若シ五辛肉ヲ食セル不淨ノ人寺ニ宿スレバ必ズ枕倒シ。又ハ寺外ヘ投出シ玉ヘリ。又堺十輪院ノ地藏尊。靈驗甚多シ。中ニモ或時人來テ掃除シケルニ。雑巾ヲ以テ地藏尊ノ御頭ヲ拭ケル。其人俄ニ足腫テ數日患ミケリ。住持護摩ヲ修シテ懺謝セラレケレバ漸ク平愈シケリ。又或時僕雜巾ヲ以テ尊像ノ面ヲ拭ヒケレバ。此モ足大ニ腫ケリ。種々ニ懺悔シテ。後ニ漸ヤク平愈シケリ。是偏ニ地藏尊利生ノ方便ナリ。昔シ唐ノ僧崖菩薩末世ノ人

徳太子ノ作ナリト。威容嚴乎トシテ。拜スル者畏伏セズト云コトナシ。若人佛壇ノ扉ヲ閉ズシテ。其近邊ニ倚臥スル時ハ。必ス枕倒シ玉ヘリ。故ニ諸人敬畏シテ禮拜供養ジ上ル。又初ハ在家ニアリシ。故ニ阿弥陀寺ヘ移シ奉ルナリ。又唐久谷村ニ地藏尊アリ。坐像ニシテ尺有餘ナリ。若シ五辛肉ヲ食セル不淨ノ人寺ニ宿スレバ必ズ枕倒シ。又ハ寺外ヘ投出シ玉ヘリ。又堺十輪院ノ地藏尊。靈驗甚多シ。中ニモ或時人來テ掃除シケルニ。雑巾ヲ以テ地藏尊ノ御頭ヲ拭ケル。其人俄ニ足腫テ數日患ミケリ。住持護摩ヲ修シテ懺謝セラレケレバ漸ク平愈シケリ。又或時僕雜巾ヲ以テ尊像ノ面ヲ拭ヒケレバ。此モ足大ニ腫ケリ。種々ニ懺悔シテ。後ニ漸ヤク平愈シケリ。是偏ニ地藏尊利生ノ方便ナリ。昔シ唐ノ僧崖菩薩末世ノ人

ノ三寶ヲ敬マハサルヲ歎テ。自ラ二手ヲ焼テ佛ニ供ジ。又後ニハ身ヲ焼テ供養ゼリ。而モ諸衆ニ告テ曰ク。末劫ノ衆生輕慢ニシテ心轉薄淡ナリ。佛像ヲ見ルコト木頭ノ如ク。經法ヲ聞フ風ノ馬耳ヲ過ルガ如シトテ悲シマレケリ。實ニ三寶ハ尊敬スベキノ極ナルニ。今時ノ僧。佛像經卷ヲ自ラノ坐ノ上ニ置キ。或ハ經ヲ閱スルニモ。指ニ唾ヲ點テ攤ス。其罪イクバクソヤ。五百問論ニハ佛像ノ上ノ塵ヲバ。口氣ヲ以テ吹ザレトイヘリ。サレバ世間ノ人。吾主人ノ面及ヒ頭ヲ吹バ。此ヲ何トイハンヤ。佛ハ天中天。人中尊ナルニ。不淨ノ口氣ヲ以テ吹ベケンヤ。或ハ又人アリ佛像ノ前ニ臥シ經卷ノ前ニ臥ス。或ハ床ノ挂物ニ觀音等ノ像ヲ挂テ。其前ニ於テ酒肉五辛ヲ食フ。是又大ナル罪ナリ。若人主人ノ前ニ臥サバ不敬ナリト言テ即チ

ノ。三寶ヲ敬マハザルコトヲ歎テ。自ラ二手ヲ焼テ佛ニ供ジ。又後ニハ身ヲ焼テ供養ゼリ。而モ諸衆ニ告テ曰ク。末劫ノ衆生輕慢ニシテ心轉薄淡ナリ。佛像ヲ見ルコト木頭ノ如ク。經法ヲ聞コト風ノ馬耳ヲ過ルガ如シトテ悲シマレケリ。實ニ三寶ハ尊敬スベキノ極ナルニ。今時ノ僧。佛像經卷ヲ自ラノ坐ノ上ニ置キ。或ハ經ヲ閱スルニモ。指ニ唾ヲ點テ攤ス。其罪イクバクソヤ。五百問論ニハ佛像ノ上ノ塵ヲバ。口氣ヲ以テ吹ザレトイヘリ。サレバ世間ノ人。吾主人ノ面及ヒ頭ヲ吹バ。此ヲ何トイハンヤ。佛ハ天中天。人中尊ナルニ。不淨ノ口氣ヲ以テ吹ベケンヤ。或ハ又人アリ佛像ノ前ニ臥シ經卷ノ前ニ臥ス。或ハ床ノ挂物ニ觀音等ノ像ヲ挂テ。其前ニ於テ酒肉五辛ヲ食フ。是又大ナル罪ナリ。若人主人ノ前ニ臥サバ不敬ナリト言テ即チ

命ヲ失ハルベシ。然ルヲ佛像經卷ヲ敬セザルハ。無間ノ罪ニアラズヤ。又在家ノ人佛法僧ヲ敬フコトヲシラズシテ。罪ヲ作ルコト無量ナリ。俗ノ身トシテ僧ノ上ニ坐シテ。或ハ誹謗ジ或ハ惡口罵詈ス。其罪イクバクソヤ。仁王經ニ法滅ノ時ハ。比丘ハ地ニ立チ白衣ハ高座ニ坐スベシト説玉ヘル今ニ當レリ。悲ヒカナ。地藏十輪經ニ國王大臣等。出家ノ罪アルヲ或ハ捕ヘテ禁獄シ。或ハ殺シ或ハ杖笞スレバ。無間ノ罪ヲ得。國ニハ水火旱魃ノ災天變兵亂等アリト説ケリ。今地藏尊多ク罰ヲ與ヘ玉フハ。衆生二三寶ヲ敬マハシメンガ為ナリ。餘尊ニハ少ニシテ。地藏尊ニノミ此事多キハ。大悲深重ノ菩薩ナレバナリ

阿州伊津ノ人所持ノ地藏尊ノ事

阿波國伊ノ津ニ森治左衛門ト云者アリ。行基菩薩ノ作ノ

地藏尊ヲ。父祖ヨリ相傳ヘテ守本尊トセリ。或時淨知寺ノ僧。此ノ本尊ヲ強テ乞ケレバ。是非ナク與ヘケリ。然ルニ其日ヨリ森氏カ家内ニ奇怪ノ事アリ。佛供ヲ備ルニ。何方ヨリトモナク。無量ノ蟻來リ集ル。又平生ノ簋ノ中モ無量ノ蠚生ゼリ。食スル時ハ水ニテ洗ヒ除テ後ニ食セリ。是ノ如ク蠚生ズルヲ五日ニナリケレバ。家内恐ルハ。コト限リナシ。又淨知寺ニモ同日ヨリ蟻生ズルコト。森氏ニ同クシテ奈トモシカタシ。森氏ハ地藏尊ヲ淨知寺ヘ與ヘシ故ニヤト思ヒ。淨知寺モ此尊ヲ迎ヘシ故ナラント思ヘリ。終ニ森氏ヨリ狀ヲ書テ使价ヲ淨知寺ヘ遣ハシ。始末ノ因縁ヲ書テ。本尊ヲ迎ヘ奉ルベキ由ヲ申シ遣ハス。淨知寺モ亦書ヲ認メテ本尊ヲ送り奉ルベキ由ヲ書テ使價ヲ發セシムルニ。淨知寺ノ門ニテ兩方ノ介行合タリ。兩方

命ヲ失ハルベシ。然ルヲ佛像經卷ヲ敬セザルハ。無間ノ罪ニアラズヤ。又在家ノ人佛法僧ヲ敬フコトヲシラズシテ。罪ヲ作ルコト無量ナリ。俗ノ身トシテ僧ノ上ニ坐シテ。或ハ誹謗ジ或ハ惡口罵詈ス。其罪イクバクソヤ。仁王經ニ法滅ノ時ハ。比丘ハ地ニ立チ白衣ハ高座ニ坐スベシト説玉ヘル今ニ當レリ。悲ヒカナ。地藏十輪經ニ國王大臣等。出家ノ罪アルヲ或ハ捕ヘテ禁獄シ。或ハ殺シ或ハ杖笞スレバ。無間ノ罪ヲ得。國ニハ水火旱魃ノ災天變兵亂等アリト説ケリ。今地藏尊多ク罰ヲ與ヘ玉フハ。衆生二三寶ヲ敬マハシメンガ為ナリ。餘尊ニハ少ニシテ。地藏尊ニノミ此事多キハ。大悲深重ノ菩薩ナレバナリ

阿州伊津ノ人所持ノ地藏尊ノ事

阿波國伊ノ津ニ森治左衛門ト云者アリ。行基菩薩ノ作ノ

地藏尊ヲ。父祖ヨリ相傳ヘテ守本尊トセリ。或時淨知寺ノ僧。此ノ本尊ヲ強テ乞ケレバ。是非ナク與ヘケリ。然ルニ其日ヨリ森氏カ家内ニ奇怪ノ事アリ。佛供ヲ備ルニ。何方ヨリトモナク。無量ノ蟻來リ集ル。又平生ノ簋ノ中ニモ無量ノ蠚生ゼリ。食スル時ハ水ニテ洗ヒ除テ後ニ食セリ。是ノ如ク蠚生ズルコト五日ニナリケレバ。家内恐ルハ。コト限リナシ。又淨知寺ニモ同日ヨリ蟻生ズルコト。森氏ニ同クシテ奈トモシカタシ。森氏ハ地藏尊ヲ淨知寺ヘ與ヘシ故ニヤト思ヒ。淨知寺モ此尊ヲ迎ヘシ故ナラント思ヘリ。終ニ森氏ヨリ狀ヲ書テ使价ヲ淨知寺ヘ遣ハシ。始末ノ因縁ヲ書テ。本尊ヲ迎ヘ奉ルベキ由ヲ申シ遣ハス。淨知寺モ亦書ヲ認メテ本尊ヲ送り奉ルベキ由ヲ書テ使價ヲ發セシムルニ。淨知寺ノ門ニテ兩方ノ介行合タリ。兩方



共ニ不思議ノ思ヲナシ。森氏カ家ヘ迎ヘ奉ルニ。其日より兩方共ニ蠟失テ聚ラザリケリ。諸人驚歎セズトイフナシ。其後禪僧念首座ト云者。此ノ不思議ヲ聞テ。強テ乞ケレバ。森氏モ為方ナクテ與ヘケリ。念首座喜ビテ隨分ニ供養シ。禮拜懺悔セシカトモ。其夜ヨリ枕倒シ玉ヒテ。夜ヲ寐サセシメ玉ハズ。而モ告テ早ク森氏カ家ヘ送ルベシトアリケレバ。念首座イヨク不思議ニ思テ。心ヲ勵マシ禮拜供養セシカトモ。六七日ガ間毎夜カクノ如クナルノミナラズ。又念首座カ朝夕ノ飯ニ蠟生スルコト淨知寺ノ如シ。アマリニ禁カネテ持行森氏ニ歸シケリ。森氏モ本尊ヲ送りシ日ヨリ。飯ニ蠟生ジケレバ。又例ノ如シト思ヒ。今ハ迎ヘ取り奉ルベシト言ナガラ延引シケル處ニ。念首座持來テシカト語リケレバ。二人共ニ奇特ノ思ヲナシ。左右我家ニ有縁ノ尊ナリ

共ニ不思議ノ思ヲナシ。森氏カ家ヘ迎ヘ奉ルニ。其日より兩方共ニ蠟失テ聚ラザリケリ。諸人驚歎セズトイフコトナシ。其後禪僧念首座ト云者。此ノ不思議ヲ聞テ。強テ乞ケレバ。森氏モ為方ナクテ與ヘケリ。念首座喜ビテ隨分ニ供養シ。禮拜懺悔セシカトモ。其夜ヨリ枕倒シ玉ヒテ。夜ヲ寐サセシメ玉ハズ。而モ告テ早ク森氏カ家ヘ送ルベシトアリケレバ。念首座イヨク不思議ニ思テ。心ヲ勵マシ禮拜供養セシカトモ。六七日ガ間毎夜カクノ如クナルノミナラズ。又念首座カ朝夕ノ飯ニ蠟生スルコト淨知寺ノ如シ。アマリニ禁カネテ持行森氏ニ歸シケリ。森氏モ本尊ヲ送りシ日ヨリ。飯ニ蠟生ジケレバ。又例ノ如シト思ヒ。今ハ迎ヘ取り奉ルベシト言ナガラ延引シケル處ニ。念首座持來テシカト語リケレバ。二人共ニ奇特ノ思ヲナシ。左右我家ニ有縁ノ尊ナリ

トテ。マス／＼信仰シケリ。サテ治左衛門家ニ迎ヘ入レ奉リテ後ハ。兩方共ニ蠟モ生ゼザリケリ。此事天和貞享ノ際ノ事ナリ。サレバ佛菩薩モ昔シヨリ崇メ奉ル。縁深キ家ニ住シ玉フナリ。河内石見川藥及ヒ藥師如來ノ事

トテ。マス／＼信仰シケリ。サテ治左衛門家ニ迎ヘ入レ奉リテ後ハ。兩方共ニ蠟モ生ゼザリケリ。此事天和貞享ノ際ノ事ナリ。サレバ佛菩薩モ昔シヨリ崇メ奉ル。縁深キ家ニ住シ玉フナルベシ

河州錦部郡。石見川村ノ船井ニ。弘法大師御作ノ藥師如來ノ尊像アリ。其ノ由來ヲ尋ヌルニ。往古ニ夫妻アリ。貧シクテ朝食タ食ノ煙モタヘ／＼ナリ。強チニ惡ヲモ作ラズ。又善根ヲ修スル程ノコトモナカリケリ。サレトモ貞實ノ匹夫ニテゾアリケル。或時一人ノ聖僧來テ。一宿ヲ乞玉フニ。夫妻共ニ申サク。聖僧ヲ宿メ奉ランハ。一易ク侍レド。四壁皇焉トアレハテ。風雨ノ恐アリ。一瓢空然トムナシク奉ルベキ食物ナシト。哽咽ケレバ。聖僧ノ曰ク我ハ諸國行脚抖擻ノ身ナレバ。或時ハ樹下ニ雨ヲ避テ宿シ。或

河州錦部郡。石見川村ノ船井ニ。弘法大師御作ノ藥師如來ノ尊像アリ。其ノ由來ヲ尋ヌルニ。往古ニ夫妻アリ。貧シクテ朝食タ食ノ煙モタヘ／＼ナリ。強チニ惡ヲモ作ラズ。又善根ヲ修スル程ノコトモナカリケリ。サレトモ貞實ノ匹夫ニテゾアリケル。或時一人ノ聖僧來テ。一宿ヲ乞玉フニ。夫妻共ニ申サク。聖僧ヲ宿メ奉ランハ。一易ク侍レド。四壁皇焉トアレハテ。風雨ノ恐アリ。一瓢空然トムナシク奉ルベキ食物ナシト。哽咽ケレバ。聖僧ノ曰ク我ハ諸國行脚抖擻ノ身ナレバ。或時ハ樹下ニ雨ヲ避テ宿シ。或

時ハ石上ニ雪ヲ拂テ坐ス。汝カ家矮クトモヨモ樹下石上ニハ劣ルマジ。剛テ宿セシメヨトアリケレバ。夫妻共ニヨロコビテ宿メ奉レリ。サテ聖僧問玉ハク。汝等ハ何事ヲ産業トシテ露命ヲ養フヤト。夫妻ノ曰ク。何ヲナスベキ便リモナク。妻木樵テ直ヲ得。朝三暮四ノ助ト為トイヘトモ。林中ニハ薪ヲ賣ズ。聚落ハ甚ハダ遠シ。壯年ノ時ハ苦辛ヲ堪ヘテ。遠ク鬻トイヘトモ。今ハ老衰日ニ増テ柴ノ扉ノ旦暮ニ露ノ命ノ消スベキコトヲ歎クノミナリ。現世既ニ安穩ナラザレバ。後生善處ノ理ハリモアラジ。唯冥ヨリ冥キ道ニ入ナンコトヲ悲シムバカリナリトテ涙ヲ流シケレバ。聖僧不便ニ思シメサレテ。即チ一夜ノ間ニ御長一寸八分ノ藥師如來ノ尊像ヲ刻ミテ。夫妻ニ告玉ハク。此佛ハ像法轉時ノ衆生ニ苦ヲ拔キ樂ヲ與ヘ玉フ。汝此ノ佛ニ歸依シテ二世

ノ安樂ヲ祈ルベシ。又此艸ヲ黑燒ニシテ諸人ニ與ヘテ價直ヲ得ヨ。然ラハ汝カ子孫孫ニ至ルマデノ。生計ヲ得ベシト。即チ自ラ井ヲ掘テ示シ。藥草ノ種子ヲ蒔與ヘテ歸ラセ玉ヒケリ。夫妻共ニ喜ビテ教ノ如ク御作ノ尊像ヲ安置シ供養シ上リ。其藥ヲ諸人ニ與ヘケリ。余ヨリコノカタ。天下ニ流布シテ諸人利益ヲ蒙レリ。是打身ノ妙藥ナリ。設ヒ骨摧クルモ外ヨリ糝粘ニテネリ。梅酢ニテ附。又内ヨリ酒ニテ晝三度夜三度用ユレバ。七日ノ間ニ平愈セズト云コトナシ。聖僧又告玉ハク此藥ヲ服スル時ハ。五辛肉食ヲ斷ジ。房事ヲ止メテ。潔齋清淨ニスベシ。然ラズンバ効アラジ。又他方ニ於テ贗藥ヲストモ少シモ効シアラジ。汝モ亦嫌恨ノ心ヲ生ズルコトナカレト。故ニ今ニ至ルマデ此ノ誠ヲ守ルナリ。彼聖僧ハ即弘法大師

時ハ石上ニ雪ヲ拂テ坐ス。汝カ家矮クトモヨモ樹下石上ニハ劣ルマジ。剛テ宿セシメヨトアリケレバ。夫妻共ニヨロコビテ宿メ奉レリ。サテ聖僧問玉ハク。汝等ハ何事ヲ産業トシテ露命ヲ養フヤト。夫妻ノ曰ク。何ヲナスベキ便リモナク。妻木樵テ直ヲ得。朝三暮四ノ助ト為トイヘトモ。林中ニハ薪ヲ賣ズ。聚落ハ甚ハダ遠シ。壯年ノ時ハ苦辛ヲ堪ヘテ。遠ク鬻トイヘトモ。今ハ老衰日ニ増テ柴ノ扉ノ旦暮ニ露ノ命ノ消スベキコトヲ歎クノミナリ。現世既ニ安穩ナラザレバ。後生善處ノ理ハリモアラジ。唯冥ヨリ冥キ道ニ入ナンコトヲ悲シムバカリナリトテ涙ヲ流シケレバ。聖僧不便ニ思シメサレテ。即チ一夜ノ間ニ御長一寸八分ノ藥師如來ノ尊像ヲ刻ミテ。夫妻ニ告玉ハク。此佛ハ像法轉時ノ衆生ニ苦ヲ拔キ樂ヲ與ヘ玉フ。汝此ノ佛ニ歸依シテ二世

ノ安樂ヲ祈ルベシ。又此艸ヲ黑燒ニシテ諸人ニ與ヘテ價直ヲ得ヨ。然ラハ汝カ子孫孫ニ至ルマデノ。生計ヲ得ベシト。即チ自ラ井ヲ掘テ示シ。藥草ノ種子ヲ蒔與ヘテ歸ラセ玉ヒケリ。夫妻共ニ喜ビテ教ノ如ク御作ノ尊像ヲ安置シ供養シ上リ。其藥ヲ諸人ニ與ヘケリ。余ヨリコノカタ。天下ニ流布シテ諸人利益ヲ蒙レリ。是打身ノ妙藥ナリ。設ヒ骨摧クルモ外ヨリ糝粘ニテネリ。梅酢ニテ附。又内ヨリ酒ニテ晝三度夜三度用ユレバ。七日ノ間ニ平愈セズト云コトナシ。聖僧又告玉ハク此藥ヲ服スル時ハ。五辛肉食ヲ斷ジ。房事ヲ止メテ。潔齋清淨ニスベシ。然ラズンバ効アラジ。又他方ニ於テ贗藥ヲストモ少シモ効シアラジ。汝モ亦嫌恨ノ心ヲ生ズルコトナカレト。故ニ今ニ至ルマデ此ノ誠ヲ守ルナリ。彼聖僧ハ即弘法大師



ノ化來シ玉ヘリト云。後ニハ覺リケリ。此藥ハ本艸ニモ見ス。  
神農氏ノ未ダ嘗サル艸。軒轅氏ノ曾言サル能ナリ。サレバ  
唐ニハ名ヲモ知ズ。唯吾朝ニノミアリ。此併ラ弘法大師慈  
濟ノ方便ナリ。此藥艸石見川ニノミアリテ。他郷ニハ生ズル  
コトナシ。故ニ石見川藥ト号セリ。和朝ノ醫書ニハ間記セル  
アリ。文明ノ比。和州吉野郡ノ人。此尊像ノ靈驗ヲ聞テ盜ミ  
テ歸リ。僅ニ二年ヲ經ケルニ。其處ニ水火盜賊等ノ難起リ。  
又諸人疫癘ヲ病ケレバ。此ゾ靈佛ヲ盜ミシ祟リナリトテ。即チ  
石見川ヘ持來リテ種種ニ懺謝シケリ。其後ハ彼村ニモ諸人  
病瘥テ。諸難モ長ク止ケリ。嗚呼命ナルカナ。天文ノ末ニ火災  
アリテ。財寶悉ク燒亡シ。古記録起モ殘ラズ灰塵トナレリ。家主  
外ニ在テ。靈像ノ燒失シ玉フコトヲ悲シミケルニ。不思議ヤ尊像ハ

火中ヨリ飛出テ。傍ニ避玉ヘリ。後ニ器物ノ下ヨリ出玉ヒ。  
今ニ至ルマデ安置シ供養シ奉ル。寛永ヨリ元禄年中マデ  
ノ船井ノ主人ヲ。稻井源左衛門久吉ト号ス。入道シテ法名  
ヲ道法トイヘリ。曾テ和州宇知郡五條ノ人來リテ藥ヲ  
取代テ先ノ人ニ與ヘケル。其夜境界ノ中ニ藥師如來道法ニ  
告玉ハク。昨日ノ藥リハ道ニテ贗藥ヲ取代テ與ヘタリ。今日此  
事ヲ正サンガ為ニ人來ルベシ。必ズ懺恨スルコトナカレト。果シテ人  
來リテ。シカ／＼ト語リケレバ。道法其罪ヲ免シテ。強テ過非ヲ正  
サバリケリ。又和州天ノ川ノ邊。山西村ノ人來リテ藥五貼ヲ  
求メケリ。一貼ハ紋銀二錢ナリ。五貼ハ青鳧三千二百字ナリ。  
而モ山西ノ政屋ハ道法カ親家ナレバ。求ムル者誑リテ。直ノ  
中ニテ二錢ヲ賤タマヘト賂リケレバ。道法為方ナクテ賤ケリ。

ノ化來シ玉ヘリト云コト。後ニハ覺リケリ。此藥ハ本艸ニモ見ス。  
神農氏ノ未ダ嘗サル艸。軒轅氏ノ曾言サル能ナリ。サレバ  
唐ニハ名ヲモ知ズ。唯吾朝ニノミアリ。此併ラ弘法大師慈  
濟ノ方便ナリ。此藥艸石見川ニノミアリテ。他郷ニハ生ズル  
コトナシ。故ニ石見川藥ト号セリ。和朝ノ醫書ニハ間記セル  
アリ。文明ノ比。和州吉野郡ノ人。此尊像ノ靈驗ヲ聞テ盜ミ  
テ歸リ。僅ニ二年ヲ經ケルニ。其處ニ水火盜賊等ノ難起リ。  
又諸人疫癘ヲ病ケレバ。此ゾ靈佛ヲ盜ミシ祟リナリトテ。即チ  
石見川ヘ持來リテ種種ニ懺謝シケリ。其後ハ彼村ニモ諸人  
病瘥テ。諸難モ長ク止ケリ。嗚呼命ナルカナ。天文ノ末ニ火災  
アリテ。財寶悉ク燒亡シ。古記録起モ殘ラズ灰塵トナレリ。家主  
外ニ在テ。靈像ノ燒失シ玉フコトヲ悲シミケルニ。不思議ヤ尊像ハ

火中ヨリ飛出デ。傍ニ避玉ヘリ。後ニ器物ノ下ヨリ出玉ヒ。  
今ニ至ルマデ安置シ供養シ奉ル。寛永ヨリ元禄年中マデ  
ノ船井ノ主人ヲ。稻井源左衛門久吉ト号ス。入道シテ法名  
ヲ道法トイヘリ。曾テ和州宇知郡五條ノ人來リテ藥ヲ  
取代テ先ノ人ニ與ヘケル。其夜境界ノ中ニ藥師如來道法ニ  
告玉ハク。昨日ノ藥リハ道ニテ贗藥ヲ取代テ與ヘタリ。今日此  
事ヲ正サンガ為ニ人來ルベシ。必ズ懺恨スルコトナカレト。果シテ人  
來リテ。シカ／＼ト語リケレバ。道法其罪ヲ免シテ。強テ過非ヲ正  
サバリケリ。又和州天ノ川ノ邊。山西村ノ人來リテ藥五貼ヲ  
求メケリ。一貼ハ紋銀二錢ナリ。五貼ハ青鳧三千二百字ナリ。  
而モ山西ノ政屋ハ道法カ親家ナレバ。求ムル者誑リテ。直ノ  
中ニテ二錢ヲ賤タマヘト賂リケレバ。道法為方ナクテ賤ケリ。

カテ其夜曉ニ藥師如來道法ニ告玉ハク。今朝山西ノ人來ルベシ。慍恨ノ心ヲ生ズルコトナカレト。道法夢覺テ。今ヤ夜旦ルト待シニ。扉ヲ扣ク人アリ。誰何ト問ニ和州ノ者ナリト答フ。山西ノ人ニヤト言ケレバ。使ノ人驚キケリ。サテ藥ノ兩少ナク。又直モ皆與ヘザリシト。我レハ紋銀十錢ヲ持參セシメタリ。此事是非ヲ正スベシト言ケリ。道法ハ如來ノ御告ノ空シカラザルコトヲ思テ。種々ニ曉シテ歸シケリ。誠ニ大師稻井ガ為ニ教ヘ玉フ佛。及ビ神藥ナレハ。今ニ至ルマデモカクノ如キ靈應。シバノ多カリケリ。○問佛菩薩ハ差別ノ心アルコトナシ。誰人ナリトモ信ズル人ノ處ニ住シ玉フベシ。サレバ佛像ヲ多ク持ナガラ。不信ナル人ノ像ヲバ盜ミ取テ。禮拜供養スルニ罪ナシトイヘリ。然ルニ森氏カ地藏尊。及ヒ石見川ノ藥師佛。本

サテ其夜曉ニ藥師如來道法ニ告玉ハク。今朝山西ノ人來ルベシ。慍恨ノ心ヲ生ズルコトナカレト。道法夢覺テ。今ヤ夜旦ルト待シニ。扉ヲ扣ク人アリ。誰何ト問ニ和州ノ者ナリト答フ。山西ノ人ニヤト言ケレバ。使ノ人驚キケリ。サテ藥ノ兩少ナク。又直モ皆與ヘザリシト。我レハ紋銀十錢ヲ持參セシメタリ。此事是非ヲ正スベシト言ケリ。道法ハ如來ノ御告ノ空シカラザルコトヲ思テ。種々ニ曉シテ歸シケリ。誠ニ大師稻井ガ為ニ教ヘ玉フ佛。及ビ神藥ナレハ。今ニ至ルマデモカクノ如キ靈應。シバノ多カリケリ。○問佛菩薩ハ差別ノ心アルコトナシ。誰人ナリトモ信ズル人ノ處ニ住シ玉フベシ。サレバ佛像ヲ多ク持ナガラ。不信ナル人ノ像ヲバ盜ミ取テ。禮拜供養スルニ罪ナシトイヘリ。然ルニ森氏カ地藏尊。及ヒ石見川ノ藥師佛。本

ノ家ニ歸リ玉フコトハ何事ゾヤ。答來難ノ如ク佛菩薩ハ差別ナシトイヘトモ。盜ミ取程ノ人ハ。多クハ不信ノ人ナリ。是ニ依テ其所ニハ住シ玉ハズ。苟モ信アラバ至ル所ニ佛ヲ見奉ルベシ。何ゾ止畫木ノ形像ノミナランヤ。如來ノ法身ヲ見ルコトモ亦難カラジ。若信ナクンバ畫木ノ形像ヲ積ムコト山ノ如ナリトモ。是人ハ此未ダ佛ヲ見ザルナリ。金剛經ニハ色聲ヲ以テ如來ヲ求ムルハ。是邪道ヲ行スルナリトイヘリ。況ヤ不信ナランヲヤ。若又正信アリテ人ノ佛像ヲ乞ヒ受クル。念首座カ如キモ。道理應ゼザルコトアリ。如何トナレバ。我ハ得テ喜ブトイヘトモ。彼ハ失テ憂フ。若シ窠ニ地藏尊ヲ信ゼバ。必ズ自ラノ資財ヲ捨テテ。新タニ作りテ供養シ瞻禮スベシ。何ゾ強ニ他人ノ所持セルヲ乞ンヤ。尊像ハ多ケレバ結縁モ亦多シ。然ルヲ自ラ作ラズン

ノ家ニ歸リ玉フコトハ何事ゾヤ。答來難ノ如ク佛菩薩ハ差別ナシトイヘトモ。盜ミ取程ノ人ハ。多クハ不信ノ人ナリ。是ニ依テ其所ニハ住シ玉ハズ。苟モ信アラバ至ル所ニ佛ヲ見奉ルベシ。何ゾ止畫木ノ形像ノミナランヤ。如來ノ法身ヲ見ルコトモ亦難カラジ。若信ナクンバ畫木ノ形像ヲ積ムコト山ノ如ナリトモ。是人ハ此未ダ佛ヲ見ザルナリ。金剛經ニハ色聲ヲ以テ如來ヲ求ムルハ。是邪道ヲ行ズルナリトイヘリ。況ヤ不信ナランヲヤ。若又正信アリテ人ノ佛像ヲ乞ヒ受クル。念首座カ如キモ。道理應ゼザルコトアリ。如何トナレバ。我ハ得テ喜ブトイヘトモ。彼ハ失テ憂フ。若シ窠ニ地藏尊ヲ信ゼバ。必ズ自ラノ資財ヲ捨テテ。新タニ作りテ供養シ瞻禮スベシ。何ゾ強ニ他人ノ所持セルヲ乞ンヤ。尊像ハ多ケレバ結縁モ亦多シ。然ルヲ自ラ作ラズン



人ニ向テ乞フハ。理ニ背ケルニアラズヤ。故ニ念首座及ヒ淨知寺ニハ住シ玉ハザリケリ。サテ又人ノ所持ノ本尊ヲ直ヲ出シテ買者アリ。買者賣者俱ニ重罪ナルベシ。梵網ノ制ノ如シ。又直ヲ出スハ罪ナリト云テ。人ノ所尊トシテ祕スル本尊ヲ強テ乞ハ。倍罪深カルベシ。此多クハ新ニ作レバ多ノ財ヲ費スガ故ニ。財ヲ慳悋スルヨリ起レリ。人ノ本尊ヲ乞受ル人ノ癖トシテ。多分ハ不信ナリ。カクノ如キ人ニハ。堅ク與フベカラズ。若又貧窮困苦ヲ。自ラ財ヲ出スヲアタハズ。而モ信心堅固ナレトモ本尊ナクハ。自ラ祕藏セル本尊ナリトモ與フベキナリ。又地藏觀音等ヲ印板トシテ。有信ノ人ニ施スハ。其福廣大ナルベシ。唯シ不信ノ人ニハ與ヘザレ。信ハ道ノ元功德ノ母タリ。佛法ノ大海ニハ信ヲ能ハトストイヘリ。

人ニ向テ乞フハ。理ニ背ケルニアラズヤ。故ニ念首座及ヒ淨知寺ニハ住シ玉ハザリケリ。サテ又人ノ所持ノ本尊ヲ直ヲ出シテ買者アリ。買者賣者俱ニ重罪ナルベシ。梵網ノ制ノ如シ。又直ヲ出スハ罪ナリト云テ。人ノ所尊トシテ祕スル本尊ヲ強テ乞ハ。倍罪深カルベシ。此多クハ新ニ作レバ多ノ財ヲ費スガ故ニ。財ヲ慳悋スルヨリ起レリ。人ノ本尊ヲ乞受ル人ノ癖トシテ。多分ハ不信ナリ。カクノ如キ人ニハ。堅ク與フベカラズ。若又貧窮困苦ニシテ。自ラ財ヲ出スコトアタハズ。而モ信心堅固ナレトモ本尊ナクハ。自ラ祕藏セル本尊ナリトモ與フベキナリ。又地藏觀音等ヲ印板トシテ。有信ノ人ニ施スハ。其福廣大ナルベシ。唯シ不信ノ人ニハ與ヘザレ。信ハ道ノ元功德ノ母タリ。佛法ノ大海ニハ信ヲ能ハトストイヘリ。

### 天竺健陀羅國ノ畫像ノ事

昔シ天竺ノ健陀羅國ニ。一人ノ貧士アリ。平生釋迦如來ノ像ヲ畫キテ供養センコトヲ願フトイヘトモ。貧乏ニシテ由ナカリシヲ。備カシテ漸ク一ノ金錢ヲ得タリ。喜デ畫師ノ所ニ至テ如來ノ妙相ヲ圖センコトヲ囑ヘテ曰ク。一ノ金錢價直極メテ少シトイヘ。我久シク如來ノ妙相ヲ圖センコトヲ願フ。冀クハ我為ニ圖繪セヨト。畫工其ノ至誠心ヲ感シテ。價直ノ少キコトヲ言ズ。圖セシコトヲ諾シケリ。然ルニ又一人有テ來テ一ノ金錢ヲ與ヘテ前ノ人ノ如クニ囑ケリ。畫師二人ノ金錢ヲ受テ丹青妙ヲ畫シテ如來ノ妙相ヲ一丈六尺ニ描。時ニ二人同日ニ俱ニ來テ禮敬ス。畫工二人ニ一ノ像ヲ示スニ。一人ハ我カ像ナリト言。又一人モ我像ナリト言テ爭ソヒ。二人相視テ疑フ。其時ニ畫

### 天竺健陀羅國ノ畫像ノ事

昔シ天竺ノ健陀羅國ニ。一人ノ貧士アリ。平生釋迦如來ノ像ヲ畫キテ供養センコトヲ願フトイヘトモ。貧乏ニシテ由ナカリシヲ。備カシテ漸ク一ノ金錢ヲ得タリ。喜デ畫師ノ所ニ至テ如來ノ妙相ヲ圖センコトヲ囑ヘテ曰ク。一ノ金錢價直極メテ少シトイヘトモ。我久シク如來ノ妙相ヲ圖センコトヲ願フ。冀クハ我為ニ圖繪セヨト。畫工其ノ至誠心ヲ感シテ。價直ノ少キコトヲ言ズ。圖セシコトヲ諾シケリ。然ルニ又一人有テ來テ一ノ金錢ヲ與ヘテ前ノ人ノ如クニ囑ケリ。畫師二人ノ金錢ヲ受テ丹青妙ヲ畫シテ如來ノ妙相ヲ一丈六尺ニ描。時ニ二人同日ニ俱ニ來テ禮敬ス。畫工二人ニ一ノ像ヲ示スニ。一人ハ我カ像ナリト言。又一人モ我像ナリト言テ爭ソヒ。二人相視テ疑フ。其時ニ畫



工二人ニ告テ曰ク。二人各一金錢ヲ持テ我ニ與フ。但シ價直少分ニシテ二軀ヲ描クヲアタハズ。然レトモ受ル所ノ金錢ハ毫釐モ私スルコトナシ。一金錢皆此一像ニ用ヒタリ。若斯言謬ラズンバ。佛像必ズ神變ヲ現ジ玉フベシト。言訖ラザルニ佛像腰ヨリ上ハ。分身ノ二軀ト成テ。光相イヨク明カナリ。腰ヨリ下ハ一軀ナリ。其時二人歡喜踊躍シテ去リヌ。西域記其像今ニ在トイヘリ。サレバ信心ノ有無ニ依ルベシ。信深キ人ハ必ス我所愛ヲ捨テ、佛像ヲ作ルナリ。本願經ニモ此旨ヲ説レタリ。但シ人古佛ヲ所持シテ修補シ供養ズル志モナク。空シク打棄テアラバ。乞受テ修補シ供養ジ。歸依シ讚歎シ奉ルベキナリ。

和州ノ石地藏童子ノ供ヲ受玉フ事

大和國。法隆寺ノ近處ニ一軀ノ石地藏マシクキ。坐像ニテ四尺バカリナリ。本ヨリ路邊ニアレバ。牛馬ノ塵ニウヅモレ飛鳥ノ集處トゾナリニケル。人此ヲ悲シミテ石座ヲイトナミ供養シテ高クナンシケル。近比其ノ傍ニ民家アリ本ヨリ貧シクシテ。供佛施僧ノ善根モナク放逸邪見ニシテ明シ暮シケリ。或年妻ニヲクレケレバ又後妻ヲ娶ケル。前妻一人ノ男子アリ。ハヤ五六歳ニナリケリ。後妻事ニフレテ憐ミナク。ツラクゾアタリケル。或時午飯ヲ炊キ居ケルニ彼ノ童子。ハヤク食クハントテ啼ケレバ。繼母氣ノ毒ニ思ヒ。何カナ難儀ナルコトヲ言付テ迷惑サセント思ヒ。不圖思ヒ出シテ曰ク。此ノ飯ヲアノ地藏ヘマイラセテ歸リ來レ。シカラバ汝ニモ飯クハセントテ。一搏ノ飯ヲ與ヘケリ。童子ヨロコビテ即

工二人ニ告テ曰ク。二人各一金錢ヲ持シテ我ニ與フ。但シ價直少分ニシテ二軀ヲ描クコトアタハズ。然レトモ受ル所ノ金錢ハ毫釐モ私スルコトナシ。一金錢皆此一像ニ用ヒタリ。若斯言謬ラズンバ。佛像必ズ神變ヲ現ジ玉フベシト。言訖ラザルニ佛像腰ヨリ上ハ。分身シテ二軀ト成テ。光相イヨク明カナリ。腰ヨリ下ハ一軀ナリ。其時二人歡喜踊躍シテ去リヌ。西域記其像今ニ在トイヘリ。サレバ信心ノ有無ニ依ルベシ。信深キ人ハ必ス我所愛ヲ捨テ、佛像ヲ作ルナリ。本願經ニモ此旨ヲ説レタリ。但シ人古佛ヲ所持シテ修補シ供養ズル志モナク。空シク打棄テアラバ。乞受テ修補シ供養ジ。歸依シ讚歎シ奉ルベキナリ。

和州ノ石地藏童子ノ供ヲ受玉フ事

大和國。法隆寺ノ近處ニ一軀ノ石地藏マシクキ。坐像ニテ四尺バカリナリ。本ヨリ路邊ニアレバ。牛馬ノ塵ニウヅモレ飛鳥ノ集處トゾナリニケル。人此ヲ悲シミテ石座ヲイトナミ供養シテ高クナンシケル。近比其ノ傍ニ民家アリ本ヨリ貧シクシテ。供佛施僧ノ善根モナク放逸邪見ニシテ明シ暮シケリ。或年妻ニヲクレケレバ又後妻ヲ娶ケル。前妻一人ノ男子アリ。ハヤ五六歳ニナリケリ。後妻事ニフレテ憐ミナク。ツラクゾアタリケル。或時午飯ヲ炊キ居ケルニ彼ノ童子。ハヤク食クハントテ啼ケレバ。繼母氣ノ毒ニ思ヒ。何カナ難儀ナルコトヲ言付テ迷惑サセント思ヒ。不圖思ヒ出シテ曰ク。此ノ飯ヲアノ地藏ヘマイラセテ歸リ來レ。シカラバ汝ニモ飯クハセントテ。一搏ノ飯ヲ與ヘケリ。童子ヨロコビテ即

持テ地藏ノ方ヘ走り往キ。前ニ飯ヲ置テ。地藏様ニイレ  
ヤト言テ歸リケリ。サテ母問テ曰ク飯ヲ地藏ノ手ヘ渡シタ  
リヤ。地藏ハトリテ食シフカト。童子答曰ク地藏様事ノ外ニ  
長高ク座高ケレバ。我カ分ニテハ。イカデカ御手ニテハトキ  
申スベキ。前ニソナヘ置タリト。繼母大ニ怒リ目ヲ張聲ヲ烈シテ  
曰ク。是非ニ御手ニ渡シ奉レ。若地藏トリテ食シ玉ハズバ。汝  
モ飯クハセジト叱呵置ケリ。童子ハセンカタナクテナクテ地藏  
ノ前ニ往キ。座ニ上ラントスレトモ及バス。搏食ヲ手ニ持テ人  
ニ言如ニイヒケルハ。ノウ地藏様此ヲトリテマイリ玉ヘ。母ノ大ニ  
シカリテ我ニモ物クハセジトイハルハ。ニ。ハヤクトリテクヒ玉ヘヤト。  
ナクノ申シケレバ。不思議ヤナ石地藏。錫杖ノ御手ヲノベテ。  
彼小兒ガ供ジケル搏食ヲウケトリ玉ヒケリ。童子ヨロコビテ

家ニ走り回り。繼母ニ向テ曰ク地藏ノ飯ヲトリテ食玉ヘリ。  
我ニモクハセ玉ヘト。其時ニ母又大ニ怒リ背ヲ打テ曰ク。石像ノ  
飯ヲマイルコトヤハアル。溝ヘ捨ツラント。マスノシカリケレバ。童子  
ナクノ言ケルハ。疑ハシクハ往テアレ見玉ヘ。正シク地藏ノ食玉  
ヘリト。母怪シク思ヒケレバ。往テ見ルニ。右ノ手ニ搏食半分ヲ  
持チ。半分ハ食シ玉ヘル相貌ニテ口ノ邊ニ飯粒付テゾアリケル。  
時ニ繼母仰天シテ慚愧懺悔ノ心起リテ。コハ夢カ現カ。石像ノ  
カクシ玉ヘルコトノ不思議サヨ。定メテ我ガ慈シミナク慳貪邪  
見ナルト。童子幼稚ノ心トヲ憐ミ玉ヒテ。カクハ現ジ玉フナラント。  
涙ヲ流シテ密カニ懺悔シテ歸リケリ。其ヨリ邪見ノ心モ少ハ  
直リテ。子ヲモ憐レミテ養育シケリ。此事近郷ノ人々聞傳ヘ  
テ。日日ニ彼ノ地藏尊ヲ禮拜供養スルコト多カリケリ。熟惟

持テ地藏ノ方ヘ走り往キ。前ニ飯ヲ置テ。地藏様マイレ  
ヤト言テ歸リケリ。サテ母問テ曰ク飯ヲ地藏ノ手ヘ渡シタ  
リヤ。地藏ハトリテ食玉フカト。童子答曰ク地藏様事ノ外ニ  
長高ク座高ケレバ。我カ分ニテハ。イカデカ御手マデハト、キ  
申スベキ。前ニソナヘ置タリト。繼母大ニ怒リ目ヲ張聲ヲ烈シテ  
曰ク。是非ニ御手ニ渡シ奉レ。若地藏トリテ食シ玉ハズバ。汝  
モ飯クハセジト叱呵置ケリ。童子ハセンカタナクテナクテ地藏  
ノ前ニ往キ。座ニ上ラントスレトモ及バス。搏食ヲ手ニ持テ人  
ニ言如ニイヒケルハ。ノウ地藏様此ヲトリテマイリ玉ヘ。母ノ大ニ  
シカリテ我ニモ物クハセジトイハルハ。ニ。ハヤクトリテクヒ玉ヘヤト。  
ナクノ申シケレバ。不思議ヤナ石地藏。錫杖ノ御手ヲノベテ。  
彼小兒ガ供ジケル搏食ヲウケトリ玉ヒケリ。童子ヨロコビテ

家ニ走り回り。繼母ニ向テ曰ク地藏ノ飯ヲトリテ食玉ヘリ。  
我ニモクハセ玉ヘト。其時ニ母又大ニ怒リ背ヲ打テ曰ク。石像ノ  
飯ヲマイルコトヤハアル。溝ヘ捨ツラント。マスノシカリケレバ。童子  
ナクノ言ケルハ。疑ハシクハ往テアレ見玉ヘ。正シク地藏ノ食玉  
ヘリト。母怪シク思ヒケレバ。往テ見ルニ。右ノ手ニ搏食半分ヲ  
持チ。半分ハ食シ玉ヘル相貌ニテ口ノ邊ニ飯粒付テゾアリケル。  
時ニ繼母仰天シテ慚愧懺悔ノ心起リテ。コハ夢カ現カ。石像ノ  
カクシ玉ヘルコトノ不思議サヨ。定メテ我ガ慈シミナク慳貪邪  
見ナルト。童子幼稚ノ心トヲ憐ミ玉ヒテ。カクハ現ジ玉フナラント。  
涙ヲ流シテ密カニ懺悔シテ歸リケリ。其ヨリ邪見ノ心モ少ハ  
直リテ。子ヲモ憐レミテ養育シケリ。此事近郷ノ人々聞傳ヘ  
テ。日日ニ彼ノ地藏尊ヲ禮拜供養スルコト多カリケリ。熟惟



三ルニ童子ハ事ニフレテ執心薄ク。正直ニシテ邪ノ心ナシ。故ニ金剛頂經ニハ大樂金剛薩埵ノ内證ヲ。世間ノ那羅那里ノ娛樂ノ如シト説リ。那羅那里ハ童男童女ナリ。文殊大聖ハ釋迦九代ノ祖師ニシテ。現在北方ノ世界ニテハ。歡喜藏摩尼寶積佛ト現ジ玉ヘトモ。童子ノ形ヲアラハシテ。妙徳童真菩薩ト名ケ奉ル。蓋シ文殊ノ妙慧ハ。諸法ニ於テ無執無分別ナルコト。世ノ童子ニ類スバナリ。○昔シ佛。晨朝ニ諸ノ比丘ト共ニ。王舍城ニ入テ乞食シ玉フ。世尊ノ相好光明普ク照シテ千ノ日ノ輝ニモ踰タリ路ニ二リノ童子アリ。一リヲハ闍耶ト名ケ。一リヲバ毗闍耶ト名ケ。遙ニ佛ヲ見上リテ。歡喜シテ細沙ヲ持シテ。麴ト号シテ佛ノ御鉢ニ入レ奉ル。小兒長卑ケレバ。一人ノ小兒ノ肩ニノボリテ。御鉢ニ入レ奉レリ。世尊納受シテ即チ微笑シ玉フ。阿難佛ニ白シテ言サク。世尊ハ尊

重ニテ容易ニ笑ヒ玉ハズ何ノ因縁アツテカ今微笑シ玉フヤト。佛阿難ニ告玉ハク。此童子實心恭敬シテ。細沙ヲ麴ト号シテ我ニ供養スル功德ニ依テ。我滅後百年ニ巴連邑ノ中ニ生シテ。轉輪王トナリ。姓ハ孔雀氏。名ハ阿育王ト号シテ。正法ヲ以テ世ヲ治メ。我カ舍利ヲ收メテ。國中ニ八万四千ノ塔ヲ立ベシ。此沙ヲ持シテ歸レトテ。講堂ノ壁ニ塗玉ヘリ。果シテ滅後百年ニ阿育王出デ。大ニ佛法ヲ起シ。閻浮提ノ王トシテ。八万四千ノ塔ヲ立玉ヘリ。日本ニ二所アリ。江州ノ石塔寺モ八万四千ノ隨一ナリト釋書ニ見タリ。抑彼ハ沙麴ヲ真佛ニ奉リテ。輪王ノ果報ヲ得タリ。是ハ真飯ヲ石像ニ供シテ繼母ノ呵責ヲ免レタリ。和梵域殊ニ古今時異ナリトイヘトモ。童子正真ノ供養ハ替ルコトナシ。彼ハ猶百年ノ後ニ鐵輪王ノ位ヲ得タリ。此ハ現ニ石像

ミルニ童子ハ事ニフレテ執心薄ク。正直ニシテ邪ノ心ナシ。故ニ金剛頂經ニハ大樂金剛薩埵ノ内證ヲ。世間ノ那羅那里ノ娛樂ノ如シト説リ。那羅那里ハ童男童女ナリ。文殊大聖ハ釋迦九代ノ祖師ニシテ。現在北方ノ世界ニテハ。歡喜藏摩尼寶積佛ト現ジ玉ヘトモ。童子ノ形ヲアラハシテ。妙徳童真菩薩ト名ケ奉ル。蓋シ文殊ノ妙慧ハ。諸法ニ於テ無執無分別ナルコト。世ノ童子ニ類スレバナリ。○昔シ佛。晨朝ニ諸ノ比丘ト共ニ。王舍城ニ入テ乞食シ玉フ。世尊ノ相好光明普ク照シテ千ノ日ノ輝ニモ踰タリ路ニ二リノ童子アリ。一リヲハ闍耶ト名ケ。一リヲバ毗闍耶ト名ケ。遙ニ佛ヲ見上リテ。歡喜シテ細沙ヲ持シテ。麴ト号シテ佛ノ御鉢ニ入レ奉ル。小兒長卑ケレバ。一人ノ小兒ノ肩ニノボリテ。御鉢ニ入レ奉レリ。世尊納受シテ即チ微笑シ玉フ。阿難佛ニ白シテ言サク。世尊ハ尊

重ニシテ容易ニ笑ヒ玉ハズ何ノ因縁アツテカ今微笑シ玉フヤト。佛阿難ニ告玉ハク。此童子實心恭敬シテ。細沙ヲ麴ト号シテ我ニ供養スル功德ニ依テ。我滅後百年ニ巴連邑ノ中ニ生シテ。轉輪王トナリ。姓ハ孔雀氏。名ハ阿育王ト号シテ。正法ヲ以テ世ヲ治メ。我カ舍利ヲ收メテ。國中ニ八万四千ノ塔ヲ立ベシ。此沙ヲ持シテ歸レトテ。講堂ノ壁ニ塗玉ヘリ。果シテ滅後百年ニ阿育王出デ。大ニ佛法ヲ起シ。閻浮提ノ王トシテ。八万四千ノ塔ヲ立玉ヘリ。日本ニ二所アリ。江州ノ石塔寺モ八万四千ノ隨一ナリト釋書ニ見タリ。抑彼ハ沙麴ヲ真佛ニ奉リテ。輪王ノ果報ヲ得タリ。是ハ真飯ヲ石像ニ供シテ繼母ノ呵責ヲ免レタリ。和梵域殊ニ古今時異ナリトイヘトモ。童子正真ノ供養ハ替ルコトナシ。彼ハ猶百年ノ後ニ鐵輪王ノ位ヲ得タリ。此ハ現ニ石像



親タリ供ヲ受玉フノミナラズ邪見ノ繼母ヲシテ信ヲ生ゼシメ  
遐邇ノ男女ヲシテ福ヲ植シム。現世ノ利益廣大ナレバ。阿育王先  
生ノ施福ヨリモ勝レリト謂ツベシ。現在ノ花報既ニカクノ  
如シ。況ヤ未來ノ果報ヲヤ。案ニ童子ハ無執正直ナレハ。十二  
因縁ノ中ニモ。十五ヨリ已前ノ童子ヲバ。受ト号シテ愛トハ名  
ケズ。小兒ハ赤色ノ花ヲ愛スレトモ。暫ク弄ズルカトスレバ即チ採  
テ弃ツ。此愛執少ナクシテ無分別ナレバナリ。淫愛ノ心ナク邪智  
邪思惟ヲ離レタレバ。佛モ納受シ玉フナラシ。略出經ニ灌頂  
ノ金剛線ヲバ。童女ヲシテ紡績シメヨト説キ。陀羅尼集經ニ灌頂  
ノ儀ヲ説ニモ。童子ヲシテ寶幡ヲ持セシメヨト説ク。伊勢内宮ノ  
巫女モ。童女ノ未ダ華水アラザルヲ用ユトイヘリ。皆是童子  
童女ハ邪念少ナケレバ。佛陀神明ノ心ニモ稱故ナリ壹岐前

親タリ供ヲ受玉フノミナラズ邪見ノ繼母ヲシテ信ヲ生ゼシメ。  
遐邇ノ男女ヲシテ福ヲ植シム。現世ノ利益廣大ナレバ。阿育王先  
生ノ施福ヨリモ勝レリト謂ツベシ。現在ノ花報既ニカクノ  
如シ。況ヤ未來ノ果報ヲヤ。案ニ童子ハ無執正直ナレハ。十二  
因縁ノ中ニモ。十五ヨリ已前ノ童子ヲバ。受ト号シテ愛トハ名  
ケズ。小兒ハ赤色ノ花ヲ愛スレトモ。暫ク弄ズルカトスレバ即チ採  
テ弃ツ。此愛執少ナクシテ無分別ナレバナリ。淫愛ノ心ナク邪智  
邪思惟ヲ離レタレバ。佛モ納受シ玉フナラシ。略出經ニ灌頂  
ノ金剛線ヲバ。童女ヲシテ紡績シメヨト説キ。陀羅尼集經ニ灌頂  
ノ儀ヲ説ニモ。童子ヲシテ寶幡ヲ持セシメヨト説ク。伊勢内宮ノ  
巫女モ。童女ノ未ダ華水アラザルヲ用ユトイヘリ。皆是童子  
童女ハ邪念少ナケレバ。佛陀神明ノ心ニモ稱故ナリ壹岐前

司親輔ガ養兒ノ。六歳ニシテ淨土ニ生ジ。松室ノ童子ノ十四  
五ノ時ニ讀誦仙人トナリ江州童女ノ地藏觀音ノ夢想ヲ  
蒙リテ壽命ヲ延ベ。壬生村ノ童子ノ地藏ノ加被力ニ依テ  
辭世ノ歌ヲ詠ジ。及ビ淨土ニ生ゼシカ如シ。靈驗記等ノ中ニ  
童女童男ノ感應ヲ得タルコト頗ル多シ。要聞ノ者ハ披閱セヨ。  
只今時ノ人ハ設ヒ成長ノ人タリトモ。行ハ皆嬰兒ノ如クナレバ。大  
日經ニハ世間三個ノ住心ヲ。異生羗羊心。愚童持齋心。嬰童無  
畏心ト説リ。末法今時ノ人ハ。設ヒ智慧聰明ニシテ。博學大才  
ナリトモ。童子ノ如クニ正直ナラバ。佛ノ引攝ニモ預リ現世ノ悉  
地ヲモ成ズベシ。又多クハ愚癡ナルコト猶童子ノ如クナレハ。如  
來モ嬰兒行トテ。タ、バ、シテ種種ニ教化シ玉フコト。猶小兒  
ノ哭ヲ止シカ為ニ。楊葉ヲ真金ト号シテ與ルカ如シト。涅槃經

司親輔ガ養兒ノ。六歳ニシテ淨土ニ生ジ。松室ノ童子ノ十四  
五ノ時ニ讀誦仙人トナリ江州童女ノ地藏觀音ノ夢想ヲ  
蒙リテ壽命ヲ延ベ。壬生村ノ童子ノ地藏ノ加被力ニ依テ  
辭世ノ歌ヲ詠ジ。及ビ淨土ニ生ゼシカ如シ。靈驗記等ノ中ニ  
童女童男ノ感應ヲ得タルコト頗ル多シ。要聞ノ者ハ披閱セヨ。  
只今時ノ人ハ設ヒ成長ノ人タリトモ。行ハ皆嬰兒ノ如クナレバ。大  
日經ニハ世間三個ノ住心ヲ。異生羗羊心。愚童持齋心。嬰童無  
畏心ト説リ。末法今時ノ人ハ。設ヒ智慧聰明ニシテ。博學大才  
ナリトモ。童子ノ如クニ正直ナラバ。佛ノ引攝ニモ預リ現世ノ悉  
地ヲモ成ズベシ。又多クハ愚癡ナルコト猶童子ノ如クナレハ。如  
來モ嬰兒行トテ。タ、バ、シテ種種ニ教化シ玉フコト。猶小兒  
ノ哭ヲ止シカ為ニ。楊葉ヲ真金ト号シテ與ルカ如シト。涅槃經

ニモ説玉ヘリ。大日經ノ疏ニハ、干將莫耶ノ利劒ヲハ嬰兒ニハ與ヘズ。情ニ惜ムニハアラザレトモ。運用ノ方便ヲ解セザレバ却テ其ノ身ヲ傷ルガ故ナリトイヘリ。法華經ニハ長者諸子及窮子。飲毒諸子ト説キ。今此三界皆是我有。其中衆生悉是吾子ト説玉ヘリ。然レハ則チ佛ハ父母ノ如ク。一切衆生ハ子ノ如シ。佛一子ノ慈悲ヲ垂タマフ。サレバ我等モ童子童女ノ父母ヲ慕フガ如ク佛ヲ慕ヒ奉リ。無分別ニシテ正直ナラバ。ナド現世ノ悉地ヲモ成就シ。未來ノ引攝ニモアツカラザラン。愁ニ邪智邪思惟ヲ起シテ。或ハ世俗ノ書ニ耽リテ文章ヲ嗜ミ。漫ニ大乘ノ法門ト号シテ放逸ナル。是ヲ小智ハ菩提ノ障トハ説玉ヘリ。

德行才智アル童子ノ事

問童子童女ニ有智有行ノ人アルハ何事ゾヤ。答普現色身

ノ前ニハ地藏觀音藥王妙音等ノ菩薩。童男童女ノ身ヲ現シテ衆生ヲ濟度シ玉フコトアリ。涅槃經ニハ迦葉童子如來ニ祕密藏ヲ問上リ。法花ニハ八歳ノ龍女南方無垢世界ノ成道ヲ遂タリ。花嚴經ニハ善財童子。五百ノ童子ト共ニ文殊童真ニ參ジ。乃至五十三ノ善知識ニ參セラレシ中ニ慈行童女。有德童女。徧有童子。德生童子。善知衆藝童子等ノ菩薩アリ。自在主童子ハ一万ノ童子ニ圍遶セラレテ。菩薩ノ算法ヲ以テ沙ヲ計ヘタリ。又不動明王ハ肥滿セル童子ノ形ヲ現シテ行者ヲ擁護シ。猶大悲ノ餘リニ。矜迦羅制多迦ノ二童子トアラハレテ。行者ニ給仕シ玉フ。冰迦羅天童子ハ。我ヲ供ズルコト闕ズシテ六個月ヲ滿ゼバ我常ニ行者ニ隨逐シテ擁護スベシト誓ヒ玉ヘリ。又文殊ノ八大童子。不動

ニモ説玉ヘリ。大日經ノ疏ニハ。干將莫耶ノ利劒ヲハ嬰兒ニハ與ヘズ。情ニ惜ムニハアラザレトモ。運用ノ方便ヲ解セザレバ却テ其ノ身ヲ傷ルガ故ナリトイヘリ。法華經ニハ長者諸子及窮子。飲毒諸子ト説キ。今此三界皆是我有。其中衆生悉是吾子ト説玉ヘリ。然レハ則チ佛ハ父母ノ如ク。一切衆生ハ子ノ如シ。佛一子ノ慈悲ヲ垂タマフ。サレバ我等モ童子童女ノ父母ヲ慕フガ如ク佛ヲ慕ヒ奉リ。無分別ニシテ正直ナラバ。ナド現世ノ悉地ヲモ成就シ。未來ノ引攝ニモアツカラザラン。愁ニ邪智邪思惟ヲ起シテ。或ハ世俗ノ書ニ耽リテ文章ヲ嗜ミ。漫ニ大乘ノ法門ト号シテ放逸ナル。是ヲ小智ハ菩提ノ障トハ説玉ヘリ。

德行才智アル童子ノ事

問童子童女ニ有智有行ノ人アルハ何事ゾヤ。答普現色身

ノ前ニハ地藏觀音藥王妙音等ノ菩薩。童男童女ノ身ヲ現シテ衆生ヲ濟度シ玉フコトアリ。涅槃經ニハ迦葉童子如來ニ祕密藏ヲ問上リ。法花ニハ八歳ノ龍女南方無垢世界ノ成道ヲ遂タリ。花嚴經ニハ善財童子。五百ノ童子ト共ニ文殊童真ニ參ジ。乃至五十三ノ善知識ニ參セラレシ中ニ慈行童女。有德童女。徧有童子。德生童子。善知衆藝童子等ノ菩薩アリ。自在主童子ハ一万ノ童子ニ圍遶セラレテ。菩薩ノ算法ヲ以テ沙ヲ計ヘタリ。又不動明王ハ肥滿セル童子ノ形ヲ現シテ行者ヲ擁護シ。猶大悲ノ餘リニ。矜迦羅制多迦ノ二童子トアラハレテ。行者ニ給仕シ玉フ。冰迦羅天童子ハ。我ヲ供ズルコト闕ズシテ六個月ヲ滿ゼバ我常ニ行者ニ隨逐シテ擁護スベシト誓ヒ玉ヘリ。又文殊ノ八大童子。不動



ノ八大童子アリ。皆是大菩薩ナリ。又舍利弗ハ七歳ニシテ  
諸ノ論ニ勝。鶏頭末寺ノ七歳ノ小沙弥ハ。大神通ヲ現シテ五  
百ノ婆羅門ヲ度シ。奴伽王ノ禮セル七歳ノ沙弥ハ。跳テ深  
瓶ノ中ニ入來ル。須陀沙弥ハ七歳ニシテ能ク佛ノ問ニ答フ。妙  
顏沙弥ハ八歳ニシテ嫌疑ヲ避ル。善無畏三藏ハ十歳ニシテ戎  
ヲ統。十三ニシテ王位ニ登リ。終ニ寶位ヲ脱履シテ僧トナル。荆  
玉泉寺ノ慧瑜ハ。五歳ニシテ大品般若ヲ誦セリ。又夫項橐  
七歳ニシテ孔子ノ師トナリ。蒲衣ハ八歳ニシテ堯ノ師トナリ。顓  
頊ハ十歳ニシテ小昊ノ相タリ。帝嚳ハ十五ニシテ顓頊ノ相タリ。甘羅ハ  
十二ニシテ秦ノ上卿タリ。王勃ハ十三ニシテ滕王閣ノ序ヲ作り。李  
賀ハ七歳ニシテ高軒過ヲ賦シ。如意中ノ女子ハ七歳ニシテ詩ヲ  
能ス。此類甚多シ皆是精神專利ノ人ナリ。且ツ幼ニシテ學者

ハ日出ノ光ノ如ク。老テ學者ハ燭ヲ取テ夜行カ如シト。古  
人モ誠メタレバ。項橐已下ノ數子ハ。幼ニシテ能學ビシ故ニ早ク  
才智ヲ得タリ。況ヤ佛法ヲ學ブ者ハ幼少ノ時ヨリ。其志操  
ヲ選デ佛弟子トナスベシ。サレバ高祖大師ノ御遺誡ニモ  
赤子ノ時ヨリ寺ニ住セシメテ。出家セシメヨトイヘリ。故ニ  
高野山ノ法ハ兒ヨリ剃髮セル者ヲ衆徒トシテ。晩年入道  
ノ者ヲ難ヘズ。八百五十餘年來此式ヲ闕コトナシ。大師ノ  
遺誡誠ニ道理深キニコソ。是幼稚ノ者ハ志ニ正直ニシテ法  
水ヲ受ルコト易ク。如來ノ心ニモ稱ヘルカ故ナリ別シテ地藏尊  
ハ童男童女ヲ濟度シ玉フコト。我朝ニ古來ヨリ言ナラハセ  
タリ。子細アルニコソ。處々ニ幼兒ノ利益ヲ蒙レルコト多カリ

大坂天王寺屋父子地藏ノ引攝ニ預リシ事

ノ八大童子アリ。皆是大菩薩ナリ。又舍利弗ハ七歳ニシテ  
諸ノ論ニ勝。鶏頭末寺ノ七歳ノ小沙弥ハ。大神通ヲ現シテ五  
百ノ婆羅門ヲ度シ。奴伽王ノ禮セル七歳ノ沙弥ハ。跳テ深  
瓶ノ中ニ入來ル。須陀沙弥ハ七歳ニシテ能ク佛ノ問ニ答フ。妙  
顏沙弥ハ八歳ニシテ嫌疑ヲ避ル。善無畏三藏ハ十歳ニシテ戎  
ヲ統。十三ニシテ王位ニ登リ。終ニ寶位ヲ脱履シテ僧トナル。荆  
玉泉寺ノ慧瑜ハ。五歳ニシテ大品般若ヲ誦セリ。又夫項橐  
七歳ニシテ孔子ノ師トナリ。蒲衣ハ八歳ニシテ堯ノ師トナリ。顓  
頊ハ十歳ニシテ小昊ノ相タリ。帝嚳ハ十五ニシテ顓頊ノ相タリ。甘羅ハ  
十二ニシテ秦ノ上卿タリ。王勃ハ十三ニシテ滕王閣ノ序ヲ作り。李  
賀ハ七歳ニシテ高軒過ヲ賦シ。如意中ノ女子ハ七歳ニシテ詩ヲ  
能ス。此類甚多シ皆是精神專利ノ人ナリ。且ツ幼ニシテ學者

ハ日出ノ光ノ如ク。老テ學者ハ燭ヲ取テ夜行カ如シト。古  
人モ誠メタレバ。項橐已下ノ數子ハ。幼ニシテ能學ビシ故ニ早ク  
才智ヲ得タリ。況ヤ佛法ヲ學ブ者ハ幼少ノ時ヨリ。其志操  
ヲ選デ佛弟子トナスベシ。サレバ高祖大師ノ御遺誡ニモ  
赤子ノ時ヨリ寺ニ住セシメテ。出家セシメヨトイヘリ。故ニ  
高野山ノ法ハ兒ヨリ剃髮セル者ヲ衆徒トシテ。晩年入道  
ノ者ヲ難ヘズ。八百五十餘年來此式ヲ闕コトナシ。大師ノ  
遺誡誠ニ道理深キニコソ。是幼稚ノ者ハ志ニ正直ニシテ法  
水ヲ受ルコト易ク。如來ノ心ニモ稱ヘルカ故ナリ別シテ地藏尊  
ハ童男童女ヲ濟度シ玉フコト。我朝ニ古來ヨリ言ナラハセ  
タリ。子細アルニコソ。處々ニ幼兒ノ利益ヲ蒙レルコト多カリ

大坂天王寺屋父子地藏ノ引攝ニ預リシ事



過ニ延寶ノ比。浪速南御堂前ニ天王寺屋佐兵衛ト云  
人アリキ。淨土宗ニテヨリハ念佛スルモアリシカモ。能  
勤ムト云程ノ事ハナカリケリ。或時地藏尊ノ利益廣大ナ  
ルヲ聞テ。一軀ノ木像ヲ造立シテ。某寺ニ安置シ奉リテ。  
未來ノ得脱ヲ願ヒケリ。兩三年ノ後病死シケルガ。妻子事  
ノ外ニ悲シミ。別テ妻悲泣シテ七日七夜ガ間ハ泣ヤマザリケリ。  
或夜ノ夢ニ亡夫莊嚴ウルハシキ衣ヲ著シテ來リ。妻ニ告テ曰ク。  
アマリニナ歎キノ。我ハ地藏菩薩ノ救ヒ玉ヘバ。苦シミアルコトナ  
シ。徒ニ悲泣セズモ念佛セヨト。其時妻ヲドロキ悲喜交集ル。  
胃子岩松側ニ臥タルガ。亡父ノ來レルヲ同ジク夢ミテ。ノウ  
母アレ父ノ來リ玉ヘリ。ソレソコニ居玉フトイヘリ。母子同ク夢  
ミテ處モ時刻モ違ハザリケルゾ不思議ナル。妻モ其ヨリ少シ

過ニ延寶ノ比。浪速南御堂前ニ天王寺屋佐兵衛ト云  
人アリキ。淨土宗ニテヨリハ念佛スルコトモアリシカトモ。能  
勤ムト云程ノ事ハナカリケリ。或時地藏尊ノ利益廣大ナ  
ルコトヲ聞テ。一軀ノ木像ヲ造立シテ。某寺ニ安置シ奉リテ。  
未來ノ得脱ヲ願ヒケリ。兩三年ノ後病死シケルガ。妻子事  
ノ外ニ悲シミ。別テ妻悲泣シテ七日七夜ガ間ハ泣ヤマザリケリ。  
或夜ノ夢ニ亡夫莊嚴ウルハシキ衣ヲ著シテ來リ。妻ニ告テ曰ク。  
アマリニナ歎キノ。我ハ地藏菩薩ノ救ヒ玉ヘバ。苦シミアルコトナ  
シ。徒ニ悲泣セズトモ念佛セヨト。其時妻ヲドロキ悲喜交集ル。  
胃子岩松側ニ臥タルガ。亡父ノ來レルヲ同ジク夢ミテ。ノウ  
母アレ父ノ來リ玉ヘリ。ソレソコニ居玉フトイヘリ。母子同ク夢  
ミテ處モ時刻モ違ハザリケルゾ不思議ナル。妻モ其ヨリ少シ

キ悲泣モ止ミテ。念佛ヲゾ唱ヘケル。末子ニ五六歳ナル男  
子アリ。七日七日ニ寺ヘ參リケルニ。幼稚ノ心ニ香花ナド持  
テ。彼地藏菩薩ノ前ニ供養シテ曰ク。此ノ尊像ハ我父ノ造立  
シ玉ヘバ。我父ナリト想フトテ寺詣ノ時ハ必ズ香花ヲ供養  
シテ稚ナキ手ヲ合セツ。南無地藏ト唱ヘケリ。カクテ九歳ニ  
ナリシガ重キ病ヲ受テ死シケリ。母悲シムコト限リナシ。終ニ  
一眼ヲ啼潰セリ。其時兄岩松ガ夢ニ彼童子來リテ曰ク。  
母ノアマリニ歎キ玉フ愚ナルコトナリ。我ハ地藏菩薩ノ許ニ  
常ニ住シテ哀愁ヲ蒙ムレバ苦シムコトナシ。ナゲキ玉フナト。時ニ兄  
問テ曰ク。此比七夜別時ノ念佛ヲ唱ヘテ回向ス。トベキタリ  
ヤ。童子答テ曰ク。ナルホド彼方ニテ常ニ此ヲ聞ト。サテ夢サ  
メテ母ニ此ヲ語リケレバ。イド、ナゲキヲ重ネケレド。後ニハ能

キ悲泣モ止ミテ。念佛ヲゾ唱ヘケル。末子ニ五六歳ナル男  
子アリ。七日七日ニ寺ヘ參リケルニ。幼稚ノ心ニ香花ナド持  
テ。彼地藏菩薩ノ前ニ供養シテ曰ク。此ノ尊像ハ我父ノ造立  
シ玉ヘバ。我父ナリト想フトテ寺詣ノ時ハ必ズ香花ヲ供養  
シテ稚ナキ手ヲ合セツ。南無地藏ト唱ヘケリ。カクテ九歳ニ  
ナリシガ重キ病ヲ受テ死シケリ。母悲シムコト限リナシ。終ニ  
一眼ヲ啼潰セリ。其時兄岩松ガ夢ニ彼童子來リテ曰ク。  
母ノアマリニ歎キ玉フ愚ナルコトナリ。我ハ地藏菩薩ノ許ニ  
常ニ住シテ哀愁ヲ蒙ムレバ苦シムコトナシ。ナゲキ玉フナト。時ニ兄  
問テ曰ク。此比七夜別時ノ念佛ヲ唱ヘテ回向ス。トベキタリ  
ヤ。童子答テ曰ク。ナルホド彼方ニテ常ニ此ヲ聞ト。サテ夢サ  
メテ母ニ此ヲ語リケレバ。イド、ナゲキヲ重ネケレド。後ニハ能

思ヒ開キテ歎キモ輕クナリ。其ヨリ一家皆地藏尊ヲ信仰シ奉ル。是偏ニ地藏菩薩ノ利益ナリ。上ニ言カ如ク小兒ノ供養ハ。正真ニ邪念ナケレバ。別ノ菩薩御心モ能ク稱ナラシ

唐惟岸法師及童子淨土ニ往生セル事

昔シ唐シニ釋ノ惟岸法師ト云アリキ。并州ノ人ナリ。常ニ西方ノ淨業ヲ修メ十六想觀ヲ勤メラレケル。或時觀念ノ床ヲ起テ庭ニ經行セラレケルニ。忽ニ觀音勢至ノ二菩薩空中ニ住立シ玉ヲ拜ミ奉レリ。惟岸頂禮シ歡喜ノ淚ヲ流シテ曰ク。幸ニ這ノ肉眼ヲ以テ直ニ彼ノ聖容ヲ觀奉ルコトヲ得タリ。佛說虛シカラズ。然ルヲ世人是ヲ信受スル者希ニシテ。此ノ實利ヲ傳ヘテ知ザルコト是我生前ノ恨ナリト。時倏然ト二人ノ畫師有リ來テ坊ニ入ル。是ニ語テ淨土ノ菩

薩ノ相ヲ圖セシム。描キ竟テ其畫師カキケスヤウニ失ニケリ。岸法師其弟子ニ謂テ曰ク。我往生極樂ノ期已ニ時至レリ。誰カ我ニ從テ往者アラシヤト。時ニ一リノ小童子アリ。進ンデ曰ク。人間無常ノ境ヒ誰カ敢テ久シク保シヤ。淨土無爲ノ都何ゾ樂ザラン。請師ノ命ニ從ントテ即チ父母ノ所ニ至テ辭シテ曰ク。親子ノ道ハ天性ナリトイヘ。亦因縁ナキニアラズ。人生ノ有待ナル遲キト速ト遂ニ要ズ一タビハ離別セン。恩愛ノ悲ミハ迷ノ前ノ習ナリ。再ビ會セント思ヒ玉ハバ。願ニ隨テ淨土ニ來リ玉ヘ。我必ズ半座ヲ分テ待ベシト約シ。寺ニ歸リ沐浴シ。佛像ノ前ニ至リ。趺坐シテ禮拜念佛シ。忽チニ命終セリ。岸法師其ノ背ヲ撫シテ曰ク。汝チ何ゾ吾ニ前立テ往ヤト。即チ弟子ニ命ノ助音念佛セシムルコト半時バカ

思ヒ開キテ歎キモ輕クナリ。其ヨリ一家皆地藏尊ヲ信仰シ奉ル。是偏ニ地藏菩薩ノ利益ナリ。上ニ言カ如ク小兒ノ供養ハ。正真ニシテ邪念ナケレバ。別シテ菩薩御心モ能ク稱ナラシ

唐惟岸法師及童子淨土ニ往生セル事

昔シ唐シニ釋ノ惟岸法師ト云アリキ。并州ノ人ナリ。常ニ西方ノ淨業ヲ修シテ十六想觀ヲ勤メラレケル。或時觀念ノ床ヲ起テ庭ニ經行セラレケルニ。忽ニ觀音勢至ノ二菩薩空中ニ住立シ玉ヲ拜ミ奉レリ。惟岸頂禮シ歡喜ノ淚ヲ流シテ曰ク。幸ニ這ノ肉眼ヲ以テ直ニ彼ノ聖容ヲ觀奉ルコトヲ得タリ。佛說虛シカラズ。然ルヲ世人是ヲ信受スル者希ニシテ。此ノ實利ヲ傳ヘテ知ザルコト是我生前ノ恨ナリト。時倏然トシテ二人ノ畫師有リ來テ坊ニ入ル。是ニ語テ淨土ノ菩

薩ノ相ヲ圖セシム。描キ竟テ其畫師カキケスヤウニ失ニケリ。岸法師其弟子ニ謂テ曰ク。我往生極樂ノ期已ニ時至レリ。誰カ我ニ從テ往者アラシヤト。時ニ一リノ小童子アリ。進ンデ曰ク。人間無常ノ境ヒ誰カ敢テ久シク保シヤ。淨土無爲ノ都何ゾ樂ザラン。請師ノ命ニ從ントテ即チ父母ノ所ニ至テ辭シテ曰ク。親子ノ道ハ天性ナリトイヘトモ。亦因縁ナキニアラズ。人生ノ有待ナル遲キト速ト遂ニ要ズ一タビハ離別セン。恩愛ノ悲ミハ迷ノ前ノ習ナリ。再ビ會セント思ヒ玉ハバ。願ニ隨テ淨土ニ來リ玉ヘ。我必ズ半座ヲ分テ待ベシト約シテ。寺ニ歸リ沐浴シテ。佛像ノ前ニ至リ。趺坐シテ禮拜念佛シ。忽チニ命終セリ。岸法師其ノ背ヲ撫シテ曰ク。汝チ何ゾ吾ニ前立テ往ヤト。即チ弟子ニ命シテ助音念佛セシムルコト半時バカ



リニシテ。目ヲ仰テ西方ヲ見テ。寂然トシテ遷化セリ。宋高僧傳  
熱惟ルニ此童子修行ノ功ハ積ザレトモ。宿福ノ酬ル所。佛陀ノ  
應ズル所。速疾ニ往生セルコト。皆是小兒ハ造惡少クシテ。心正  
直ナレバナリ。カクノ如ク頓ニ世榮ヲ捨テ。淨刹ニ往生ヲ遂ル  
コト。羨シキ事ナリ。今時ハ百歳ノ老翁モカク目出度往生セ  
ルハナシ。耆域ノ西域ニ歸リシ時ニ。沙門法行ト云者。遺偈ヲ  
望ミシカバ。守口攝身意。慎莫犯衆惡。修行一切善。如是得  
度。世ト唱ヘラレケレバ。法行此偈ハ人口ニ膾炙ス。八歳ノ小兒モ  
亦能ク誦ズ。願クハ緊要無上ノ妙法ヲ示シ玉ヘトイフ。時ニ耆  
域答テ曰ク。八歳ノ小兒モ誦ズレトモ。百歳ノ老翁モ行ズルコトアタ  
ハズ。誦ズルコト何ノ益カアラン。吾言少ナリトイヘトモ。行フ者ハ益多カラシ  
此則緊切ノ法門ナリト答ヘラレケレバ。人皆信伏シケリ。事殊

ナレトモ思ヒ合サレタリ

河内鳩原村ノ童子辭世ノ歌ヨム事

河州。錦部郡。鳩原村。弥勒寺。文識ノ親族ニ小童子アリ  
四歳ニシテ慈父ヲ喪セリ。文識ハ骨肉ノ親ナレバ寺ヘ呼テ養育  
シケリ。何ナル宿業ニヤ。此童子六七歳ニナリシ比。又母ニヨク  
レ十五歳マデニ姉妹兄弟皆死シテ。孤露ノ身トゾナリニケル  
文識別テ慰ミテ鞠育シケルガ。平生地藏觀音ノ二尊ヲ信  
仰シ奉レリ。元禄四年ノ春。十六歳ニナリケルガ何トナク患ヒ  
ケリ。或夜ノ夢ニ道ヲ行ニ亡ゼシ姉來リテ呼ケレバ。嬉シクテ  
伴ナヒ行ケバ。程ナク一字ノ堂ニ詣レリ。莊嚴美麗ナルコト  
言盡シ難シ。燈明四方ニカ、ヤキ。幡蓋飄羅タリ。中央ニハ阿  
弥陀佛住シ玉ヒ。觀音地藏等ノ諸尊羅列シテ。宛モ淨土カ

リニシテ。目ヲ仰テ西方ヲ見テ。寂然トシテ遷化セリ。宋高僧傳  
熱惟ルニ此童子修行ノ功ハ積ザレトモ。宿福ノ酬ル所。佛陀ノ  
應ズル所。速疾ニ往生セルコト。皆是小兒ハ造惡少クシテ。心正  
直ナレバナリ。カクノ如ク頓ニ世榮ヲ捨テ。淨刹ニ往生ヲ遂ル  
コト。羨シキ事ナリ。今時ハ百歳ノ老翁モカク目出度往生セ  
ルハナシ。耆域ノ西域ニ歸リシ時ニ。沙門法行ト云者。遺偈ヲ  
望ミシカバ。守口攝身意。慎莫犯衆惡。修行一切善。如是得  
度。世ト唱ヘラレケレバ。法行此偈ハ人口ニ膾炙ス。八歳ノ小兒モ  
亦能ク誦ズ。願クハ緊要無上ノ妙法ヲ示シ玉ヘトイフ。時ニ耆  
域答テ曰ク。八歳ノ小兒モ誦ズレトモ。百歳ノ老翁モ行ズルコトアタ  
ハズ。誦ズルコト何ノ益カアラン。吾言少ナリトイヘトモ。行フ者ハ益多カラシ  
此則緊切ノ法門ナリト答ヘラレケレバ。人皆信伏シケリ。事殊

ナレトモ思ヒ合サレタリ

河内鳩原村ノ童子辭世ノ歌ヨム事

河州。錦部郡。鳩原村。弥勒寺。文識ノ親族ニ小童子アリ  
四歳ニシテ慈父ヲ喪セリ。文識ハ骨肉ノ親ナレバ寺ヘ呼テ養育  
シケリ。何ナル宿業ニヤ。此童子六七歳ニナリシ比。又母ニヨク  
レ十五歳マデニ姉妹兄弟皆死シテ。孤露ノ身トゾナリニケル  
文識別テ慰ミテ鞠育シケルガ。平生地藏觀音ノ二尊ヲ信  
仰シ奉レリ。元禄四年ノ春。十六歳ニナリケルガ何トナク患ヒ  
ケリ。或夜ノ夢ニ道ヲ行ニ亡ゼシ姉來リテ呼ケレバ。嬉シクテ  
伴ナヒ行ケバ。程ナク一字ノ堂ニ詣レリ。莊嚴美麗ナルコト  
言盡シ難シ。燈明四方ニカ、ヤキ。幡蓋飄羅タリ。中央ニハ阿  
弥陀佛住シ玉ヒ。觀音地藏等ノ諸尊羅列シテ。宛モ淨土カ



トゾ覺へケル。姊教へテ禮拜セシメテ。自ラハ奥へ入りケリ。  
童子アリガタク思ヒテ禮拜念誦スト思フニ。夢ハサメタ  
リ。サテ師ニ此夢ヲカタリテ。我命モナガラフベカラズ。死期正  
ニ近カルベシト言。師モ哀レミテ種々ニ藥餌ヲ進メケレトモ。  
定業ニヤアリケン。行潦ノ涸ル、如クニ日ニ衰ヘテゾ見  
ケル。三月廿八日ノ夜師ノ坊ヲ呼テ。硯紙ヲ求メテ言ケル  
ハ。我ハカナシ師書タマヘ。辭世ノ歌ヨミタリトテ書セケル  
アリガタヤ命終十六想觀ノ

花ノウテナニイタリイタレバ

サテ師ニ訣テ曰ク。公慈愛深クテ。我ヲ四歳ヨリ養育  
シテ。今十三年ニ至レリ。深恩ヲ報ジ奉ルモノナク。空ク死  
スルノ本意ナサヨ。唯シ宿業ナレハセンカタナシ。我死シハ

師モ亦餘命ニシマサジ。白スニハ及バ子ド。淨信ヲ發シテ後世  
ノ營ミヲナシ玉ヘト。合掌ノ師ヲ拜ミテ。此今生ノ御暇乞  
ナリトテナン啼ケルガ。廿九日ノ晝眠ルガ如クニ死シケリ。師ハ  
夢幻ノコ、チン歎キ沈ミケルモ理ハリナリ。其ヨリ文識モ信  
心弥増長メ。誦經念咒怠リナク勤メラレケリ。此モ童子ノ  
心正直ナレバ。二尊ノ加被力ナランカ。山中ニ成立ケル人ノ。殊  
ニ少年ノ身トシテ。辭世ノ歌ヨミ。我師ノ恩ヲ深ク思ヒ。訣ニ  
臨デモ菩提ヲ勸メケルコソ。千万不思議ナレ。抑十六想觀ノ  
事ハ誰ガ説聞セケルヤラン。偏ニ地藏觀音ノ方便ニヤ。臨  
終ニ師ヲ拜シテ深恩ヲ謝シケル心操ヲ以テ見ルニ。居常師  
ニ孝アリシコトモ推テ料ルベシ。予元祿四年八月十二日ヨリ廿  
四日ニ至ルマデ。鬼住ニテ地藏本願經ヲ講ジ。又閏八月五日ヨ

トゾ覺へケル。姊教へテ禮拜セシメテ。自ラハ奥へ入りケリ。  
童子アリガタク思ヒテ禮拜念誦スト思フニ。夢ハサメタ  
リ。サテ師ニ此夢ヲカタリテ。我命モナガラフベカラズ。死期正  
ニ近カルベシト言。師モ哀レミテ種々ニ藥餌ヲ進メケレトモ。  
定業ニヤアリケン。行潦ノ涸ル、如クニ日ニ衰ヘテゾ見  
ケル。三月廿八日ノ夜師ノ坊ヲ呼テ。硯紙ヲ求メテ言ケル  
ハ。我ハカナシ師書タマヘ。辭世ノ歌ヨミタリトテ書セケル  
アリガタヤ命終十六想觀ノ

花ノウテナニイタリイタレバ

サテ師ニ訣テ曰ク。公慈愛深クテ。我ヲ四歳ヨリ養育  
シテ。今十三年ニ至レリ。深恩ヲ報ジ奉ルコトモナク。空ク死  
スルコトノ本意ナサヨ。唯シ宿業ナレハセンカタナシ。我死シハ

師モ亦餘命マシマサジ。白スニハ及バネド。淨信ヲ發シテ後世  
ノ營ミヲナシ玉ヘト。合掌シテ師ヲ拜ミテ。此今生ノ御暇乞  
ナリトテナン啼ケルガ。廿九日ノ晝眠ルガ如クニ死シケリ。師ハ  
夢幻ノコ、チン歎キ沈ミケルモ理ハリナリ。其ヨリ文識モ信  
心弥増長シテ。誦經念咒怠リナク勤メラレケリ。此モ童子ノ  
心正直ナレバ。二尊ノ加被力ナランカ。山中ニ成立ケル人ノ。殊  
ニ少年ノ身トシテ。辭世ノ歌ヨミ。我師ノ恩ヲ深ク思ヒ。訣ニ  
臨デモ菩提ヲ勸メケルコソ。千万不思議ナレ。抑十六想觀ノ  
事ハ誰ガ説聞セケルヤラン。偏ニ地藏觀音ノ方便ニヤ。臨  
終ニ師ヲ拜シテ深恩ヲ謝シケル心操ヲ以テ見ルニ。居常師  
ニ孝アリシコトモ推テ料ルベシ。予元祿四年八月十二日ヨリ廿  
四日ニ至ルマデ。鬼住ニテ地藏本願經ヲ講ジ。又閏八月五日ヨ

リ長野村ニ於テ。觀無量壽經ヲ講ゼシニモ。文識怠ラズ聽聞セ  
ラレタリ。弥勒寺ト長野村トハ。山中羊腸ノ路五十餘アリシヲ。  
秋霖ヲ冒シテ老僧ノ退心ナク通ヒテ出座シ。十六想觀ノ  
事ヲ聞テ。彼童子ガ辭世ノ事イヨク不便ニ思ハレケレバ。  
予カ所ヘ來リ。此童子始末ノ因縁ヲ語リテ。墨染ノ袂ヲ  
シボラレケル。誠ニ「アハレニハベリ。彼童子法名仁山慧春ト号  
ス。辭世ノ歌及夢ヲ思合スニ。淨土ニ往生セシ事疑ヒナシ。殊ニ  
師ニモ孝アリケレバ。三福ノ中ニ孝養父母奉事師長ト説玉  
フ亦何ゾ疑ハンヤ。近代ニハ希有事ナリ。彼王生村ノ童子  
五歳ニ死シ。地藏菩薩ノ加被力ヲ蒙リテ。辭世ノ歌ヨミケ  
ルヲ。妙幢禪師ノ撰ゼル。地藏菩薩利益集ニ見タリ。彼童子  
五歳ニ死セントシケル時。父母殊ニ悲泣セシカバカクナシ

リ長野村ニ於テ。觀無量壽經ヲ講ゼシニモ。文識怠ラズ聽聞セ  
ラレタリ。弥勒寺ト長野村トハ。山中羊腸ノ路五十餘。アリシヲ。  
秋霖ヲ冒シテ老僧ノ退心ナク通ヒテ出座シ。十六想觀ノ  
事ヲ聞テ。彼童子ガ辭世ノ事イヨク不便ニ思ハレケレバ。  
予カ所ヘ來リ。此童子始末ノ因縁ヲ語リテ。墨染ノ袂ヲ  
シボラレケル。誠ニ「アハレニハベリ。彼童子法名仁山慧春ト号  
ス。辭世ノ歌及夢ヲ思合スニ。淨土ニ往生セシ事疑ヒナシ。殊ニ  
師ニモ孝アリケレバ。三福ノ中ニ孝養父母奉事師長ト説玉  
フ亦何ゾ疑ハンヤ。近代ニハ希有事ナリ。彼王生村ノ童子  
五歳ニ死シ。地藏菩薩ノ加被力ヲ蒙リテ。辭世ノ歌ヨミケ  
ルコト。妙幢禪師ノ撰ゼル。地藏菩薩利益集ニ見タリ。彼童子  
五歳ニシテ死セントシケル時。父母殊ニ悲泣セシカバカクナシ

ナゲカジナ。シバシ雲井ニカクルモ

ト讀畢テ息絶ケリ。今ノ童子トハ隻五雙ハノ異アリト  
イヘ。辭世ノ歌心相似タリ。具ニハ利益集ニアリ。八十ノ老翁  
モカク辭世シテ淨土ニ往生セルハ難カルベシ。昔唐ノ白樂天  
杭州ニ知タル時ニ。秦望山ニ至リ。道林禪師ニ問テ曰ク。何ナ  
ルカ是佛法ノ大意ト。師ノ曰ク。諸惡莫作衆善奉行。白居易  
曰ク三歳ノ孩兒モ也。恁麼道コトヲ解スト。師ノ曰ク三歳ノ孩  
兒モ道得トイヘ八十ノ老人モ行ズルコト得ズトアリケレバ。  
樂天大ニ愧テ信伏セリトイヘリ。今ノ小兒ハ只道得ノミニ  
アラズ。又淨土ニ往生セリ。此ヲ以テ見レバ。八十ノ老人ニモ勝  
レリ。サラバ文ヲ改ヘテ五歳ノ孩兒ハ行ジ得タレトモ。八十ノ老

ナゲカジナ。シバシ雲井ニカクルトモ

ト讀畢テ息絶ケリ。今ノ童子トハ隻五雙ハノ異アリト  
イヘトモ。辭世ノ歌心相似タリ。具ニハ利益集ニアリ。八十ノ老翁  
モカク辭世シテ淨土ニ往生セルコトハ難カルベシ。昔唐ノ白樂天  
杭州ニ知タル時ニ。秦望山ニ至リ。道林禪師ニ問テ曰ク。何ナ  
ルカ是佛法ノ大意ト。師ノ曰ク。諸惡莫作衆善奉行。白居易  
曰ク三歳ノ孩兒モ也。恁麼道コトヲ解スト。師ノ曰ク三歳ノ孩  
兒モ道得トイヘトモ八十ノ老人モ行ズルコト得ズトアリケレバ。  
樂天大ニ愧テ信伏セリトイヘリ。今ノ小兒ハ只道得ノミニ  
アラズ。又淨土ニ往生セリ。此ヲ以テ見レバ。八十ノ老人ニモ勝  
レリ。サラバ文ヲ改ヘテ五歳ノ孩兒ハ行ジ得タレトモ。八十ノ老



人ハ道得ルヲモ得ストイツベシサレバ童子ハ心正直ヲ佛法ニ導ク時ハ入り易ク。深ク罪福ヲ信ノ一念ノ善根モ性靈ヨリ發起スレバ功德深シ。白山權現ノ一所ニ熊眞水ト云アリ。本地地藏菩薩ナリ。或人道心ヲ祈リテ日夜ニ念ラザリケレバ。或夜ノ示現ニ二歳三歳ノ童子ノ心ニナレト告給ヒケルトイヘリ。是モ童子ノ心能ク地藏菩薩ノ内證ニ稱ヒタルヲ今時ノ僧姣童ヲ養テハ。佛道ニ引入スルヲアタハズ。只世間ノ藝能ノミヲ教ヘ。或ハ世間ノ伎能ヲモ教ズシテ。唯色ヲ好テ非梵行ノ境界トス。終ニ互相ニ愛執深クナリテ。或ハ命ヲ喪アリ。沙門ノ罪イカバカリゾヤ。カナシキコトナリ。經ニ説カク童子ヲ姪ズル者ハ衆合地獄ノ別處。多苦惱處ニ墮シ。銅柱鐵床ノ報ヒヲ受ト。但シ是ハ在家ノ事ナリ。出家ノ犯ハ無間ノ業ナリ。

地藏本願經ニ。伽藍ノ中ニ淨ヲ行ズレバ。無間地獄ニ墮シテ。千万億劫出ル期ナシト説キ玉ヘリ。恐シキコトナリ。自ラ省ミテ。慎ムベシ。嗚呼悲ヒカナ。世澆季ニ及ビテカクノ如キ輩ヲノミナリ。上代モシカアリケン。後白河ノ法皇ノ御言。少モ違ハザリケリ。

### 千手三河力事

昔シ保元平治ノ比。紫金臺寺ノ大僧正。諱ハ覺性ト申シ上ルアリキ。千手トテ御寵愛ノ童子アリ。能笛ヲ吹キ今樣ヲ謠ヒケル。僧正ニ心ナク愛シ玉ヒケリ。然ルニ又或處ヨリ三河トテ。一キハ優リタル美童入り來レリ。殊ニ和歌ヲ能ク詠ジ。瑟ヲ能ク彈ジケレバ。千手がキラ少シ衰ヘテ見ケリ。千手本意ナク思ヒ。御室ノ心アサクヲハシマスヲ怨ミ奉リテ。所勞ノ事アリトテ。我宿處ニ引込テ出ザリケリ。或夜歡宴ノ事ア

人ハ道得ルコトモ得ズトイツベシサレバ童子ハ心正直ニシテ佛法ニ導ク時ハ入り易ク。深ク罪福ヲ信シテ。一念ノ善根モ性靈ヨリ發起スレバ功德深シ。白山權現ノ一所ニ熊眞水ト云アリ。本地地藏菩薩ナリ。或人道心ヲ祈リテ日夜ニ念ラザリケレバ。或夜ノ示現ニ二歳三歳ノ童子ノ心ニナレト告給ヒケルトイヘリ。是モ童子ノ心能ク地藏菩薩ノ内證ニ稱ヘルナラン。然ルヲ今時ノ僧姣童ヲ養テハ。佛道ニ引入スルコトアタハズシテ。只世間ノ藝能ノミヲ教ヘ。或ハ世間ノ伎能ヲモ教ズシテ。唯色ヲ好テ非梵行ノ境界トス。終ニ互相ニ愛執深クナリテ。或ハ命ヲ喪アリ。沙門ノ罪イカバカリゾヤ。カナシキコトナリ。經ニ説カク童子ヲ姪ズル者ハ衆合地獄ノ別處。多苦惱處ニ墮シテ。銅柱鐵床ノ報ヒヲ受ト。但シ是ハ在家ノ事ナリ。出家ノ犯ハ無間ノ業ナリ。

地藏本願經ニ。伽藍ノ中ニシテ淨ヲ行ズレバ。無間地獄ニ墮シテ。千万億劫出ル期ナシト説キ玉ヘリ。恐シキコトナリ。自ラ省ミテ。慎ムベシ。嗚呼悲ヒカナ。世澆季ニ及ビテカクノ如キ輩ヲノミナリ。上代モシカアリケン。後白河ノ法皇ノ御言。少モ違ハザリケリ。

### 千手三河力事

昔シ保元平治ノ比。紫金臺寺ノ大僧正。諱ハ覺性ト申シ上ルアリキ。千手トテ御寵愛ノ童子アリ。能笛ヲ吹キ今樣ヲ謠ヒケル。僧正ニ心ナク愛シ玉ヒケリ。然ルニ又或處ヨリ三河トテ。一キハ優リタル美童入り來レリ。殊ニ和歌ヲ能ク詠ジ。瑟ヲ能ク彈ジケレバ。千手がキラ少シ衰ヘテ見ケリ。千手本意ナク思ヒ。御室ノ心アサクヲハシマスヲ怨ミ奉リテ。所勞ノ事アリトテ。我宿處ニ引込テ出ザリケリ。或夜歡宴ノ事ア



リテ諸人聚會セシトキ。僧正ノ玉ヒケルハ。千手ハ何事ニカ  
比日ハ我前ニ出ヌ。呼テ笛吹セヨ。今様謠セヨト。近侍ノ曰ク  
所勞ノ事侍リテ。養生イタシ侍ルト。僧正是非ニ出ト宣ヒ  
ケレバ。御使往テ御氣色ノ趣シカト言ケリ。千手胸打サ  
ハギテ申ケルハ。所勞未ダ愈ズ。殊ニ身ヲモ漫リニシテ髪ヲモ  
ケツラス。ヤミツカレテ侍レバ。イカデカ御前ヘハ出ベキト。使歸  
リテ件ノ事申上ケレバ。容見グルシクモクルシカラジ。是非ニ  
出ヨト再タヒ御使アリシマ。千手モセンカタナクテ出ケル  
ヲ見ルニ。久シク蟄居シテ少シ思ヒ痺タル躰ナリ。紋紗ノ兩面  
ノ水干ニムバラコキ雀ミノ集タルヲ縫タリケリ。紫ノスソゴ  
ノ袴ヲ被タリ。殊ニアザヤカニ。ソウゾキタレド。物思躰ニテ打  
涙グミテ。ツヤク物ヲモイハズナンアリケル。一坐ノ人々皆哀ニ

リテ諸人聚會セシトキ。僧正ノ玉ヒケルハ。千手ハ何事ニカ  
比日ハ我前ニ出ヌ。呼テ笛吹セヨ。今様謠セヨト。近侍ノ曰ク  
所勞ノ事侍リテ。養生イタシ侍ルト。僧正是非ニ出ト宣ヒ  
ケレバ。御使往テ御氣色ノ趣シカト言ケリ。千手胸打サ  
ハギテ申ケルハ。所勞未ダ愈ズ。殊ニ身ヲモ漫リニシテ髪ヲモ  
ケツラス。ヤミツカレテ侍レバ。イカデカ御前ヘハ出ベキト。使歸  
リテ件ノ事申上ケレバ。容見グルシクモクルシカラジ。是非ニ  
出ヨト再タヒ御使アリシマ。千手モセンカタナクテ出ケル  
ヲ見ルニ。久シク蟄居シテ少シ思ヒ痺タル躰ナリ。紋紗ノ兩面  
ノ水干ニムバラコキ雀ミノ集タルヲ縫タリケリ。紫ノスソゴ  
ノ袴ヲ被タリ。殊ニアザヤカニ。ソウゾキタレド。物思躰ニテ打  
涙グミテ。ツヤク物ヲモイハズナンアリケル。一坐ノ人々皆哀ニ

思ヒケリ。サテ御室ノ御前ニ盃ヲ置ル時ニ。千手ニ今様  
謠ヘト仰アリケレバ。新ニ自ラ歌作リテ

過去無數ノ諸佛ニモ。捨ラレタルヲバイカセ。現在十方  
ノ淨土ニモ。往生スベキ心ナシ。設ヒ罪業重クモ。引攝シ玉ヘ  
弥陀佛

ト哀ナル聲ニテ。クリカヘシク謠ヒケレバ。一坐ノ人々皆袂ヲ濕  
シケリ。面白カリケル酒宴ノ座。シメリカヘリテ興醒メテゾア  
リケル。僧正ハアマリニ不便ニ覺シメシ。禁カチサセ玉ヒテ。自ラ  
其ノ坐ヨリ千手ヲ抱キテ。御寢處ニ入ラセ玉ヒケリ。其後  
諸人ハ多ク酒飲テ退キケリ。夜明テ見レバ。三河ハハヤ夜中  
ニ何地トモナクウセケリ。コハイカニトサハグニ。御寢處ノ枕屏  
風ニ紅ノ薄襦二一首ノ歌ヲ書付タリ

思ヒケリ。サテ御室ノ御前ニ盃ヲ置ル時ニ。千手ニ今様  
謠ヘト仰アリケレバ。新ニ自ラ歌作リテ

過去無數ノ諸佛ニモ。捨ラレタルヲバイカセ。現在十方  
ノ淨土ニモ。往生スベキ心ナシ。設ヒ罪業重クモ。引攝シ玉ヘ  
弥陀佛

ト哀ナル聲ニテ。クリカヘシク謠ヒケレバ。一坐ノ人々皆袂ヲ濕  
シケリ。面白カリケル酒宴ノ座。シメリカヘリテ興醒メテゾア  
リケル。僧正ハアマリニ不便ニ覺シメシ。禁カチサセ玉ヒテ。自ラ  
其ノ坐ヨリ千手ヲ抱キテ。御寢處ニ入ラセ玉ヒケリ。其後  
諸人ハ多ク酒飲テ退キケリ。夜明テ見レバ。三河ハハヤ夜中  
ニ何地トモナクウセケリ。コハイカニトサハグニ。御寢處ノ枕屏  
風ニ紅ノ薄襦二一首ノ歌ヲ書付タリ

尋ヌベキ君ナラマセバ告テマシ

入ヌル山ノ名ヲバソレトモ

ト手跡ヲ見ルニ正シク三河カ書タルナリサテ至ラヌ限モ  
ナク尋ネサセ玉ヒケレトモ。終ニ行方シレズナリケリ。御室ノ今  
様ニメデ、又千手ヲ愛シ玉フヲ怨ミ奉リテナリ。其後三  
年ヲ經テ聞ヘケルハ高野山ニ登リテ出家セシトナン。往末  
能勤メ行ヒケルヤラン。ヲボツカナシ。此ノ二童子ノ心思ヒヤル  
ニ最哀ニハ侍レド罪深キヲ。マス／＼復不便ナリ。愛セシ人ノ  
罪尚復極メテ重キゾ悲シキコトナリ。五百五十年ニモナリヌ  
ラン。既ニ末法万年ノ初メナレバ。カクノ如ク僧ノ威儀皆カケ  
テ破戒無慚ナリシナリ。サリナガラ今時ノ僧ヲ見ルニ。五百  
年前ト八十倍モ劣リテ見ユ。文覺ノ如キ荒行ニ堪ル人モナク。

明慧ノ如ク禪定ヲ得タルモナシ。西行法師。蓮性法師ノ如キ  
世捨人モ夢ニダモ見ズ。人モ世界モ佛法モ皆衰ヘテ。唯煩惱ノ  
ミ昔ヨリモ勝レリ。千手三河カ心正直ニシテ愛執ノ深キヲ。初メ  
ヨリ正道ニ導キナバ。松室ノ童子ノ讀誦仙人トナリ。岸法  
師ノ童子ノ。淨土ニ往生セシ風情ノ事ハアルベキニ。教ユル人ノア  
シカリケレバ。カクノ如キ事モアシメリ

或人ノ寵童死シテ後夜々來ル事

近比何ノ國トカヤ。禪宗ノ長老。姣童ヲ愛シテ互相ニ情深カ  
リケリ。然ニ輪番周リ來テ。本寺ニ一年勤ムベキニ成ケレバ。彼  
童子ヲ諭シテ曰。我輪番周リ來タルマ、本寺ニ一年住持スベシ。  
本寺ニハ童子ヲ置コト禁制ナリ。汝ニ離ル、コト暫モスレバ三秋ノ  
如クナルニ。今長ク一年ノ別レ愁苦限リナシトイヘトモ。輪番ノ周リ

尋ヌベキ君ナラマセバ告テマシ

入ヌル山ノ名ヲバソレトモ

ト手跡ヲ見ルニ正シク三河カ書タルナリサテ至ラヌ限モ  
ナク尋ネサセ玉ヒケレトモ。終ニ行方シレズナリケリ。御室ノ今  
様ニメデ、又千手ヲ愛シ玉フヲ怨ミ奉リテナリ。其後三  
年ヲ經テ聞ヘケルハ高野山ニ登リテ出家セシトナン。往末  
能勤メ行ヒケルヤラン。ヲボツカナシ。此ノ二童子ノ心思ヒヤル  
ニ最哀ニハ侍レド罪深キコト。マス／＼復不便ナリ。愛セシ人ノ  
罪尚復極メテ重キゾ悲シキコトナリ。五百五十年ニモナリヌ  
ラン。既ニ末法万年ノ初メナレバ。カクノ如ク僧ノ威儀皆カケ  
テ破戒無慚ナリシナリ。サリナガラ今時ノ僧ヲ見ルニ。五百  
年前ト八十倍モ劣リテ見ユ。文覺ノ如キ荒行ニ堪ル人モナク。

明慧ノ如ク禪定ヲ得タルモナシ。西行法師。蓮性法師ノ如キ  
世捨人モ夢ニダモ見ズ。人モ世界モ佛法モ皆衰ヘテ。唯煩惱ノ  
ミ昔ヨリモ勝レリ。千手三河カ心正直ニシテ愛執ノ深キヲ。初メ  
ヨリ正道ニ導キナバ。松室ノ童子ノ讀誦仙人トナリ。岸法  
師ノ童子ノ。淨土ニ往生セシ風情ノ事ハアルベキニ。教ユル人ノア  
シカリケレバ。カクノ如キ事モアシメリ

或人ノ寵童死シテ後夜々來ル事

近比何ノ國トカヤ。禪宗ノ長老。姣童ヲ愛シテ互相ニ情深カ  
リケリ。然ニ輪番周リ來テ。本寺ニ一年勤ムベキニ成ケレバ。彼  
童子ヲ諭シテ曰。我輪番周リ來タルマ、本寺ニ一年住持スベシ。  
本寺ニハ童子ヲ置コト禁制ナリ。汝ニ離ル、コト暫モスレバ三秋ノ  
如クナルニ。今長ク一年ノ別レ愁苦限リナシトイヘトモ。輪番ノ周リ

來ルハ一宗ノ美名榮幸ナレバ辭スルコトアタハズ。如何セントナゲ  
カレ。童子モ悲ミテ曰ク。有髮ニテ召シ具シ玉フコト叶ハズバ。出  
家セシメテ具シ玉ヘト申シケルヲ。長老モ何ヲカ因縁ニシテ愛網  
ヲ離レント思テ曰ク。シカラハ父母ノ許サバルヲバ出家セシメス。  
父母ニ告ヨトテ父ノ方ヘ歸寧セシメテ。ヤガ本寺ヘトテ行レケ  
ル。童子歸リテ長老ヲ尋ネ問ニ。ハヤ本寺ヘ御渡リ候ナリ。  
今ハ三十里ヲモ踰玉フベシト言ヲ聞テ。即時ニ跡ヲ慕ヒ追ケ  
レバ。程ナク。種々ニ恨ミカコチテ。何トテ我ヲバ捨テ、行玉フゾ  
ヤト泣淚ケレバ。長老モ進マントスレバ本寺ノ制ナリ。退カントスレ  
バ人目イカバト思ハレケレトモ。先童子ヲ賺サンガ為ニ。其ヨリ歸  
ラレケリ。又種々ニ宥メ諭シテ或處ニ用事アリ。七日過テ歸ル  
ベシト言テ出ラレケリ。然ルニ七日ニ至テ歸ラザリケレバ。怪シミテ

來ルハ一宗ノ美名榮幸ナレバ辭スルコトアタハズ。如何セントナゲ  
カレ。童子モ悲ミテ曰ク。有髮ニテ召シ具シ玉フコト叶ハズバ。出  
家セシメテ具シ玉ヘト申シケルヲ。長老モ何ヲカ因縁ニシテ愛網  
ヲ離レント思テ曰ク。シカラハ父母ノ許サバルヲバ出家セシメス。  
父母ニ告ヨトテ父ノ方ヘ歸寧セシメテ。ヤガ本寺ヘトテ行レケ  
ル。童子歸リテ長老ヲ尋ネ問ニ。ハヤ本寺ヘ御渡リ候ナリ。  
今ハ三十里ヲモ踰玉フベシト言ヲ聞テ。即時ニ跡ヲ慕ヒ追ケ  
レバ。程ナク。種々ニ恨ミカコチテ。何トテ我ヲバ捨テ、行玉フゾ  
ヤト泣淚ケレバ。長老モ進マントスレバ本寺ノ制ナリ。退カントスレ  
バ人目イカバト思ハレケレトモ。先童子ヲ賺サンガ為ニ。其ヨリ歸  
ラレケリ。又種々ニ宥メ諭シテ或處ニ用事アリ。七日過テ歸ル  
ベシト言テ出ラレケリ。然ルニ七日ニ至テ歸ラザリケレバ。怪シミテ

人ニ問ニ。本寺ヘ往玉フナリ。今ハ八十里モ隔タリヌラント語リ  
ケレバ。戀恨ミ悶焦レテ忽チニ死シヌ。諸人且ハ哀レミ且ハ恐レ  
ナガラ葬シケリ。其夜神鬼即チ彼長老ノ方ヘ行テ。長老  
ノ夢トモナク現トモナク目ニ見テ。何トテ情ナクモ我ヲ捨  
テ、行玉フゾト。種々ニ恨ミ悲シミケレバ。長老モ音ヲ惜マズ啼  
レケルヲ。旅邸ノ主聞テ如何ニト問バ。夢ミタルナリト答ヘテ  
又眠ルニ初ノ如シ。終ニ一夜ハ眠ラザリケリ。次ノ宿ニテモ亦カ  
クノ如シ。眠ラントスレバ來リテ種々ニ恨ミ悲シミケレバ。左右人  
目辱シク本寺ノ輪番モ勤メガタクテ辭シ歸リ。其ヨリ寺ヲ  
ステ、諸國ノ行脚ニ念佛・一三昧ニ住シテ一切所修ノ善根ヲ。彼ガ  
菩提ノ為ニ回向シケレバ。後ニハ來ラザリケリ。其僧今現在シテ  
人ニモ此ヲ語ラレケルト。或人語リケリ。明慧上人ニハ常ニ天

人ニ問ニ。本寺ヘ往玉フナリ。今ハ八十里モ隔タリヌラント語リ  
ケレバ。戀恨ミ悶焦レテ忽チニ死シヌ。諸人且ハ哀レミ且ハ恐レ  
ナガラ葬シケリ。其夜神鬼即チ彼長老ノ方ヘ行テ。長老  
ノ夢トモナク現トモナク目ニ見テ。何トテ情ナクモ我ヲ捨  
テ、行玉フゾト。種々ニ恨ミ悲シミケレバ。長老モ音ヲ惜マズ啼  
レケルヲ。旅邸ノ主聞テ如何ニト問バ。夢ミタルナリト答ヘテ  
又眠ルニ初ノ如シ。終ニ一夜ハ眠ラザリケリ。次ノ宿ニテモ亦カ  
クノ如シ。眠ラントスレバ來リテ種々ニ恨ミ悲シミケレバ。左右人  
目辱シク本寺ノ輪番モ勤メガタクテ辭シ歸リ。其ヨリ寺ヲ  
ステ、諸國ノ行脚ニ念佛・一三昧ニ住シテ一切所修ノ善根ヲ。彼ガ  
菩提ノ為ニ回向シケレバ。後ニハ來ラザリケリ。其僧今現在シテ  
人ニモ此ヲ語ラレケルト。或人語リケリ。明慧上人ニハ常ニ天



魔端正ノ童子ノ形ヲ現シテ隨逐シ。種々ニ便リヲ伺ヒケレ  
トモ終ニ便ヲ得ズ。上人ニ瞋恚ヲ發サシメント思テ。鐵鉢ノ中  
ニ糞シケルヲ。上人知テ淚ヲ流シテ諭シテ曰ク。汝數年我カ便ヲ  
伺フ。我何ソ汝カ為ニ障尋セラレンヤ。汝カ我ヲ妨ゲント思フ  
心ノ勇猛ナルヲ引カヘテ。菩提ヲ求メナバ。早ク成佛スベキヲ  
ト。歎キモヒケレバ。魔童子菩提心ヲ起シテ去ルトイヘリ。今此ノ  
童子モ魔ノ變セルニヤ。工夫若似思君意成佛應先老釋  
迦トイヘルヲ實ナルカナ。是ノ如キ事古今ニ例シ多ケレバ。煩  
ハシク記セズ。一ヲ得テ万ヲ知レ。慎ムベシ恐ルベシ。省ミズンバアルベカラズ。  
少年ヲ畜フベカラスト云ノ辨並智増悲増ノ菩薩ノ事  
伏シテ惟レバ末世ノ凡夫。事ニフレテ愛著生ジヤスケレバ。法花ノ  
安樂行品ニハ樂テ年小ノ弟子沙弥小兒ヲ畜ヘザレ。又彼ト

師ヲ同クセザレト誡メ玉ヘリ。但シ法花ハ自行ニ付テ説。大師  
ハ化他ニ約シテ赤子ヨリ寺ニ住セシメト教ヘ玉ヘリ。自ラ法  
花三昧ヲ得ント思フ者ハ。年少ノ弟子ヲ畜ヘザレトナリ。又  
樂テト云字。字眼ナリ。法スラ好ムハアシカリナン。況ヤ年少  
ヲ好樂スルヲヤ。又南嶽天台俱ニ衆ヲ領ジ玉ヘル故ニ。自ラノ  
證位進マズトテ歎キ玉ヘリ。何止年少ノミナランヤ。止觀ノ第  
七ニ南嶽ノ四擇。天台ノ三術ヲ明セリ。披テ見ベシ。自行ニハ衆  
ヲ領ズレハ其ノ為ニ志ヲ奪ハレテ自行立シカタキ故ナリ。若一  
切ノ人皆衆ヲ領ゼズンバ佛法ハ絶ヌベシ。殊ニ密教ハ師資傳  
授ヲ本トスレバ。大師ハ兒ヨリ取立ルコトヲ教ヘ玉ヘリ。且密家ニ  
ハ最後斷種ノ人トテ。密教付法ノ斷ユルヲ重罪トスルカ故ニ。  
化他門ニ約シテハ衆ヲ領ズルヲキラハズ。但シ一生ニ悉地ニ入ント

魔端正ノ童子ノ形ヲ現シテ隨逐シ。種々ニ便リヲ伺ヒケレ  
トモ終ニ便ヲ得ズ。上人ニ瞋恚ヲ發サシメント思テ。鐵鉢ノ中  
ニ糞シケルヲ。上人知テ淚ヲ流シテ諭シテ曰ク。汝數年我カ便ヲ  
伺フ。我何ソ汝カ為ニ障尋セラレンヤ。汝カ我ヲ妨ゲント思フ  
心ノ勇猛ナルヲ引カヘテ。菩提ヲ求メナバ。早ク成佛スベキヲ  
ト。歎キモヒケレバ。魔童子菩提心ヲ起シテ去ルトイヘリ。今此ノ  
童子モ魔ノ變セルニヤ。工夫若似思君意成佛應先老釋  
迦トイヘルコト實ナルカナ。是ノ如キ事古今ニ例シ多ケレバ。煩  
ハシク記セズ。一ヲ得テ万ヲ知レ。慎ムベシ恐ルベシ。省ミズンバアルベカラズ。  
少年ヲ畜フベカラスト云ノ辨並智増悲増ノ菩薩ノ事  
伏シテ惟レバ末世ノ凡夫。事ニフレテ愛著生ジヤスケレバ。法花ノ  
安樂行品ニハ樂テ年小ノ弟子沙弥小兒ヲ畜ヘザレ。又彼ト

師ヲ同クセザレト誡メ玉ヘリ。但シ法花ハ自行ニ付テ説。大師  
ハ化他ニ約シテ赤子ヨリ寺ニ住セシメト教ヘ玉ヘリ。自ラ法  
花三昧ヲ得ント思フ者ハ。年少ノ弟子ヲ畜ヘザレトナリ。又  
樂テト云字。字眼ナリ。法スラ好ムハアシカリナン。況ヤ年少  
ヲ好樂スルヲヤ。又南嶽天台俱ニ衆ヲ領ジ玉ヘル故ニ。自ラノ  
證位進マズトテ歎キ玉ヘリ。何止年少ノミナランヤ。止觀ノ第  
七ニ南嶽ノ四擇。天台ノ三術ヲ明セリ。披テ見ベシ。自行ニハ衆  
ヲ領ズレハ其ノ為ニ志ヲ奪ハレテ自行立シカタキ故ナリ。若一  
切ノ人皆衆ヲ領ゼズンバ佛法ハ絶ヌベシ。殊ニ密教ハ師資傳  
授ヲ本トスレバ。大師ハ兒ヨリ取立ルコトヲ教ヘ玉ヘリ。且密家ニ  
ハ最後斷種ノ人トテ。密教付法ノ斷ユルヲ重罪トスルカ故ニ。  
化他門ニ約シテハ衆ヲ領ズルヲキラハズ。但シ一生ニ悉地ニ入ント

思フ者ハ衆ヲ離レテ。知法ノ同法ト俱ニ名山勝地ニ隱レテ。一生衆人ニ交ラザレシカラザレバ悉地ヲ得ルヲアタハズ。自カ強盛ニシテ後ニ人ヲ利スレバ。自モ損ゼス又他モ廣ク利スベシ。然レトモ損已益物ハ菩薩ノ常ナレバ衆ヲ領シテ嫌ハズ。設ヒ自分ハ證位進マズモ他ヲ利スルヲ本トスルハ。悲増ノ菩薩ナリ。衆ヲ領ゼス少年ノ弟子沙弥ヲ畜ヘザルハ。智増ノ菩薩ノ攝ナルベシ。蓋シ小乗ノ自調自度ノ心ニモ近カルベキカ。理趣經ニハ菩薩勝慧者乃至盡生死為度衆故而不趣涅槃。說キ略出經ニハ三界極重罪。不遇於厭離。汝於貪欲處莫生厭離。心ヲ説玉ヘリ。不空三藏ノ毎日三時ニ修法シ玉ヒシニ。或時壇上ヘ金剛薩埵現メ。白毫ノ光明普ク照メ。汝チ悉地近カルベシト告玉ヘバ。三藏呵メ曰ク衆生未ダ度セス。吾何ゾ自度セン

ヤト。其時ニ薩埵隱レ玉フトイヘリ。是ヲ真ノ大菩薩トハ云ベキナリ。智増ノ菩薩ハ。先自ラ無生忍ヲ得テ後ニ。自在ニ一切衆生ヲ度セント誓フガ故ニ。我カ悉地ヲ願フモ度生ノ為ナリ。起信論ニハ若衆生心怯弱ニシテ。此世界ニ住ンハ信心成就スベキ事難ク。退センコトヲ畏レバ。淨土ニ生ゼンコトヲ願ヘ。彼土ニハ三途ノ名モナク終ニ退墮スルコトナクシテ。正定ニ住スルコトヲ得トイヘリ。十疑論ニ具ニ是ヲ説リ。六百年來西方往生ヲ願フ人。天下ニ彌滿セリ。是レ末世ノ人ハ勇猛ノ心ナク。志性定ラザレバ。阿弥陀佛ノ超世ノ別願力ニ乘ン。彼土ニ往生シ。無生忍ヲ證ジ身ヲ百佛世界ニ分テ。自在ニ衆生ヲ度セント圖レバナリ。但化他ノ心少クテ極樂ニ生ジナバ。樂ヲ受ントノミ思ハ。懈慢界ニ生シテ進ムコトアタハジ。辨ヘズンバアルベカラズ

ヤト。其時ニ薩埵隱レ玉フトイヘリ。是ヲ真ノ大菩薩トハ云ベキナリ。智増ノ菩薩ハ。先自ラ無生忍ヲ得テ後ニ。自在ニ一切衆生ヲ度セント誓フガ故ニ。我カ悉地ヲ願フモ度生ノ為ナリ。起信論ニハ若衆生心怯弱ニシテ。此世界ニ住ンハ信心成就スベキ事難ク。退センコトヲ畏レバ。淨土ニ生ゼンコトヲ願ヘ。彼土ニハ三途ノ名モナク終ニ退墮スルコトナクシテ。正定ニ住スルコトヲ得トイヘリ。十疑論ニ具ニ是ヲ説リ。六百年來西方往生ヲ願フ人。天下ニ彌滿セリ。是レ末世ノ人ハ勇猛ノ心ナク。志性定ラザレバ。阿弥陀佛ノ超世ノ別願力ニ乘シテ。彼土ニ往生シ。無生忍ヲ證ジ身ヲ百佛世界ニ分テ。自在ニ衆生ヲ度セント圖レバナリ。但化他ノ心少クテ極樂ニ生ジナバ。樂ヲ受ントノミ思ハ。懈慢界ニ生シテ進ムコトアタハジ。辨ヘズンバアルベカラズ



梁、慧布法師及ヒ三種菩提心等ノ事

昔、梁ノ慧布法師ト云人アリ。博學廣智ニテ諸人ノ仰グ所ナリ。西方ヲ願フ者ヲ見テハ。則チ告テ曰ク。方土ノ淨キハ吾ガ願ヒニアラス。今願フ所只衆生ヲ化度セン。如何ゾ蓮花ノ中ニ在テ。十劫樂ヲ受ンヤ。未ダシカズニ途ノ苦ニ處ニテ救済スルニハト。終ニ七十二及ビテ攝化道行堪ガタカリケレバ。衆ニ告テ曰ク。我命残り三年ナルベシ。但シ老困ニシテ道ヲ行ズルコトアタハズ。住世何ノ益カアラン。常ニ願ハクハ。生生世世ニ邊地ノ三寶ナキ處ニ生レテ。佛事ヲ作シ衆生ヲ利益セント。穀ヲ絶テ食セス。陳ノ主敕シテ醫師ヲ遣ハシ診脉セシムルニ臂ヲ縮テ許サズ。遂ニ陳ノ貞明元年十一月廿三日ニ端坐シテ寂ス。遷化ノ前大地大ニ動ク。七日ニ即卒ス。卒シテ手

梁、慧布法師及ヒ三種菩提心等ノ事

昔、梁ノ慧布法師ト云人アリ。博學廣智ニテ諸人ノ仰グ所ナリ。西方ヲ願フ者ヲ見テハ。則チ告テ曰ク。方土ノ淨キハ吾ガ願ヒニアラス。今願フ所只衆生ヲ化度セン。如何ゾ蓮花ノ中ニ在テ。十劫樂ヲ受ンヤ。未ダシカズニ途ノ苦ニ處ニテ救済スルニハト。終ニ七十二及ビテ攝化道行堪ガタカリケレバ。衆ニ告テ曰ク。我命残り三年ナルベシ。但シ老困ニシテ道ヲ行ズルコトアタハズ。住世何ノ益カアラン。常ニ願ハクハ。生生世世ニ邊地ノ三寶ナキ處ニ生レテ。佛事ヲ作シ衆生ヲ利益セント。穀ヲ絶テ食セス。陳ノ主敕シテ醫師ヲ遣ハシ診脉セシムルニ臂ヲ縮テ許サズ。遂ニ陳ノ貞明元年十一月廿三日ニ端坐シテ寂ス。遷化ノ前大地大ニ動ク。七日ニシテ即卒ス。卒シテ手

三指ヲ屈ス。將セ氏又屈ス。案ニ第三果ヲ得タル徵ナリ。又大史奏シテ曰ク。得道人ノ星滅スト。又臨終ノ前大衆ニ告テ曰ク。昨夜ニ菩薩來迎ス。一ハ是生身。一ハ是法身ナリ。吾已ニ許ス。尋テ諸天來リ迎フ。生ヲ願ハザルガ故ニ許サザルノミト。慧布ノ心ハ大丈夫ノ意氣ナリ。悲増ノ菩薩トイツベシ。涅槃經ニハ發心畢竟ニ無別。如是ニ二心ニハ先心難自未得度。先度佗是故敬禮初發心ト説モ。菩薩ハ初發心ヨリ利佗ヲ先トスルガ故ナリ。慧布及不空ノ如キハ。淨土ヲ願ハズトモ。上品上生ニ生シテ必ズ一切衆生ヲ度スベキ器宇ナリ。唯菩提心ナクテ穢土ヲ厭離セバ。是三界ノ極重罪トイヘルナルベシ。九品ノ中ニ上品下生ノ人ハ。但シ無上道心ヲ發スノミニテ往生スト説ケリ。然レハ只菩提心程勝レタルハアラジ。此菩

三指ヲ屈ス。將セトモ又屈ス。案ニ第三果ヲ得タル徵ナリ。又大史奏シテ曰ク。得道人ノ星滅スト。又臨終ノ前大衆ニ告テ曰ク。昨夜ニ菩薩來迎ス。一ハ是生身。一ハ是法身ナリ。吾已ニ許ス。尋テ諸天來リ迎フ。生ヲ願ハザルガ故ニ許サザルノミト。慧布ノ心ハ大丈夫ノ意氣ナリ。悲増ノ菩薩トイツベシ。涅槃經ニハ發心畢竟ニ無別。如是ニ二心ニハ先心難自未得度。先度佗是故敬禮初發心ト説モ。菩薩ハ初發心ヨリ利佗ヲ先トスルガ故ナリ。慧布及不空ノ如キハ。淨土ヲ願ハズトモ。上品上生ニ生シテ必ズ一切衆生ヲ度スベキ器宇ナリ。唯菩提心ナクテ穢土ヲ厭離セバ。是三界ノ極重罪トイヘルナルベシ。九品ノ中ニ上品下生ノ人ハ。但シ無上道心ヲ發スノミニテ往生スト説ケリ。然レハ只菩提心程勝レタルコトハアラジ。此菩



提心ニ顯密大小ノ異アレド。上求下化ノ二心ニハ出ズ。此ノ二心ヲ密教ニハ勝義行願ノ二心ト号ス。淨土ヲ願フハ勝義ノ菩提心ヲ先トスルニ攝スベシ。慧布及不空ノ如キ淨土ヲ願ハズ。生々世々ニ穢土ニ居シテ。衆生ヲ度セント誓フハ。大悲行願ノ心ヲ先トスルナリ。故ニ自ラ證位進マザルヲモ顧ミズ。大衆ヲ領シテ法燈ヲ挑ゲ。正法ヲ住持シ人天ヲ利益シ。一切衆生成佛シ竟テ。後ニ我成佛セント誓フ。是ヲ大悲闡提ノ菩薩ト名ク。三摩地ノ菩提心ニ住スル人ハ。六大體性本有常住ヲ。佛ト衆生ト我ト同シク六大ニ異ナシト信知ス。穢土即チ淨土。凡即是佛ニシテ。西方ノ阿彌陀佛ハ。我胸中ノ蓮體ナリトシルカ故ニ。西方ヲ願フトイヘトモ。欣求ニモアラズ。穢土ヲ嫌フトイヘトモ。厭離ニモアラス。平等平等ニシテ自行自ラ立シ。化他自ラ滿ズ。是ヲ智慧悲均

提心ニ顯密大小ノ異アレド。上求下化ノ二心ニハ出ズ。此ノ二心ヲ密教ニハ勝義行願ノ二心ト号ス。淨土ヲ願フハ勝義ノ菩提心ヲ先トスルニ攝スベシ。慧布及不空ノ如キ淨土ヲ願ハズ。生々世々ニ穢土ニ居シテ。衆生ヲ度セント誓フハ。大悲行願ノ心ヲ先トスルナリ。故ニ自ラ證位進マザルヲモ顧ミズ。大衆ヲ領シテ法燈ヲ挑ゲ。正法ヲ住持シ人天ヲ利益シ。一切衆生成佛シ竟テ。後ニ我成佛セント誓フ。是ヲ大悲闡提ノ菩薩ト名ク。三摩地ノ菩提心ニ住スル人ハ。六大體性本有常住ニシテ。佛ト衆生ト我ト同シク六大ニ異ナシト信知ス。穢土即チ淨土。凡即是佛ニシテ。西方ノ阿彌陀佛ハ。我胸中ノ蓮體ナリトシルカ故ニ。西方ヲ願フトイヘトモ。欣求ニモアラズ。穢土ヲ嫌フトイヘトモ。厭離ニモアラス。平等平等ニシテ自行自ラ立シ。化他自ラ滿ズ。是ヲ智慧悲均

等ノ菩薩トイツベシ。然レモ無始ノ間隔ノ故ニ自行ハ易ク化他ハ難シ。今ノ世ニモ損己益物ノ心アル人ハ。救世ノ大士ナリト知テ恭敬スベシ。況ヤ智慧悲均等ノ人ヲヤ。但シ身ヲ法服ノ内ニ隱シテ利養ヲ貪リ。不淨說法ノ慚愧ナキノ輩ヲ天下ニ弥綸ゼリ。辨ヘズンバアルベカラズ。恥ズンバアルベカラズ。是亦師ノ過ナリ。詩ニ曰ク餅之馨矣。維疊之恥ナリト。司馬公カ曰ク訓導ノ不嚴。師之惰ナリト。夫レ師トシテ弟子ヲ能ク教導スルコトアタハザルハ地獄ニ墮ストイヘリ。經ニ或人大海ヲ渡ルニ船動ズ。諸龍出デ、此中ニ沙門アリ。是ハ我先生ノ師ナリ。教導ノアシカリケル故ニ龍趣ニ墮セリ。其沙門ヲ海中ニ沈メヨ。恨ミヲ報ゼント云ケレバ。沙門聞テ我罪ナレバ則チ海中ヘ沈ミケリ。サテ船能行テ諸人難ヲ免レタリト説ケリ。菩薩善戒

等ノ菩薩トイツベシ。然レトモ無始ノ間隔ノ故ニ自行ハ易ク化他ハ難シ。今ノ世ニモ損己益物ノ心アル人ハ。救世ノ大士ナリト知テ恭敬スベシ。況ヤ智慧悲均等ノ人ヲヤ。但シ身ヲ法服ノ内ニ隱シテ利養ヲ貪リ。不淨說法シテ慚愧ナキノ輩ヲ天下ニ弥綸ゼリ。辨ヘズンバアルベカラズ。恥ズンバアルベカラズ。是亦師ノ過ナリ。詩ニ曰ク餅之馨矣。維疊之恥ナリト。司馬公カ曰ク訓導ノ不嚴。師之惰ナリト。夫レ師トシテ弟子ヲ能ク教導スルコトアタハザルハ地獄ニ墮ストイヘリ。經ニ或人大海ヲ渡ルニ船動ズ。諸龍出デ、此中ニ沙門アリ。是ハ我先生ノ師ナリ。教導ノアシカリケル故ニ龍趣ニ墮セリ。其沙門ヲ海中ニ沈メヨ。恨ミヲ報ゼント云ケレバ。沙門聞テ我罪ナレバ則チ海中ヘ沈ミケリ。サテ船能行テ諸人難ヲ免レタリト説ケリ。菩薩善戒

經ニモ旃陀羅等及ヒ屠兒。惡業ヲ行ズトイヘトモ如來ノ正法ヲ破壞スルヲアタハザレバ。必定ノ三惡道ノ中ニ墮セス。師トシテ弟子ヲ教呵スルヲアタハザレバ。則チ佛法ヲ破ス。必定ノ當ニ地獄ノ中ニ墮スベシ。名譽ノ為ノ故ニ徒衆ヲ聚畜スル。是ヲ邪見ト名ケ魔ノ弟子ト名クト説リ。豈恐レザルベケンヤ

念佛者ノ癖並ニ闕支分念佛ノ事

問上ニ聞ユル所口。設ヒ博學廣識ナリトモ童子ノ如ク正直ナラバ。未來ノ引攝ニモ預リ。現世ノ悉地ヲモ成ズベシト。是法然上人ノ。設ヒ一代ノ法ヲヨク學スモ。一文不知ノ愚癡ノ身ニナシテ尼入道ノ輩ニ同ジフシ。智者ノフルマヒヲセズシテ。唯一向ニ念佛セヨトイヘルト同トヤセン異ナルカ。答大ニ同ナリ。但シ童子ハ邪念希ナリ。一文不知ノ尼入道ハ平人ヨリモ倍愚ニ

ノ倍邪見ナルアリ。故ニ是ハ分喻ナリ。唯其ノ正直但信ナルヲトルナリ。シカイヘバトテ渾テ學問ヲ絶スルニアラズ。法然上人平生諸事ヲ放下セシメ唯念佛ノ一行ヲ勵シ玉ヒシニ。弟子勢觀房ト云アリ。幼少ノ時ヨリ學問セデ。老後ニ悔ミ申サレケルハ。上人常ニ示シ玉ヒキ。學問ヲ事トスルハ雜行自力ナリ。但シ念佛ハ本願ノ行ニシテ。往生ノ正因ナリト辨ルホドノ學問ハ。シタルガヨキナリトアリシヲ。空シク學問ヲヤメシ事ノ悔シサヨトナ。カレタリ。念佛ニテ往生ストシルホドノ學問ハ。ヨホド情ニ入ズシテハ成ガタカルベシ。石川入道。道遍モ。人ニ語ラレケル故上人常ニ示シ玉ヘリ。念佛ニテ決定往生スト知程ノ學問ハセヨト。然ルニ我學問ヲセザリシコトノ本意ナサヨト。悲シマレケリ。菩提ノ為ニ學問セバ何ゾ往生ノ妨トナランヤ。高野山

經ニモ旃陀羅等及ヒ屠兒。惡業ヲ行ズトイヘトモ如來ノ正法ヲ破壞スルコトアタハザレバ。必定シテ三惡道ノ中ニ墮セス。師トシテ弟子ヲ教呵スルコトアタハザレバ。則チ佛法ヲ破ス。必定シテ當ニ地獄ノ中ニ墮スベシ。名譽ノ為ノ故ニ徒衆ヲ聚畜スル。是ヲ邪見ト名ケ魔ノ弟子ト名クト説リ。豈恐レザルベケンヤ

念佛者ノ癖並ニ闕支分念佛ノ事

問上ニ聞ユル所口。設ヒ博學廣識ナリトモ童子ノ如ク正直ナラバ。未來ノ引攝ニモ預リ。現世ノ悉地ヲモ成ズベシト。是法然上人ノ。設ヒ一代ノ法ヲヨク學ストモ。一文不知ノ愚癡ノ身ニナシテ尼入道ノ輩ニ同ジフシ。智者ノフルマヒヲセズシテ。唯一向ニ念佛セヨトイヘルト同トヤセン異ナルカ。答大ニ同ナリ。但シ童子ハ邪念希ナリ。一文不知ノ尼入道ハ平人ヨリモ倍愚ニ

シテ倍邪見ナルアリ。故ニ是ハ分喻ナリ。唯其ノ正直但信ナルヲトルナリ。シカイヘバトテ渾テ學問ヲ絶スルニアラズ。法然上人平生諸事ヲ放下セシメ唯念佛ノ一行ヲ勵シ玉ヒシニ。弟子勢觀房ト云アリ。幼少ノ時ヨリ學問セデ。老後ニ悔ミ申サレケルハ。上人常ニ示シ玉ヒキ。學問ヲ事トスルハ雜行自力ナリ。但シ念佛ハ本願ノ行ニシテ。往生ノ正因ナリト辨ルホドノ學問ハ。シタルガヨキナリトアリシヲ。空シク學問ヲヤメシ事ノ悔シサヨトナ。カレタリ。念佛ニテ往生ストシルホドノ學問ハ。ヨホド情ニ入ズシテハ成ガタカルベシ。石川入道。道遍モ。人ニ語ラレケル故上人常ニ示シ玉ヘリ。念佛ニテ決定往生スト知程ノ學問ハセヨト。然ルニ我學問ヲセザリシコトノ本意ナサヨト。悲シマレケリ。菩提ノ為ニ學問セバ何ゾ往生ノ妨トナランヤ。高野山

明遍僧都モ曰ク世間ノ學問ハ名利ノ爲ナリ名利ノ爲  
ナラバ學問スベカラズ。サレモ因果ノ道理ヲ知ルホドノ學問  
ハスベキナリト。或ハ初ハ名聞ノ爲ニ學問スレモ。學竟テハ  
深信信解ヲ生シテ往生ノ正因トナルアリ。慧心ノ僧都ノ如  
シ。サレバ小智ハ菩提ノ障リトイヘルハ儒學ノ事ナリ。或ハ佛  
法ヲ學ヘトモ。嘖ニ云阿房ノ早合点トヤランニテ。深ク理ヲ究  
メズシテ。已度ノ想ヲナセルヲ言ナリ。今時ノ人多クハ是ナリ。  
小智ハ菩提ノ障ナリト言テ學問ヲヤメ。ヒタスラニ懈怠  
緩慢ニシテ愚癡増長セル人アリ。我試ニ問ベシ。小智ハ菩提ノ  
障ナラバ愚癡ハ何ノ障ゾヤト。此時彼人如何ガ答ニヤ。夫  
愚癡ハ釋論ニハ根本無明ト説。菩提心論ニハ無始ノ間隔  
ト名ケ。一經ニハ本有ノ三障ト言ヒ。疏家ハ遍計所執ト釋シ。

明遍僧都モ曰ク世間ノ學問ハ名利ノ爲ナリ名利ノ爲  
ナラバ學問スベカラズ。サレトモ因果ノ道理ヲ知ルホドノ學問  
ハスベキナリト。或ハ初ハ名聞ノ爲ニ學問スレトモ。學竟テハ  
深信信解ヲ生シテ往生ノ正因トナルアリ。慧心ノ僧都ノ如  
シ。サレバ小智ハ菩提ノ障リトイヘルハ儒學ノ事ナリ。或ハ佛  
法ヲ學ヘトモ。嘖ニ云阿房ノ早合点トヤランニテ。深ク理ヲ究  
メズシテ。已度ノ想ヲナセルヲ言ナリ。今時ノ人多クハ是ナリ。  
小智ハ菩提ノ障ナリト言テ學問ヲヤメ。ヒタスラニ懈怠  
緩慢ニシテ愚癡増長セル人アリ。我試ニ問ベシ。小智ハ菩提ノ  
障ナラバ愚癡ハ何ノ障ゾヤト。此時彼人如何ガ答ニヤ。夫  
愚癡ハ釋論ニハ根本無明ト説。菩提心論ニハ無始ノ間隔  
ト名ケ。一經ニハ本有ノ三障ト言ヒ。疏家ハ遍計所執ト釋シ。

大師ハ微細妄執ト談ジ玉ヘリ。皆同躰一惑ニシテ即チ無明  
煩惱ナリ。三界輪廻ノ根本偏ニ是ニ由ル。人天ノ善趣ニ生  
ズルスラ猶此愚癡ニサヘラル。況ヤ淨土ニ生ゼンヤ。況ヤ佛  
果ヲ成ゼンヤ。サレバ諸煩惱障必由癡故トモ説リ。然ルヲ  
ヒタスラニ愚癡ニナルヤウニ教ユルハ邪教ナルベシ。前ニ童子ノ  
如クニナレトイヘルハ。心正直ニシテ六塵ノ欲少ク。能ク善知識  
ノ教ヲ信受スルヲイヘルナリ。尼入道ノ愚癡ノ人ハ。又是ニ異  
ナリ。善知識教ヘテ殺盜婬妄。飲酒食肉ハ罪ナリ。能往生  
ヲ妨グ。懈怠緩慢ハ佛ノ呵シ玉フ所口宜シク精進ニ修シ  
至ヘトイハ。愚癡ニシテ善惡邪正ヲ分別スルコトアタハズ。教化ヲ  
信受スルコトアタハズ。即チ曰ク。デモ持戒ハ我が好マザルナリ  
ト。然ラハ精進シ玉ヘトイヘバ。デモ力及バズド。能其根ヲキハム

大師ハ微細妄執ト談ジ玉ヘリ。皆同躰一惑ニシテ即チ無明  
煩惱ナリ。三界輪廻ノ根本偏ニ是ニ由ル。人天ノ善趣ニ生  
ズルスラ猶此愚癡ニサヘラル。況ヤ淨土ニ生ゼンヤ。況ヤ佛  
果ヲ成ゼンヤ。サレバ諸煩惱障必由癡故トモ説リ。然ルヲ  
ヒタスラニ愚癡ニナルヤウニ教ユルハ邪教ナルベシ。前ニ童子ノ  
如クニナレトイヘルハ。心正直ニシテ六塵ノ欲少ク。能ク善知識  
ノ教ヲ信受スルヲイヘルナリ。尼入道ノ愚癡ノ人ハ。又是ニ異  
ナリ。善知識教ヘテ殺盜婬妄。飲酒食肉ハ罪ナリ。能往生  
ヲ妨グ。懈怠緩慢ハ佛ノ呵シ玉フ所口宜シク精進ニ修シ  
至ヘトイハ。愚癡ニシテ善惡邪正ヲ分別スルコトアタハズ。教化ヲ  
信受スルコトアタハズ。即チ曰ク。デモ持戒ハ我が好マザルナリ  
ト。然ラハ精進シ玉ヘトイヘバ。デモ力及バズド。能其根ヲキハム



レバ邪師ノ教ヲ堅ク執シテ改ムルコトアタハザルナリ。カク非  
ヲ改ムルコトアタハズバ。人天ニスラ生ズベカラズ。況ヤ淨土ヲ  
ヤ。此ヲコソ小智ハ菩提ノ障ニシテ。愚癡ハ一切ノ障リト云  
ツヘシ。此ノデモト云病ホド重病ハアラジ。カリソメノ醫師ノ  
療治ニ及ビガタシ。サレバ邪人正法ヲ説バ正法モ邪法ト  
ナリ。正人邪法ヲ説バ邪法モ正法トナルトイヘリ説法講  
談ナドセン人ハ。ヨク／＼心得ベキ事ナリ。少モ私ノ義ヲ加ヘテ  
邪命不淨ノ説法ヲナサバ。一盲衆盲ヲ引テ相引テ深坑  
ニ落ベシ。衆人ニ邪見ヲ生ゼシムルハ。自ラノ罪イクバカリゾヤ。阿  
鼻地獄足下ニアリ。恐ルベシ悲ムヘシ軍書ニモ心ヲ剛ニシテ要  
害堅ク用心ヲ臆ニセヨトイヘリ。而モ智者ノ舉止ヲセシテ念  
佛スルハ臆ナリ。五戒八戒菩薩戒具足戒等ニ住メ煩惱魔

レバ邪師ノ教ヲ堅ク執シテ改ムルコトアタハザルナリ。カク非  
ヲ改ムルコトアタハズバ。人天ニスラ生ズベカラズ。況ヤ淨土ヲ  
ヤ。此ヲコソ小智ハ菩提ノ障ニシテ。愚癡ハ一切ノ障リト云  
ツヘシ。此ノデモト云病ホド重病ハアラジ。カリソメノ醫師ノ  
療治ニ及ビガタシ。サレバ邪人正法ヲ説バ正法モ邪法ト  
ナリ。正人邪法ヲ説バ邪法モ正法トナルトイヘリ説法講  
談ナドセン人ハ。ヨク／＼心得ベキ事ナリ。少モ私ノ義ヲ加ヘテ  
邪命不淨ノ説法ヲナサバ。一盲衆盲ヲ引テ相引テ深坑  
ニ落ベシ。衆人ニ邪見ヲ生ゼシムルハ。自ラノ罪イクバカリゾヤ。阿  
鼻地獄足下ニアリ。恐ルベシ悲ムヘシ軍書ニモ心ヲ剛ニシテ要  
害堅ク用心ヲ臆ニセヨトイヘリ。而モ智者ノ舉止ヲセシテ念  
佛スルハ臆ナリ。五戒八戒。菩薩戒・具足戒等ニ住シテ。煩惱魔

ノ賊容易ニ來ラヌヤウニスルハ。要害ヲ堅クスルナリ。法然上  
人ノ意モ是ナルベシ。○問殺盜婬妄。飲酒食肉ハ往生ヲ妨ク  
ト云ハ何ノ義ゾヤ。既ニ下品上生ハ十惡ノ罪人。下品中生ハ  
破戒無慚ニシテ不淨説法シ。僧物ヲ盜セル罪人。下品下生ハ十  
惡五逆具諸不善ノ愚人ナリ。此ヲ往生ノ機トス。然ルヲ上ノ  
如クイハハ。經文及ビ如來ノ本願ニ違スルニアラスヤ。答如來ノ  
本願トシテ人ニ造惡ヲ勸メ玉フコトハアラジ。下品三生ノ人ハ。一生  
罪福ヲ信ズルコトナク。諸ノ惡業ノミ造レル人。臨終ノ時ニ善知  
識種種ニ教諭シテ如來ノ本願ヲ説キ。十二部經ノ首題ヲ唱  
ヘテ聞シメ。三寶ニ歸依セシメ。慚愧懺悔ノ心ヲ生ゼシメ。乃至  
苦逼シテ心念ナリガタキ人ニハ。口稱十念セシムル功德ニ因テ。  
念念ニ八十億劫ノ生死ノ重罪ヲ滅シテ。往生ヲ得ト説ケリ此

ノ賊容易ニ來ラヌヤウニスルハ。要害ヲ堅クスルナリ。法然上  
人ノ意モ是ナルベシ。○問殺盜婬妄。飲酒食肉ハ往生ヲ妨ク  
ト云ハ何ノ義ゾヤ。既ニ下品上生ハ十惡ノ罪人。下品中生ハ  
破戒無慚ニシテ不淨説法シ。僧物ヲ盜セル罪人。下品下生ハ十  
惡五逆具諸不善ノ愚人ナリ。此ヲ往生ノ機トス。然ルヲ上ノ  
如クイハハ。經文及ビ如來ノ本願ニ違スルニアラスヤ。答如來ノ  
本願トシテ人ニ造惡ヲ勸メ玉フコトハアラジ。下品三生ノ人ハ。一生  
罪福ヲ信ズルコトナク。諸ノ惡業ノミ造レル人。臨終ノ時ニ善知  
識種種ニ教諭シテ如來ノ本願ヲ説キ。十二部經ノ首題ヲ唱  
ヘテ聞シメ。三寶ニ歸依セシメ。慚愧懺悔ノ心ヲ生ゼシメ。乃至  
苦逼シテ心念ナリガタキ人ニハ。口稱十念セシムル功德ニ因テ。  
念念ニ八十億劫ノ生死ノ重罪ヲ滅シテ。往生ヲ得ト説ケリ此ハ

一生懺悔ノ心モナク罪福ヲ辨ヘザル人ナリ。今時ノ人ハ幼ヨ  
リ如來ノ本願及ビ三福三心等ノ行ヲ聞トイヘ行ゼズ。  
豈止行ゼザルノミナランヤ。轉讀大乘持戒堅固ノ人ヲ謫シテ  
雜行ナリト云。而モ諸ノ惡業ヲナセトモ。口稱サヘスレバ往生  
スト心得テ。肉食シテモ南無阿彌陀。飲酒シテモナムアミダ。殺盜  
姪妄シテモナムアミダト口占ミテ。往生ヲ願フ。是猶風ヲヤム  
人ノ寒風ニ赤裸ニシテ走り回りテ。我ハ藥ヲノメバ。頓テ平愈ス  
ベシト云テ。養生ノ方便ヲシラザルガ如シ。何レノ時ニカ平愈ヲ  
得ンヤ。智度論ニ曰ク。佛ハ醫王ノ如ク。法ハ妙藥ノ如ク。僧ハ瞻  
病人ノ如ク。戒ハ服藥ノ禁忌ノ如シト。今時ノ人戒ヲ持セザル  
ハ禁忌ヲ知ザルナリ。薩遮尼健子經ニ曰ク。若シ戒ヲ持セザレ  
ハ乃至疥癩野干ノ身ヲモ得ズ。何ニ況ヤ當ニ功德ノ身ヲ得

ベケンヤト。月燈三昧經ニ曰ク。若無戒智猶禽獸ノ華嚴偈曰。戒  
は無上菩提ノ本ナリ。當ニ具足シテ淨戒ヲ持スベシト。法然上  
人ノ金剛寶戒章ニモ。無戒ノ人ハ畜生ニ同ジトイヘリ。然ルヲ  
戒ヲ雜行ナリト謫シテ持セシメザルハ。又師ノ過ナリ。猶看病人  
ノ病者ニ毒ヲアタヘ。及ビ無養生ヲ教ルガ如シ。是罪皆說法  
者ニ歸スベシ。夫下品三生ノ人ハ。臨終ニ慚愧懺悔念佛。後念  
ヲ續サルガ故ニ往生ヲ得ルナリ。サレバ天台ノ十疑論ニモ。臨終  
ノ心ハ善心猛利ニシテ。尋テ惡念生ズル間ナク。十念ト等シク命  
終スレバ。決定シテ衆罪滅シテ往生スト釋セリ。今時ノ人ハ慚愧ノ  
心無ク。本願ニ誇リテ罪倍深シ。阿輸柯王ノ我ハ阿育王ノ弟  
ナリト思テ。放逸ニテ國禁ヲ破シテ禁獄ニアヘルガ如シ。如來ノ本  
願何ゾ衆生ニ造惡ヲ勸メ玉ハンヤ。佛ハ大悲深重ナレバ。設ヒ

一生懺悔ノ心モナク罪福ヲ辨ヘザル人ナリ。今時ノ人ハ幼ヨ  
リ如來ノ本願及ビ三福三心等ノ行ヲ聞トイヘトモ行ゼズ。  
豈止行ゼザルノミナランヤ。轉讀大乘。持戒堅固ノ人ヲ謫シテ  
雜行ナリト云。而モ諸ノ惡業ヲナセトモ。口稱サヘスレバ往生  
スト心得テ。肉食シテモ南無阿彌陀。飲酒シテモナムアミダ。殺盜  
姪妄シテモナムアミダト口占ミテ。往生ヲ願フ。是猶風ヲヤム  
人ノ寒風ニ赤裸ニシテ走り回りテ。我ハ藥ヲノメバ。頓テ平愈ス  
ベシト云テ。養生ノ方便ヲシラザルガ如シ。何レノ時ニカ平愈ヲ  
得ンヤ。智度論ニ曰ク。佛ハ醫王ノ如ク。法ハ妙藥ノ如ク。僧ハ瞻  
病人ノ如ク。戒ハ服藥ノ禁忌ノ如シト。今時ノ人戒ヲ持セザル  
ハ禁忌ヲ知ザルナリ。薩遮尼健子經ニ曰ク。若シ戒ヲ持セザレ  
ハ乃至疥癩野干ノ身ヲモ得ズ。何ニ況ヤ當ニ功德ノ身ヲ得

ベケンヤト。月燈三昧經ニ曰ク。若無戒智猶禽獸ノ華嚴偈曰。戒  
は無上菩提ノ本ナリ。當ニ具足シテ淨戒ヲ持スベシト。法然上  
人ノ金剛寶戒章ニモ。無戒ノ人ハ畜生ニ同ジトイヘリ。然ルヲ  
戒ヲ雜行ナリト謫シテ持セシメザルハ。又師ノ過ナリ。猶看病人  
ノ病者ニ毒ヲアタヘ。及ビ無養生ヲ教ルガ如シ。是罪皆說法  
者ニ歸スベシ。夫下品三生ノ人ハ。臨終ニ慚愧懺悔念佛。後念  
ヲ續サルガ故ニ往生ヲ得ルナリ。サレバ天台ノ十疑論ニモ。臨終  
ノ心ハ善心猛利ニシテ。尋テ惡念生ズル間ナク。十念ト等シク命  
終スレバ。決定シテ衆罪滅シテ往生スト釋セリ。今時ノ人ハ慚愧ノ  
心無ク。本願ニ誇リテ罪倍深シ。阿輸柯王ノ我ハ阿育王ノ弟  
ナリト思テ。放逸ニテ國禁ヲ破シテ禁獄ニアヘルガ如シ。如來ノ本  
願何ゾ衆生ニ造惡ヲ勸メ玉ハンヤ。佛ハ大悲深重ナレバ。設ヒ



罪深ク三心具足ノ名号ヲ念ゼハ。我來迎スベシト誓ヒ玉  
ヘルナリ。今時ノ人ノ念佛ハ。三心具足シ。六字圓滿セルハ少ナリ。  
尤モ順次ノ往生ハカタカルベシ。五生十生モ後ニハ生ズベキカ。  
ボツカナシ。又真言ヲ誦ズルニ清濁ヲ亂リ。長短ノ音韻ニ合  
セズ。或ハ文字脱落スレバ。闕支分ノ念誦トテ。功德カケテ満足セ  
ズ。一文字皆金色佛ト説バ。闕支分ノ念誦ハ。所現ノ佛モ支  
分不具足ナルベシ。率觀婆ヲ立シニ鼻ト思シ處カケタレバ。所  
現ノ僧モ鼻カケタリト云コト。地藏菩薩利生記ニ見タリ。地  
藏ヲ香水ニ印ゼル人。多ク地藏ノ現ジ玉ヒシモ。不具足ナル多  
カリシト云コト。靈驗記ニ見タリ。今此ニ例スルニ念佛モ亦然ナ  
ルベシ。娑婆世界ニテ一人念佛ヲ修スレバ。淨土ニ一ノ蓮花生シテ  
其花後ニ來迎ストイヘリ。サレバ行人勇猛精進ナレバ。其蓮

罪深クトモ三心具足シテ名号ヲ念ゼハ。我來迎スベシト誓ヒ玉  
ヘルナリ。今時ノ人ノ念佛ハ。三心具足シ。六字圓滿セルハ少ナリ。  
尤モ順次ノ往生ハカタカルベシ。五生十生モ後ニハ生ズベキカ。  
ボツカナシ。又真言ヲ誦ズルニ清濁ヲ亂リ。長短ノ音韻ニ合  
セズ。或ハ文字脱落スレバ。闕支分ノ念誦トテ。功德カケテ満足セ  
ズ。一文字皆金色佛ト説バ。闕支分ノ念誦ハ。所現ノ佛モ支  
分不具足ナルベシ。率觀婆ヲ立シニ鼻ト思シ處カケタレバ。所  
現ノ僧モ鼻カケタリト云コト。地藏菩薩利生記ニ見タリ。地  
藏ヲ香水ニ印ゼル人。多ク地藏ノ現ジ玉ヒシモ。不具足ナル多  
カリシト云コト。靈驗記ニ見タリ。今此ニ例スルニ念佛モ亦然ナ  
ルベシ。娑婆世界ニテ一人念佛ヲ修スレバ。淨土ニ一ノ蓮花生シテ  
其花後ニ來迎ストイヘリ。サレバ行人勇猛精進ナレバ。其蓮

花弥長大ニシテ。花色光澤ナリ。懈怠ノ人ノ蓮花ハ。日日ニ枯  
萃ストイヘリ。然ルニ今時ノ人ノ稱名ハ六字具足セズ。ナイダ  
ト唱フル人モアリ。ナンダツト云人モアリ。ヌワイヅワト云人。  
アイタト云人。ナマイタンホト云人。ナツハイタツフト唱ル人アリ。  
皆闕支分ナリ。然ラハ淨土ニサケル蓮花モ。偏菊ナドノ如  
クニ。花葉不具足ニ發ルナルベシ。慎マザルベケンヤ。橋太夫ハ  
至誠心ニテ毎日十念バカリ唱ヘシガ。目出タク往生セリ。  
必シモ數遍ノ多キヲ善トハイハジ。丁寧ニ唱ヘテ百八遍。一  
千八十遍誦セン功德廣大ナルベシ。闕支分ノ念佛ハ千日  
万日唱ヘタリトモ。橋太夫ガ毎日ノ十念ニハ遙ニ劣ルベキ  
ナリ。法然ノ愚癡ノ身ニナシテ。尼入道ノ無智ノ輩ニ同  
ジフシ。智者ノ舉止ヲセズシテ。一向ニ念佛セヨト勸メ玉ヒシハ。才

花弥長大ニシテ。花色光澤ナリ。懈怠ノ人ノ蓮花ハ。日日ニ枯  
萃ストイヘリ。然ルニ今時ノ人ノ稱名ハ六字具足セズ。ナイダ  
ト唱フル人モアリ。ナンダツト云人モアリ。ヌワイヅワト云人。  
アイタト云人。ナマイタンホト云人。ナツハイタツフト唱ル人アリ。  
皆闕支分ナリ。然ラハ淨土ニサケル蓮花モ。偏菊ナドノ如  
クニ。花葉不具足ニ發ルナルベシ。慎マザルベケンヤ。橋太夫ハ  
至誠心ニテ毎日十念バカリ唱ヘシガ。目出タク往生セリ。  
必シモ數遍ノ多キヲ善トハイハジ。丁寧ニ唱ヘテ百八遍。一  
千八十遍誦セン功德廣大ナルベシ。闕支分ノ念佛ハ千日  
万日唱ヘタリトモ。橋太夫ガ毎日ノ十念ニハ遙ニ劣ルベキ  
ナリ。法然ノ愚癡ノ身ニナシテ。尼入道ノ無智ノ輩ニ同  
ジフシ。智者ノ舉止ヲセズシテ。一向ニ念佛セヨト勸メ玉ヒシハ。才



學アル人ハ必ズ自ノ才ニ誇テ心ハ愈向上ニナレトモ。行ハ愈下ルナレバ。自ノ才ヲ用ヒズ。至誠心。深心。回向發願心ニ住シテ。偏ニ本願ヲ仰ギ。中品上品ノ行ニモ至ルヤウニ修セヨトナリ。造惡ノ尼入道ノ愚癡ニ同シテ。破戒無慚飲酒食肉シテ。邪見ニ入ト云ニハアラズ。心正直ニシテ善知識ノ教ヲ信受スル童子ノ心。又老衰セル尼入道ナドノ心ナリ。第一義諦ニ於テ心驚動セスト説ルモ深信信解ナレバ。童子ノ性精神顚利ニシテ塵欲ノ為ニ昏マサレザル間ニ信解セバ。不驚動ノ地ニ至ルコト易カルベシ。然ラハ上品三生ノ人モ。童子ノ如クニ無執無分別ニシテ正直ナラバ。往生ヲ得ベシ。此ヲ文殊童真ノ妙慧トモ言ベキヲヤ

如來出世ノ本懷ノ事

問法華經ハ如來出世ノ本懷タルコト。經中ノ明說。諸宗共ニ

許シ。古今同ジク談ズ。然ルニ淨土宗ニハ。念佛ノ法門ハ如來出世ノ本懷ナリト談ジ。戒家ニハ戒ヲ出世ノ本懷ナリト談ズ。是ナリトヤセン。將為妄ナルカ。多岐ニ羊ヲ逸ス。請正路ヲ示シ玉ヘ。答淨土宗ニ念佛ヲ以テ如來出世ノ本懷ト云フ。震旦ノ諸師未ダ言ハズ。我朝中古已來ノ人。間此義ヲ談ズ。暗推ノ説ナルコト明ケシ。然レトモ理ヲ以テ推スニ又其義ナキニアラズ。今愚案ノ法門ヲ記シテ。之ヲ諸方ノ君子ニ正ス。理ノ當ラザルコトアラバ慈惠ヲ以テ指斥シ玉ヘ。今此義ヲ述ルニ二種ノ趣アリ。一ニハ顯略趣。二ニハ祕密趣ナリ。初ニ顯略趣ト者夫レ如來ノ設教ハ皆衆生ヲ度シテ三界ヲ出離シ。終ニ無上道ニ至ラシメンガ為ナリ。然ルニ衆生ニ三乘。五乘。七方便。頓漸顯密ノ機アリ。其相應ニ隨テ法ヲ説テ衆生ヲ救濟シ玉フ事

學アル人ハ必ズ自ノ才ニ誇テ。心ハ愈向上ニナレトモ。行ハ愈下ルナレバ。自ノ才ヲ用ヒズ。至誠心。深心。回向發願心ニ住シテ。偏ニ本願ヲ仰ギ。中品上品ノ行ニモ至ルヤウニ修セヨトナリ。造惡ノ尼入道ノ愚癡ニ同シテ。破戒無慚飲酒食肉シテ。邪見ニ入ト云ニハアラズ。心正直ニシテ善知識ノ教ヲ信受スル童子ノ心。又老衰セル尼入道ナドノ心ナリ。第一義諦ニ於テ心驚動セスト説ルモ深信信解ナレバ。童子ノ性精神顚利ニシテ塵欲ノ為ニ昏マサレザル間ニ信解セバ。不驚動ノ地ニ至ルコト易カルベシ。然ラハ上品三生ノ人モ。童子ノ如クニ無執無分別ニシテ正直ナラバ。往生ヲ得ベシ。此ヲ文殊童真ノ妙慧トモ言ベキヲヤ

如來出世ノ本懷ノ事

問法華經ハ如來出世ノ本懷タルコト。經中ノ明說。諸宗共ニ

許シ。古今同ジク談ズ。然ルニ淨土宗ニハ。念佛ノ法門ハ如來出世ノ本懷ナリト談ジ。戒家ニハ戒ヲ出世ノ本懷ナリト談ズ。是ナリトヤセン。將為妄ナルカ。多岐ニ羊ヲ逸ス。請正路ヲ示シ玉ヘ。答淨土宗ニ念佛ヲ以テ如來出世ノ本懷ト云コト。震旦ノ諸師未ダ言ハズ。我朝中古已來ノ人。間此義ヲ談ズ。暗推ノ説ナルコト明ケシ。然レトモ理ヲ以テ推スニ又其義ナキニアラズ。今愚案ノ法門ヲ記シテ。之ヲ諸方ノ君子ニ正ス。理ノ當ラザルコトアラバ慈惠ヲ以テ指斥シ玉ヘ。今此義ヲ述ルニ二種ノ趣アリ。一ニハ顯略趣。二ニハ祕密趣ナリ。初ニ顯略趣ト者夫レ如來ノ設教ハ皆衆生ヲ度シテ三界ヲ出離シ。終ニ無上道ニ至ラシメンガ為ナリ。然ルニ衆生ニ三乘。五乘。七方便。頓漸顯密ノ機アリ。其相應ニ隨テ法ヲ説テ衆生ヲ救濟シ玉フ事

猶良醫ノ病ニ應シテ藥ヲ設ケテ衆病ヲ療ズルカ如シ。根機  
万差ナレバ鍼灸千種ナリ。遲速勝劣ノ異アリトイヘトモ。同  
シク濟生ノ教藥ナリ。法華ニ諸法實相ノ理ヲ説キ。三乘  
ヲ開會シテ一乘ニ歸シ。佛ノ知見ニ開示悟入シ玉フ。是真ノ出世  
ノ本懷ナリトイヘトモ。諸ノ衆生德薄ク垢重シテ卒余ニ悟入スル  
アタハズ。殊ニ末法万年ノ今ハ。戒善ヲ受持スル者スラ猶希  
ナレバ。如來遙ニ末世ヲ鑒ミテ。一衆生ヲモ漏ラサズ度セント欲  
シ玉フカ故ニ。此淨土ノ教門ヲ開キ玉フ。別シテ娑婆世界ノ衆  
生ハ極樂淨土ニ有縁ニシテ往生ノ業修シ易シ。サレバ古德モ諸  
經所讚多在弥陀ト釋シテ。顯密二教ノ中ニ多ク淨土往生ノ  
修行ヲ説キ玉ヘリ。中ニ付テ無量壽經ニ。阿弥陀如來ノ超  
世ノ別願ヲ説テ。十方世界ノ無量ノ菩薩。皆極樂淨土ニ往

猶良醫ノ病ニ應シテ藥ヲ設ケテ衆病ヲ療ズルガ如シ。根機  
万差ナレバ鍼灸千種ナリ。遲速勝劣ノ異アリトイヘトモ。同  
シク濟生ノ教藥ナリ。法華ニ諸法實相ノ理ヲ説キ。三乘  
ヲ開會シテ一乘ニ歸シ。佛ノ知見ニ開示悟入シ玉フ。是真ノ出世  
ノ本懷ナリトイヘトモ。諸ノ衆生德薄ク垢重シテ卒余ニ悟入スルコト  
アタハズ。殊ニ末法万年ノ今ハ。戒善ヲ受持スル者スラ猶希  
ナレバ。如來遙ニ末世ヲ鑒ミテ。一衆生ヲモ漏ラサズ度セント欲  
シ玉フカ故ニ。此淨土ノ教門ヲ開キ玉フ。別シテ娑婆世界ノ衆  
生ハ極樂淨土ニ有縁ニシテ往生ノ業修シ易シ。サレバ古德モ諸  
經所讚多在弥陀ト釋シテ。顯密二教ノ中ニ多ク淨土往生ノ  
修行ヲ説キ玉ヘリ。中ニ付テ無量壽經ニ。阿弥陀如來ノ超  
世ノ別願ヲ説テ。十方世界ノ無量ノ菩薩。皆極樂淨土ニ往

生セルヲ説キ。又此ノ娑婆世界ノ。六十七億ノ不退ノ菩  
薩皆往生シ。初心小行ノ諸ノ菩薩。少功德ヲ修習スル者。  
無量無邊ナル皆當ニ往生スベシト説ク。乃至十方ノ佛國ノ。  
淨土往生ノ國ノ名号。菩薩ノ名ヲバ。佛ノ妙辯ヲ以テ一  
劫ノ間説玉フ。尚説キ盡シ玉フアタハジ。但略シテ説玉フトイ  
ヘリ。又末法ノ季ニ諸ノ經卷法門皆滅盡セン時ニモ。如來ノ  
慈悲ヲ以テ衆生ヲ哀愍シテ。此無量壽經ヲ留メテ止住スルコト  
百歲ナラシメントイヘリ。サレバ智門ニ約シテ談ズル時ハ法華ヲ  
以テ出世ノ本懷トストイヘトモ。悲門ニ約シテ説ク日ハ。淨土ノ一教  
是出世ノ本懷ナルヲ明ケシ。諸經滅盡シテ但此經ノミ留ルハ  
豈如來ノ本懷ニアラズヤ。又淨土ノ教ハ。上品ノ三生ハ大乘ノ  
菩薩。中輩ハ二乘。下輩ハ造惡ノ凡夫ニ皆往生スレバ。一切ノ

生セルコトヲ説キ。又此ノ娑婆世界ノ。六十七億ノ不退ノ菩  
薩皆往生シ。初心小行ノ諸ノ菩薩。少功德ヲ修習スル者。  
無量無邊ナル皆當ニ往生スベシト説ク。乃至十方ノ佛國ノ。  
淨土往生ノ國ノ名号。菩薩ノ名ヲバ。佛ノ妙辯ヲ以テ一  
劫ノ間説玉フトモ。尚説キ盡シ玉フコトアタハジ。但略シテ説玉フトイ  
ヘリ。又末法ノ季ニ諸ノ經卷法門皆滅盡セン時ニモ。如來ノ  
慈悲ヲ以テ衆生ヲ哀愍シテ。此無量壽經ヲ留メテ止住スルコト  
百歲ナラシメントイヘリ。サレバ智門ニ約シテ談ズル時ハ法華ヲ  
以テ出世ノ本懷トストイヘトモ。悲門ニ約シテ説ク日ハ。淨土ノ一教  
是出世ノ本懷ナルコト明ケシ。諸經滅盡シテ但此經ノミ留ルハ  
豈如來ノ本懷ニアラズヤ。又淨土ノ教ハ。上品ノ三生ハ大乘ノ  
菩薩。中輩ハ二乘。下輩ハ造惡ノ凡夫ニシテ皆往生スレバ。一切ノ



機根ヲ漏スナシ。一切ノ機根ヲ一法ヲ以テ濟度スルヲ本懷ニ  
アラズン何ゾヤ。サレバ天台淨影及ヒ善導モ。二藏ノ中ニハ菩  
薩ノ攝。漸頓ノ悟入ヲ辨ズレバ頓教ナリトイヘリ。菩薩藏ノ  
頓。寧ロ本懷ニアラズヤ。無量壽經ニ。佛弥勒ニ告玉ハク。設ヒ大  
火ノ三千界ニ充滿スルアリ。必ズ踰テ此經法ヲ聞テ。歡喜  
シ信樂シ受持シ讀誦シ説ノ如ク修行スベシ。如來ノ出世ニ  
ハ値ガタク見ガタシ。諸佛ノ經道ハ得ガタク聞ガタシ。菩薩勝  
法諸波羅蜜ハ聞コトヲ得ルコト亦難シ。善知識ニ遇テ法ヲ聞  
能ク行スルコトモ亦難シ。若シ斯ノ經ヲ聞テ信樂シ受持スル  
ハ難カ中ノ難此難ニ過タルハナシト説リ。法花ノ方便品ニ  
四難ヲ説ト。今ノ五難ト文義相似タリ。難中ノ難又豈出世  
ノ本懷ニアラズヤ

機根ヲ漏スコトナシ。一切ノ機根ヲ一法ヲ以テ濟度スルコト本懷ニ  
アラズシテ何ゾヤ。サレバ天台淨影及ヒ善導モ。二藏ノ中ニハ菩  
薩ノ攝。漸頓ノ悟入ヲ辨ズレバ頓教ナリトイヘリ。菩薩藏ノ  
頓。寧ロ本懷ニアラズヤ。無量壽經ニ。佛弥勒ニ告玉ハク。設ヒ大  
火ノ三千界ニ充滿スルアリトモ。必ズ踰テ此經法ヲ聞テ。歡喜  
シ信樂シ受持シ讀誦シ説ノ如ク修行スベシ。如來ノ出世ニ  
ハ値ガタク見ガタシ。諸佛ノ經道ハ得ガタク聞ガタシ。菩薩勝  
法諸波羅蜜ハ聞コトヲ得ルコト亦難シ。善知識ニ遇テ法ヲ聞  
能ク行スルコトモ亦難シ。若シ斯ノ經ヲ聞テ信樂シ受持スル  
ハ難カ中ノ難此難ニ過タルハナシト説リ。法花ノ方便品ニ  
四難ヲ説ト。今ノ五難ト文義相似タリ。難中ノ難又豈出世  
ノ本懷ニアラズヤ

唐ノ法照法師金色世界ニ至テ文殊ヲ拜スル事

昔シモロコシニ。法照法師ト云人アリ。衡州ノ雲峯寺ニ住シテ勤  
修懈ラザリケリ。或時小食ノ粥ノ鉢ノ中ニ於テ。忽ニ五色ノ  
祥雲ヲ現ズ。雲ノ内ニ山寺アリ。寺ノ東北五十里ニ五町一山アリ。  
山下ニ澗アリ。澗北ニ石門アリ。入コト五里バカリニシテ寺アリ。金色  
ノ額アツテ大聖竹林寺ト云。法照分明ニ見トイヘトモ。心ニ疑フ  
ニ又佗日五色ノ雲鉢中ニ現ジ。其中ニ五臺山ノ諸寺ヲ現ズルニ  
地皆金色ナリ。山林ノ穢惡アルコトナシ。寶池寶臺宮殿樓閣  
衆寶莊嚴セリ。文殊師利菩薩一万ノ聖衆ト共ニ其ノ中ニ住  
シ玉ヘリ。又十方ノ諸佛ノ淨土ヲ現ズ。粥ヲ食シ畢テ方ニ滅ス。  
然レトモ心ニ疑テ未ダ決セズ。院ニ歸テ僧ニ問。曾テ五臺山ニ  
遊フアリヤト。時ニ嘉延。曇暉ト云二人アリ。吾曾テ五臺山ニ

唐ノ法照法師金色世界ニ至テ文殊ヲ拜スル事

昔シモロコシニ。法照法師ト云人アリ。衡州ノ雲峯寺ニ住シテ勤  
修懈ラザリケリ。或時小食ノ粥ノ鉢ノ中ニ於テ。忽ニ五色ノ  
祥雲ヲ現ズ。雲ノ内ニ山寺アリ。寺ノ東北五十里ニ五町一山アリ。  
山下ニ澗アリ。澗北ニ石門アリ。入コト五里バカリニシテ寺アリ。金色  
ノ額アツテ大聖竹林寺ト云。法照分明ニ見トイヘトモ。心ニ疑フ  
ニ又佗日五色ノ雲鉢中ニ現ジ。其中ニ五臺山ノ諸寺ヲ現ズルニ  
地皆金色ナリ。山林ノ穢惡アルコトナシ。寶池寶臺宮殿樓閣  
衆寶莊嚴セリ。文殊師利菩薩一万ノ聖衆ト共ニ其ノ中ニ住  
シ玉ヘリ。又十方ノ諸佛ノ淨土ヲ現ズ。粥ヲ食シ畢テ方ニ滅ス。  
然レトモ心ニ疑テ未ダ決セズ。院ニ歸テ僧ニ問。曾テ五臺山ニ  
遊コトアリヤト。時ニ嘉延。曇暉ト云二人アリ。吾曾テ五臺山ニ



到ル。鉢中ノ所見ト異ナルヲナシトイフ。大曆四年ノ夏、衡州ノ湖東寺ノ内ノ高樓臺ニ於テ。一夏九十日。五會ノ念佛道場ヲ起ス。然ルニ六月二日ノ未ノ時ニ遙ニ祥雲アツテ臺及寺ヲ覆フ。雲ノ上ニ諸ノ寶樓閣薨ヲナラベ。檐ヲ連ネテ金銀瑠璃彩ヲ交ヘ光明赫奕タリ。其ノ樓閣ノ中ニアマタノ梵僧アリ。各身ノ長一丈バカリ。手ニ錫杖ヲ執テ行道シ玉ヘリ。衡州ノ諸人羣リ聚テ此ヲ拜スルニ。阿弥陀佛及文殊普賢一万ノ菩薩ト俱ニ此ノ會ニイマス。其ノ身ノ長高大ナリ。此ヲ見ル者歡喜ノ淚ヲ流シ歸依ノ首ヲ低ル。無始ノ罪障ノ霜ハ諸尊加被ノ光明ニ照サレテ忽ニ消。本具ノ功德ノ花ハ衆人信心ノ合掌ニ開ケテ自ラ馨シ。其日ノ酉ノ刻ニ至テ所現ノ樓閣等漸ク消ヘタリ。晚ニ道場ノ外ニ於テ一人ノ老翁

アリ。法照ニ告テ曰ク。師先發願シテ金色世界ニ往キ。文殊大聖ヲ觀奉ルベシ。今急ニ何ゾ往ザルヤ。法照怪テ答テ曰ク。時難ク路艱メリ何ゾユクベキヤ。老人曰ク但亟カニ往道路固ニ留難ナシト。言訖テ忽然ト見ズ。法照驚テ道場ニ入り。重テ誠願ヲ發シテ設ヒ火聚冰河アリトモ。我必ズ退セズ往ベシト言テ。一夏ノ滿ズルヲ遲シト待レケル。八月十三日ニ至テ。南嶽ニ於テ同志四五人ト共ニ至ルニ。果シテ沮礙ナシ。則チ五年四月五日ニ五臺縣ニ到ルニ。遙ニ佛光寺ノ南ニ數道ノ白光アルヲ見ル。六日ニ佛光寺ニ到ルニ曾テ鉢中ニ現ゼシト違フコトアルコトナシ。其夜ノ四更ニ一道ノ光北山ノ下ヨリ來テ。法照ノ身ヲ照ス。法照驚テ堂内ニ入り。乃チ衆ニ問テ曰ク。是何ノ祥ゾヤ吉凶如何ト。僧アリ答テ曰ク。此大聖不思議ノ

到ル。鉢中ノ所見ト異ナルコトナシトイフ。大曆四年ノ夏、衡州ノ湖東寺ノ内ノ高樓臺ニ於テ。一夏九十日。五會ノ念佛道場ヲ起ス。然ルニ六月二日ノ未ノ時ニ遙ニ祥雲アツテ臺及寺ヲ覆フ。雲ノ上ニ諸ノ寶樓閣薨ヲナラベ。檐ヲ連ネテ金銀瑠璃彩ヲ交ヘ光明赫奕タリ。其ノ樓閣ノ中ニアマタノ梵僧アリ。各身ノ長一丈バカリ。手ニ錫杖ヲ執テ行道シ玉ヘリ。衡州ノ諸人羣リ聚テ此ヲ拜スルニ。阿弥陀佛及文殊普賢一万ノ菩薩ト俱ニ此ノ會ニイマス。其ノ身ノ長高大ナリ。此ヲ見ル者歡喜ノ淚ヲ流シ歸依ノ首ヲ低ル。無始ノ罪障ノ霜ハ諸尊加被ノ光明ニ照サレテ忽ニ消。本具ノ功德ノ花ハ衆人信心ノ合掌ニ開ケテ自ラ馨シ。其日ノ酉ノ刻ニ至テ所現ノ樓閣等漸ク消ヘタリ。晚ニ道場ノ外ニ於テ一人ノ老翁

アリ。法照ニ告テ曰ク。師先發願シテ金色世界ニ往キ。文殊大聖ヲ觀奉ルベシ。今急ニ何ゾ往ザルヤ。法照怪テ答テ曰ク。時難ク路艱メリ何ゾユクベキヤ。老人曰ク但亟カニ往道路固ニ留難ナシト。言訖テ忽然トシテ見ズ。法照驚テ道場ニ入り。重テ誠願ヲ發シテ設ヒ火聚冰河アリトモ。我必ズ退セズ往ベシト言テ。一夏ノ滿ズルヲ遲シト待レケル。八月十三日ニ至テ。南嶽ニ於テ同志四五人ト共ニ至ルニ。果シテ沮礙ナシ。則チ五年四月五日ニ五臺縣ニ到ルニ。遙ニ佛光寺ノ南ニ數道ノ白光アルヲ見ル。六日ニ佛光寺ニ到ルニ曾テ鉢中ニ現ゼシト違フコトアルコトナシ。其夜ノ四更ニ一道ノ光北山ノ下ヨリ來テ。法照ノ身ヲ照ス。法照驚テ堂内ニ入り。乃チ衆ニ問テ曰ク。是何ノ祥ゾヤ吉凶如何ト。僧アリ答テ曰ク。此大聖不思議ノ

光ナリ常ニ有縁ノ人ヲ照シ玉フト。法照歡喜ノ即チ光明ヲ尋ネテ寺ニ至ル。東北五十里ノ間ニ果シテ山アリ。山下二澗アリ澗北ニ一ノ石門アリ。二人ノ青衣ノ童子齒ヒ八九歳バカリナルヲ見ル。容貌端正ニシテ其面滿月ノ如シ。門ノ側ニ立テ一リヲハ善財ト稱ジ二リヲハ難陀ト云。法照ヲ見テ歡喜シ問訊シテ禮儀ヲナス。終ニ法照ヲ引テ門ニ入ル。北ニ向テ行ク五里バカリニ一ノ金色ノ門樓アリ。漸ク門前ニ至ルニ大伽藍アリ。寺前ニ金色ノ大ナル額アリ大聖竹林寺ト号ス。昔シ鉢中ニ現ゼシニ少モ違フコトナシ。方圓二十里ハカリ。一百二十ノ院アリ。一一皆寶塔莊嚴シテ。其ノ地ハ則純ラ黃金ヲ以テ成ス。流泉浴池寶樹行列シ。微妙ノ蓮花池中ニ馥郁トシテ殆ンド極樂淨土ノ如シ。法照寺ノ中ニ入テ堂ヲ見ルニ

光ナリ常ニ有縁ノ人ヲ照シ玉フト。法照歡喜シテ即チ光明ヲ尋ネテ寺ニ至ル。東北五十里ノ間ニ果シテ山アリ。山下二澗アリ澗北ニ一ノ石門アリ。二人ノ青衣ノ童子齒ヒ八九歳バカリナルヲ見ル。容貌端正ニシテ其面滿月ノ如シ。門ノ側ニ立テ一リヲハ善財ト稱ジ二リヲハ難陀ト云。法照ヲ見テ歡喜シ問訊シテ禮儀ヲナス。終ニ法照ヲ引テ門ニ入ル。北ニ向テ行ク五里バカリニシテ一ノ金色ノ門樓アリ。漸ク門前ニ至ルニ大伽藍アリ。寺前ニ金色ノ大ナル額アリ大聖竹林寺ト号ス。昔シ鉢中ニ現ゼシニ少モ違フコトナシ。方圓二十里ハカリ。一百二十ノ院アリ。一一皆寶塔莊嚴シテ。其ノ地ハ則純ラ黃金ヲ以テ成ス。流泉浴池寶樹行列シ。微妙ノ蓮花池中ニ馥郁トシテ殆ンド極樂淨土ノ如シ。法照寺ノ中ニ入テ堂ヲ見ルニ

文殊ハ西ニアリ普賢ハ東ニアツテ。各師子ノ座ニ坐シ。說法ノ聲微妙ナリ。文殊ノ左右ニ二萬餘ノ菩薩アリ。普賢モ亦無數ノ菩薩圍遶セリ。法照ハ歡喜ノ淚セキアヘズ。二尊ノ前ニ至テ禮ヲナシテ問テ曰ク。末世ノ凡夫聖ヲ去クト遙ニシテ知識轉劣リ。垢障尤深シテ佛性顯現スルニ由ナシ。佛法浩瀚ナリイブカシ。何ノ法門ノ修行カ其肝要ナル。唯願クハ大聖我疑網ヲ斷ジ玉ヘト。文殊告テ曰ク。汝今佛ヲ念ゼヨ。今正ニ是時ナリ。諸ノ修行門念佛ニ過タルハナシ。三寶ヲ供養ノ福慧雙ベ修ス。此ノ二門要モ捷徑ナリ。ユヘハイカン我過去ノ劫ノ中ニ於テ。佛ヲ觀ズルニヨルガ故。佛ヲ念ズルニ因カ故。佛ヲ供養ズルニ依ガ故。今一切種智ヲ得タリ。是故ニ一切ノ諸法般若波羅蜜甚深ノ禪定。乃至諸佛皆念佛ヨリ生ズ。故ニ

文殊ハ西ニアリ普賢ハ東ニアツテ。各師子ノ座ニ坐シ。說法ノ聲微妙ナリ。文殊ノ左右ニ二萬餘ノ菩薩アリ。普賢モ亦無數ノ菩薩圍遶セリ。法照ハ歡喜ノ淚セキアヘズ。二尊ノ前ニ至テ禮ヲナシテ問テ曰ク。末世ノ凡夫聖ヲ去クト遙ニシテ知識轉劣リ。垢障尤深シテ佛性顯現スルニ由ナシ。佛法浩瀚ナリイブカシ。何ノ法門ノ修行カ其肝要ナル。唯願クハ大聖我疑網ヲ斷ジ玉ヘト。文殊告テ曰ク。汝今佛ヲ念ゼヨ。今正ニ是時ナリ。諸ノ修行門念佛ニ過タルハナシ。三寶ヲ供養シテ福慧雙ベ修ス。此ノ二門要モ捷徑ナリ。ユヘハイカン我過去ノ劫ノ中ニ於テ。佛ヲ觀ズルニヨルガ故。佛ヲ念ズルニ因カ故。佛ヲ供養ズルニ依ガ故。今一切種智ヲ得タリ。是故ニ一切ノ諸法般若波羅蜜甚深ノ禪定。乃至諸佛皆念佛ヨリ生ズ。故ニ



知ヌ念佛ハ諸法ノ王。汝當ニ常ニ無上法王ヲ念シテ休息スルコトナカラシメヨ。法照又問テ曰ク。當ニ如何念ズベキヤ。文殊告テ曰ク。此世界ノ西ニ阿彌陀佛アリ。彼佛ノ願力不思議ナリ。汝當ニ繼念シテ間斷ナカルベシ。命終ノ後決定往生シテ永ク退轉セザラント。是語ヲ説已テ文殊普賢ノ二大聖。各金色ノ手ヲノベテ。法照ノ頂ヲナデ、授記シテ曰ク。汝已ニ念佛スルガ故ニ久シカラズシテ當ニ無上正等菩提ヲ證ズベシ。若善男女等疾カニ成佛センコトヲ願ハバ念佛ニ過タルハナシ。能速ニ無上菩提ヲ證ズベシト。即チ二大聖互ニ伽陀ヲ説玉フ。法照聞已テ歡喜踊躍シテ疑ヒ悉ク除キヌ。又更ニ禮ヲナシ已テ合掌シテ立ツ。文殊告テ曰ク。汝諸菩薩院ニ往詣シテ次第ニ巡禮スベシト。法照教ノ如クニ瞻禮シテ遂ニ七寶ノ林園ニ至ル。其林ノ果ミ纔ニ

熟スルニソノ大サ益ノ如シ。法照即チ取テ此ヲ食スルニ甘美ナル人間ノ所有ニアラズ。便チ食シ已テ身モ意モ泰然トシテ安樂ナルコト。聖果ヲ得タルガ如シ。遂ニ二大聖ノ前ニ至テ禮ヲナシテ退クニ。前ノ二青衣ノ童子送テ門外ニ至ル。禮シ已テ頭ヲ舉ルニ。前ノ聖寺忽然トシテ所在ヲ失ス。法照悲シミ歎ヒテ乃チ碑ヲ立テ記ス。今ニ至テ存ゼリ。又四月十三日ニ聖寺及文殊普賢並ニ佛陀波利三藏ヲ拜シ。後ニ又佛陀波利ニ隨テ金剛窟ニ入ル。又化人アリ見所ノ聖寺ノ妙境ヲ衆人ニ語り。世間ニ流布シテ見聞ノ輩ヲシテ菩提心ヲ起シ。大利益ヲ得セシメヨト告依テ三十餘僧ト俱ニ石ヲ立テ標記ス。自後法照。化竹林寺ノ處ニ於テ一寺ヲ建テ竹林寺ト号ス。又大曆十二年十三日ニ法照弟子八人ト共ニ東臺ニ於テ白光數四ヲ見。次ニ異雲靄

知ヌ念佛ハ諸法ノ王。汝當ニ常ニ無上法王ヲ念シテ休息スルコトナカラシメヨ。法照又問テ曰ク。當ニ如何念ズベキヤ。文殊告テ曰ク。此世界ノ西ニ阿彌陀佛アリ。彼佛ノ願力不思議ナリ。汝當ニ繼念シテ間斷ナカルベシ。命終ノ後決定往生シテ永ク退轉セザラント。是語ヲ説已テ文殊普賢ノ二大聖。各金色ノ手ヲノベテ。法照ノ頂ヲナデ、授記シテ曰ク。汝已ニ念佛スルガ故ニ久シカラズシテ當ニ無上正等菩提ヲ證ズベシ。若善男女等疾カニ成佛センコトヲ願ハバ念佛ニ過タルハナシ。能速ニ無上菩提ヲ證ズベシト。即チ二大聖互ニ伽陀ヲ説玉フ。法照聞已テ歡喜踊躍シテ疑ヒ悉ク除キヌ。又更ニ禮ヲナシ已テ合掌シテ立ツ。文殊告テ曰ク。汝諸菩薩院ニ往詣シテ次第ニ巡禮スベシト。法照教ノ如クニ瞻禮シテ遂ニ七寶ノ林園ニ至ル。其林ノ果ミ纔ニ

熟スルニ。ソノ大サ益ノ如シ。法照即チ取テ此ヲ食スルニ。甘美ナルコト人間ノ所有ニアラズ。便チ食シ已テ身モ意モ泰然トシテ安樂ナルコト。聖果ヲ得タルガ如シ。遂ニ二大聖ノ前ニ至テ禮ヲナシテ退クニ。前ノ二青衣ノ童子送テ門外ニ至ル。禮シ已テ頭ヲ舉ルニ。前ノ聖寺忽然トシテ所在ヲ失ス。法照悲シミ歎ヒテ乃チ碑ヲ立テ記ス。今ニ至テ存ゼリ。又四月十三日ニ聖寺及文殊普賢並ニ佛陀波利三藏ヲ拜シ。後ニ又佛陀波利ニ隨テ金剛窟ニ入ル。又化人アリ見所ノ聖寺ノ妙境ヲ衆人ニ語り。世間ニ流布シテ見聞ノ輩ヲシテ菩提心ヲ起シ。大利益ヲ得セシメヨト告依テ三十餘僧ト俱ニ石ヲ立テ標記ス。自後法照。化竹林寺ノ處ニ於テ一寺ヲ建テ竹林寺ト号ス。又大曆十二年十三日ニ法照弟子八人ト共ニ東臺ニ於テ白光數四ヲ見。次ニ異雲靄



雲ノ間ニ五色ノ光アリ。光ノ中ニ圓光紅色ノ文殊アリ。青  
毛ノ師子ニ乗ス。衆皆ナ明ニ見ルニ乃チ雪少ニ降ル。及ヒ五  
色ノ圓光山谷ニ偏ニシ。法照彌勇猛ニ勤メテ年ヲ重ヌ。遂ニ  
其ノ終ヲ知ルコトナシ。定メテ文殊ノ淨土ヘ入リヌラン。具ニハ宋  
高僧傳ノ第二十一ニ見タリ。今案ズルニ法照法師ニ文殊教  
ヘテ念佛ヲ勸メ玉フ事ハ。文殊ハ西方ノ利菩薩ナルガ故ナルベシ。  
サレバ末世相應ノ行ナレバ。殊ニ金色世界ヲ示シ。衆人ニ西方  
ノ行ヲ勸メ玉フナリ。又念佛ハ諸法ノ王ト云。疾カニ無上菩提ヲ  
證スルヲハ念佛ニシクハナシト云モ。亦出世ノ本懷タルニアラズヤ

#### 法華經ハ阿弥陀ノ三昧ナル事

ニニ祕密趣ト者。法華經ハ阿弥陀ノ三昧ナリ。故ニ阿弥陀佛ヲ  
念ズルハ即チ法花ヲ念ズルナリ。故ニ觀經ニハ密意ヲ以テ。若シ

念佛スル者ハ當ニ知ルベシ。此人ハ是人中ノ分陀利華ナリト  
説ク。法花ヲ梵語ニ薩曇分陀利經ト名ク。人中ノ分陀利  
花ト説ハ。念佛スル者ハ即チ人中ノ妙法蓮花ナルコトイヘリ。  
此ニ尚基深ノ義アリ。未灌頂ノ人ニハ  
説サルコトナリ。知法ノ阿闍梨ニ從テ問ヘシ。又高祖ノ法花ノ開題ニハ。法花  
ノ梵名ハサタラハ。又高祖ノ法花ノ開題ニハ。法花  
葉九尊ノ種子トス。胎藏中胎ノ大日ハ即チ阿弥陀ナリ。又  
法華ノ序品ニハ四種ノ阿字ヲ説。是一經ノ西方ノ四親近ノ  
種子ト心同ジ。天雨四花。四阿修羅。四迦樓羅。四緊那羅。  
四乾闥婆。四佛知見。四大聲聞。四安樂行。地涌ノ菩薩ノ  
四人ノ上首。四要品。兩四ノ卷。四七ノ品。八方各四百万億那  
庾多ノ土ヲ淨ム。皆是西方ノ四親近ノ功德ヲ表セリ。又西  
方ヲ蓮花部ト号ス。阿弥陀佛ハ八葉ノ開蓮花ヲ三昧耶形

雲ノ間ニ五色ノ光アリ。光ノ中ニ圓光紅色ノ文殊アリ。青  
毛ノ師子ニ乗ス。衆皆ナ明ニ見ルニ乃チ雪少ニ降ル。及ヒ五  
色ノ圓光山谷ニ偏ニシ。法照彌勇猛ニ勤メテ年ヲ重ヌ。遂ニ  
其ノ終ヲ知ルコトナシ。定メテ文殊ノ淨土ヘ入リヌラン。具ニハ宋  
高僧傳ノ第二十一ニ見タリ。今案ズルニ法照法師ニ文殊教  
ヘテ念佛ヲ勸メ玉フ事ハ。文殊ハ西方ノ利菩薩ナルガ故ナルベシ。  
サレバ末世相應ノ行ナレバ。殊ニ金色世界ヲ示シ。衆人ニ西方  
ノ行ヲ勸メ玉フナリ。又念佛ハ諸法ノ王ト云。疾カニ無上菩提ヲ  
證ズルコトハ念佛ニシクハナシト云モ。亦出世ノ本懷タルニアラズヤ

#### 法華經ハ阿弥陀ノ三昧ナル事

ニニ祕密趣ト者。法華經ハ阿弥陀ノ三昧ナリ。故ニ阿弥陀佛ヲ  
念ズルハ即チ法花ヲ念ズルナリ。故ニ觀經ニハ密意ヲ以テ。若シ

念佛スル者ハ當ニ知ルベシ。此人ハ是人中ノ分陀利華ナリト  
説ク。法花ヲ梵語ニハ薩曇分陀利經ト名ク。人中ノ分陀利  
花ト説ハ。念佛スル者ハ即チ人中ノ妙法蓮花ナルコトイヘリ。  
此ニ尚基深ノ義アリ。未灌頂ノ人ニハ  
説サルコトナリ。知法ノ阿闍梨ニ從テ問ヘシ。又高祖ノ法花ノ開題ニハ。法花  
ノ梵名ハサタラハ。又高祖ノ法花ノ開題ニハ。法花  
葉九尊ノ種子トス。胎藏中胎ノ大日ハ即チ阿弥陀ナリ。又  
法華ノ序品ニハ四種ノ阿字ヲ説。是一經ノ西方ノ四親近ノ  
種子ト心同ジ。天雨四花。四阿修羅。四迦樓羅。四緊那羅。  
四乾闥婆。四佛知見。四大聲聞。四安樂行。地涌ノ菩薩ノ  
四人ノ上首。四要品。兩四ノ卷。四七ノ品。八方各四百万億那  
庾多ノ土ヲ淨ム。皆是西方ノ四親近ノ功德ヲ表セリ。又西  
方ヲ蓮花部ト号ス。阿弥陀佛ハ八葉ノ開蓮花ヲ三昧耶形

トス。經ヲ妙法蓮花ト号ノ八軸アリ。八十年ノ説ヲ序ニハ  
八大龍王ヲ列シ。日月燈明佛ニハ王子アリ。妙光法師ニハ  
八百ノ弟子アリ。大通智勝佛ニハ王子アリ。八歲龍女  
ハ即身成佛ス。多寶ノ塔ハ扉ヲ西ニ排ケタリ。胎藏曼荼羅ノ義皆是  
西方ノ德ニシテ。胎藏ノ曼荼羅ヲ表セリ。故ニ古德ノ頌ニモ  
昔在靈山名法花。今在西方名彌陀。濁世末代名觀音。  
三世利益同一體トイヘリ。觀音彌陀ハ因果ノ名ナレバ同  
ナリ。又四要品ヲ心。壽。眼。咽喉。ノ四ニ配スルニ普門品ヲ以テ  
咽喉トス。人若咽喉ナクンバ何ゾ人ナラン。法花若普門品ナ  
クンハ何ゾ妙經トイハンヤ。又普門品ノ中ニ妙法蓮花ノ言  
ナシ。故ニ知ヌ一經ノ鉢ナルコトヲ。又壽量品ノ本地ノ常身ト云壽  
ハ謂ク無量壽佛。即チ<sup>ア</sup>字門ナリ。故ニ山王院ノ頌ニハ阿字不

トス。經ヲ妙法蓮花ト号シテ八軸アリ。八十年ノ説ニシテ。序ニハ  
八大龍王ヲ列ネ。日月燈明佛ニハ王子アリ。妙光法師ニハ  
八百ノ弟子アリ。大通智勝佛ニハ王子アリ。八歲龍女  
ハ即身成佛ス。多寶ノ塔ハ扉ヲ西ニ排ケタリ。胎藏曼荼羅ノ義皆是  
西方ノ德ニシテ。胎藏ノ曼荼羅ヲ表セリ。故ニ古德ノ頌ニモ  
昔在靈山名法花。今在西方名彌陀。濁世末代名觀音。  
三世利益同一體トイヘリ。觀音彌陀ハ因果ノ名ナレバ同  
ナリ。又四要品ヲ心。壽。眼。咽喉。ノ四ニ配スルニ普門品ヲ以テ  
咽喉トス。人若咽喉ナクンバ何ゾ人ナラン。法花若普門品ナ  
クンハ何ゾ妙經トイハンヤ。又普門品ノ中ニ妙法蓮花ノ言  
ナシ。故ニ知ヌ一經ノ鉢ナルコトヲ。又壽量品ノ本地ノ常身ト云壽  
ハ謂ク無量壽佛。即チ<sup>ア</sup>字門ナリ。故ニ山王院ノ頌ニハ阿字不

生微妙體。即是衆生內心法。本來清淨如蓮花。故題妙  
法蓮花經ト釋セリ。此ノ<sup>ア</sup>字ハ即<sup>ア</sup>字ノ<sup>ア</sup>字ナリ。<sup>ア</sup>字  
ヲ以テ無量壽ノ鉢トス。凡ソ一切ノ男女ノ胸中ニ心ノ藏アリ。  
三角赤色ニシテ八瓣ノ筋アリ。是ヲ八分ノ肉團ト云。又八千粟  
駄心ト号ス。狀未敷蓮花ノ如シ。菩提心論ニ凡人ノ心ハ如合蓮  
花ト説クハ是ナリ。男ハ上ニ向ヒ女ハ下ニ向フ。大日經ニ內心妙  
白蓮。八葉正圓滿ト説モ是ナリ。是ノ肉團ノ蓮鉢ニ。七穴三  
毛アリ。七穴ヨリ氣ヲ生ズルコト霧ノ如シ。此ヲ悉多心ト号ス。慮  
知分別ノ心ナリ。此氣白色ナレバ。心蓮ハ赤ナレトモ妙白蓮ト  
イヘリ。即チ此ノ霧ノ如クナル氣。息風トナツテ出ヅ。斷。齒。脣。  
頂。舌。咽。胸ノ七處ニ觸ル。時ニ諸ノ言語トナル。未ダ言ヲ發  
セズ。口ヲ開ク最初ニ出ル。自然ノ出息ハ即チ<sup>ア</sup>字ナリ。息

生微妙體。即是衆生內心法。本來清淨如蓮花。故題妙  
法蓮花經ト釋セリ。此ノ<sup>ア</sup>字ハ即<sup>ア</sup>字ノ<sup>ア</sup>字ナリ。<sup>ア</sup>字  
ヲ以テ無量壽ノ鉢トス。凡ソ一切ノ男女ノ胸中ニ心ノ藏アリ。  
三角赤色ニシテ八瓣ノ筋アリ。是ヲ八分ノ肉團ト云。又八千粟  
駄心ト号ス。狀未敷蓮花ノ如シ。菩提心論ニ凡人ノ心ハ如合蓮  
花ト説クハ是ナリ。男ハ上ニ向ヒ女ハ下ニ向フ。大日經ニ內心妙  
白蓮。八葉正圓滿ト説モ是ナリ。是ノ肉團ノ蓮鉢ニ。七穴三  
毛アリ。七穴ヨリ氣ヲ生ズルコト霧ノ如シ。此ヲ悉多心ト号ス。慮  
知分別ノ心ナリ。此氣白色ナレバ。心蓮ハ赤ナレトモ妙白蓮ト  
イヘリ。即チ此ノ霧ノ如クナル氣。息風トナツテ出ヅ。斷。齒。脣。  
頂。舌。咽。胸ノ七處ニ觸ル。時ニ諸ノ言語トナル。未ダ言ヲ發  
セズ。口ヲ開ク最初ニ出ル。自然ノ出息ハ即チ<sup>ア</sup>字ナリ。息



風ハ命根ノ躰ナリ。大日經ニハ命者所謂風ナリト説キ。或ハ  
咒字第一命ト説ク。一經ニハ根本命金剛ト説キ。疏ニハ風ト  
着想ナリ想ト者念ナリトイヘリ。此ノ最初ノ咒字ヲ。即チ  
無量壽命ノ躰。阿弥陀佛ト云。故ニ方ニ約シテハ西方ニ居ス。  
西方ハ金ヲ主ル。金ハ風ノ精ナリ。時ニ約シテハ秋ナリ秋ハ殊ニ  
風多シ。花落蓮成ノ時ヲ。万物皆果實ヲ成ズ。宜ナルカナ成  
菩提ノ位トスル。此風大即遍法界ノ躰ニシテ。内心ノ息風ト。  
一躰ニシテニナシ。故ニ心寂靜ナル時ハ。息風モ靜ナリ。乃至第四  
禪定ニ入レバ。息風法界ノ風大ト。一躰ト成テ。出入ノ氣絶ス  
ルニ似タリ。本朝ノ明慧上人。第四禪定ニ入り玉ヘバ。二日モ三日モ  
息風絶ヘタリトイヘリ。此ノ風大ハ此レ悉多心ノ外ニ顯レタル  
ナリ。故ニ心喜ハ音ウルハシクシテ。笑フ形アリ。心ニ瞋レハ言語ウル

風ハ命根ノ躰ナリ。大日經ニハ命者所謂風ナリト説キ。或ハ  
咒字第一命ト説ク。一經ニハ根本命金剛ト説キ。疏ニハ風ト  
着想ナリ想ト者念ナリトイヘリ。此ノ最初ノ咒字ヲ。即チ  
無量壽命ノ躰。阿弥陀佛ト云。故ニ方ニ約シテハ西方ニ居ス。  
西方ハ金ヲ主ル。金ハ風ノ精ナリ。時ニ約シテハ秋ナリ秋ハ殊ニ  
風多シ。花落蓮成ノ時ニシテ。万物皆果實ヲ成ズ。宜ナルカナ成  
菩提ノ位トスルコト。此風大即遍法界ノ躰ニシテ。内心ノ息風ト。  
一躰ニシテニナシ。故ニ心寂靜ナル時ハ。息風モ靜ナリ。乃至第四  
禪定ニ入レバ。息風法界ノ風大ト。一躰ト成テ。出入ノ氣絶ス  
ルニ似タリ。本朝ノ明慧上人。第四禪定ニ入り玉ヘバ。二日モ三日モ  
息風絶ヘタリトイヘリ。此ノ風大ハ此レ悉多心ノ外ニ顯レタル  
ナリ。故ニ心喜ハ音ウルハシクシテ。笑フ形アリ。心ニ瞋レハ言語ウル

ハシカラズ。瞋レル色アリ。此全ク内心外ニ顯レタルナリ。故ニ  
心ニ阿弥陀佛ヲ念ズレバ。其心即チ外ニ現ハレテ。口ニ南無阿  
弥陀佛ト唱ヘ手ヲ合ス。合掌ハ又合蓮花ノ形ナリ。二手ノ  
五指ハ五智五大ナレバ。即チ又心ナリ。唱フル聲ハ聲字即實  
相ノ故ニ。此音即チ阿弥陀佛ノ形ヲ現ジ。又三昧耶身タル  
蓮花トナル。唐ノ遂端及ビ吾朝ノ讚岐源太夫ガ死セシ時ニ。  
口ヨリ青蓮花ヲ生ジ。源信僧都ノ。胸ヨリ蓮花ヲ生ズト云ハ。  
即チ佛ノ三摩耶身ヲ現ズルナリ。又即チ干栗駄心外ニ形ヲ  
現スルナリ。此ノ内心ノ咒字蓮花ノ德ヲ佛密意ヲ以テ妙法  
蓮花ト説キ玉ヘリ。此蓮花ヲ。人人具足シ箇々圓成セリ。此  
ヲ唯心ノ弥陀ト号ス。或ハ隱密ノ喻ニ約シテ。念佛スル者ハ人中  
ノ分陀利花ト説ク。人人此蓮躰ヲ具足ス。此ヲ佛性ト云。又即チ

ハシカラズシテ。瞋レル色アリ。此全ク内心外ニ顯レタルナリ。故ニ  
心ニ阿弥陀佛ヲ念ズレバ。其心即チ外ニ現ハレテ。口ニ南無阿  
弥陀佛ト唱ヘ手ヲ合ス。合掌ハ又合蓮花ノ形ナリ。二手ノ  
五指ハ五智五大ナレバ。即チ又心ナリ。唱フル聲ハ聲字即實  
相ノ故ニ。此音即チ阿弥陀佛ノ形ヲ現ジ。又三昧耶身タル  
蓮花トナル。唐ノ遂端及ビ吾朝ノ讚岐源太夫ガ死セシ時ニ。  
口ヨリ青蓮花ヲ生ジ。源信僧都ノ。胸ヨリ蓮花ヲ生ズト云ハ。  
即チ佛ノ三摩耶身ヲ現ズルナリ。又即チ干栗駄心外ニ形ヲ  
現スルナリ。此ノ内心ノ咒字蓮花ノ德ヲ。佛密意ヲ以テ妙法  
蓮花ト説キ玉ヘリ。此蓮花ヲ。人人具足シ箇々圓成セリ。此  
ヲ唯心ノ弥陀ト号ス。或ハ隱密シテ喻ニ約シテ。念佛スル者ハ人中  
ノ分陀利花ト説ク。人人此蓮躰ヲ具足ス。此ヲ佛性ト云。又即チ



阿彌陀佛ナリ。一切衆生ノ内心ニ皆ナ阿彌陀佛ヲ具足セリ。又此ノ心蓮ヲ即チ己心ノ淨土ト号ス。覺錢上人ノ釋ニ。名ハ西方ニ假トモ實ニハ法界ニ遍ネシ。願ヲ發シテ生ゼント欲スル此心則チ彼ノ刹ナリ。九品ノ花臺ハ則チ性徳ノ心蓮ヲ開キ。無量ノ莊嚴ハ則チ恒沙ノ己有ヲ顯ハス。ト云ハ此ヲ以テナリ。前ニ此土ノ衆生ハ極樂淨土ニ有縁ナリト云モ。有縁ニハアラズ。我心即チ淨土。即チ阿彌陀佛ナレバナリ。サレバ彼ノ國ハ皆ナ蓮花ヲ以テ莊嚴シ。水鳥對林皆法音ヲ演。是レ息風ハ一切音聲ノ根本ニシテ。悉多。干栗駄ノ二心ナレバナリ。或ハ種子ニキリ字ヲ用ユ。キリ字ノ鉢ハ字ニシテ。即チ風大ノ種子ナリ。又キリハ一鉢ノ深旨アレバ。キリ字ニ同シ。如來出世ノ本懷ハ。一切衆生ヲ成佛セシメンカ為ナリ。然ルニ一切ノ菩薩。初メテ佛果ヲ成ズルハ。即チ無量壽

阿彌陀佛ナリ。一切衆生ノ内心ニ皆ナ阿彌陀佛ヲ具足セリ。又此ノ心蓮ヲ即チ己心ノ淨土ト号ス。覺錢上人ノ釋ニ。名ハ西方ニ假トモ實ニハ法界ニ遍ネシ。願ヲ發シテ生ゼント欲スル此心則チ彼ノ刹ナリ。九品ノ花臺ハ則チ性徳ノ心蓮ヲ開キ。無量ノ莊嚴ハ則チ恒沙ノ己有ヲ顯ハス。ト云ハ此ヲ以テナリ。前ニ此土ノ衆生ハ極樂淨土ニ有縁ナリト云モ。有縁ニハアラズ。我心即チ淨土。即チ阿彌陀佛ナレバナリ。サレバ彼ノ國ハ皆ナ蓮花ヲ以テ莊嚴シ。水鳥對林皆法音ヲ演。是レ息風ハ一切音聲ノ根本ニシテ。悉多。干栗駄ノ二心ナレバナリ。或ハ種子ニキリ字ヲ用ユ。キリ字ノ鉢ハ字ニシテ。即チ風大ノ種子ナリ。又キリハ一鉢ノ深旨アレバ。キリ字ニ同シ。如來出世ノ本懷ハ。一切衆生ヲ成佛セシメンカ為ナリ。然ルニ一切ノ菩薩。初メテ佛果ヲ成ズルハ。即チ無量壽

佛トナル。西方ハ成菩提ノ位ナルガ故ナリ。又智慧門ト号ス。法華ニ諸佛智慧甚深無量ト説モ。成佛ノ位ノ權實ニ智ヲ歎ゼルナリ。サレバ序品ニハ大智文殊發起シ。法説周ニハ大智舍利弗先ヅ悟入ス。是智慧門ノ經ナレバナリ。又即往安樂世界ト説ク。四大聲聞等ノ初住ニ回心スト云モ。圓教ノ初住ハ別教ノ初地ナレバ。即チ阿彌陀佛ノ位ナリ。大乘同性經ニ。釋迦及彌陀ハ。初地ノ佛ナルヲ説ケリ。故ニ龍樹ハ初地ノ菩薩ニシテ。西方ニ往生シ玉ヘリ。又上品上生ニ生ズルハ。即チ無生法忍ヲ悟ルト云ハ初地ナリ。古ヨリ法花ヲ讀誦シテ。西方ニ生セシ人。數十百人。皆是法花ハ阿彌陀ノ三昧ナルカ故ナリ。然レバ即チ法華ヲ讀誦スルト。念佛スルト。功德同等ニシテ異アルコトナシ。尚法花ハ延テ六万九千三百八十四字

佛トナル。西方ハ成菩提ノ位ナルガ故ナリ。又智慧門ト号ス。法華ニ諸佛智慧甚深無量ト説モ。成佛ノ位ノ權實ニ智ヲ歎ゼルナリ。サレバ序品ニハ大智文殊發起シ。法説周ニハ大智舍利弗先ヅ悟入ス。是智慧門ノ經ナレバナリ。又即往安樂世界ト説ク。四大聲聞等ノ初住ニ回心スト云モ。圓教ノ初住ハ別教ノ初地ナレバ。即チ阿彌陀佛ノ位ナリ。大乘同性經ニ。釋迦及彌陀ハ。初地ノ佛ナルコトヲ説ケリ。故ニ龍樹ハ初地ノ菩薩ニシテ。西方ニ往生シ玉ヘリ。又上品上生ニ生ズルハ。即チ無生法忍ヲ悟ルト云ハ初地ナリ。古ヨリ法花ヲ讀誦シテ。西方ニ生セシ人。數十百人。皆是法花ハ阿彌陀ノ三昧ナルカ故ナリ。然レバ即チ法華ヲ讀誦スルト。念佛スルト。功德同等ニシテ異アルコトナシ。尚法花ハ延テ六万九千三百八十四字

トナスカ故ニ淺略ナリ。名号ハ六字ナルガ故ニ深祕ナリ。乃至  
祕密ノ妙旨ハ我字ノ一字ナルカ故ニ。祕カ中ノ極祕ナリ。此ノ  
我字ヲ強テ妙法ト号スルガ故ニ。略スレモ漏レズ。廣ズレモ亂  
レズ。如來出世ノ本懷。豈ニ阿彌陀佛ノ名号ニアラズヤ。又西  
方ノ四親近ノ菩薩ハ觀音。文殊。彌勒。ハ本迹二門ノ發起衆  
ナリ。龍樹ハ經中ニ出サレモ。此ノ菩薩ハ直ニ阿彌陀佛ナレバ。  
經ノ總躰ト云ツヘシ。又如來ノ滅後ニ諸大乘經皆龍宮海  
藏ヘ隱沒セルヲ。龍樹菩薩出デ。龍宮ニ入テ誦出シ世ニ傳ヘ  
玉ヘリ。末世ニ法花ヲ弘通スルハ。皆龍猛ノ力ナリ。是レ自内證  
ノ法門ナレバナリ。又龍樹ハ西方ノ金剛語菩薩ト号ス。此ノ菩  
薩ハ西方ノ中ノ西方ニシテ。法部ノ中ノ法部ノ尊ナリ。諸大乘  
經ヲ誦出シ玉フコト。亦宜ナラズヤ。又語菩薩ハ舌ヲ以テ三摩

耶形トス。舌ハ心蓮ノ枝條ニシテ。蓮花ノ一葉ノ形ナリ。是言語  
說法ノ根本ナリ。故ニ法花ヲ讀誦スル人ハ。死シテ後ニ舌根壞  
セザル人多シ。是阿彌陀佛ノ三摩耶身ヲ得タルヲ羅什三  
藏法花ヲ翻譯シ玉ヘハ。茶毗ノ後ニ舌壞セズ。本誓約ニ依ルト  
イヘトモ亦怪ムベシ。梁ノ僧崖菩薩ハ常ニ法花ヲ誦シテ。後ニ身ヲ  
燒テ佛ニ供スルニ。心蓮花壞セズ。唐ノ遺俗。及法相。宋ノ師蘊。  
皆法花經ノ力ニ依テ。死後闇維スルニ。舌根壞セズ。紅蓮花ノ  
如ニシテ。幾度燒トモ銷爛セズ。鮮明柔輭ニシテ。甚タ愛シツベシトイ  
ヘリ。又唐ノ遂端。及ビ吾朝ノ讚岐源太夫。口ヨリ蓮花ヲ生  
ズルト。舌壞セサルト。善導及少康。吾朝ノ空也。口ヨリ阿彌  
陀佛ヲ出現スルト義同ナリ。佛像ハ應身ナリ。舌根及蓮花ハ  
報身ナリ。常ニ唱ル名号經咒ハ。是法身ヲ出現スルナリ。又餘ノ

トナスカ故ニ淺略ナリ。名号ハ六字ナルガ故ニ深祕ナリ。乃至  
祕密ノ妙旨ハ。我字ノ一字ナルカ故ニ。祕カ中ノ極祕ナリ。此ノ  
我字ヲ強テ妙法ト号スルガ故ニ。略スレトモ漏レズ。廣ズレトモ亂  
レズ。如來出世ノ本懷。豈ニ阿彌陀佛ノ名号ニアラズヤ。又西  
方ノ四親近ノ菩薩ハ觀音。文殊。彌勒。ハ本迹二門ノ發起衆  
ナリ。龍樹ハ經中ニ出ザレトモ。此ノ菩薩ハ直ニ阿彌陀佛ナレバ。  
經ノ總躰ト云ツヘシ。又如來ノ滅後ニ諸大乘經皆龍宮海  
藏ヘ隱沒セルヲ。龍樹菩薩出デ。龍宮ニ入テ誦出シ世ニ傳ヘ  
玉ヘリ。末世ニ法花ヲ弘通スルハ。皆龍猛ノ力ナリ。是レ自内證  
ノ法門ナレバナリ。又龍樹ハ西方ノ金剛語菩薩ト号ス。此ノ菩  
薩ハ西方ノ中ノ西方ニシテ。法部ノ中ノ法部ノ尊ナリ。諸大乘  
經ヲ誦出シ玉フコト。亦宜ナラズヤ。又語菩薩ハ舌ヲ以テ三摩

耶形トス。舌ハ心蓮ノ枝條ニシテ。蓮花ノ一葉ノ形ナリ。是言語  
說法ノ根本ナリ。故ニ法花ヲ讀誦スル人ハ。死シテ後ニ舌根壞  
セザル人多シ。是阿彌陀佛ノ三摩耶身ヲ得タルヲ羅什三  
藏法花ヲ翻譯シ玉ヘハ。茶毗ノ後ニ舌壞セズ。本誓約ニ依ルト  
イヘトモ亦怪ムベシ。梁ノ僧崖菩薩ハ常ニ法花ヲ誦シテ。後ニ身ヲ  
燒テ佛ニ供ズルニ。心蓮花壞セズ。唐ノ遺俗。及法相。宋ノ師蘊。  
皆法花經ノ力ニ依テ。死後闇維スルニ。舌根壞セズ。紅蓮花ノ  
如ニシテ。幾度燒トモ銷爛セズ。鮮明柔輭ニシテ。甚タ愛シツベシトイ  
ヘリ。又唐ノ遂端。及ビ吾朝ノ讚岐源太夫。口ヨリ蓮花ヲ生  
ズルト。舌壞セサルト。善導及少康。吾朝ノ空也。口ヨリ阿彌  
陀佛ヲ出現スルト義同ナリ。佛像ハ應身ナリ。舌根及蓮花ハ  
報身ナリ。常ニ唱ル名号經咒ハ。是法身ヲ出現スルナリ。又餘ノ



諸大乘經ヲ讀誦スル人モ。舌根壞セサルアリ。皆金剛語菩薩ノ三昧ニシテ。即龍勝ノ誦出ナレバ。舌根壞セザルコト。理契當セリ。又金剛語菩薩ノ真言ニ。シテハ三身ナリ。又ハ金剛ナリ。又ハ語ノ義。説ノ義ナリ。字義ニ約セハ。不壞ノ義ナリ。舌ノ壞セザルヲ宜ナルカナ。又ハ性鈍不可得ノ義ナリ。性鈍ノ人モ唯シ經ヲ誦ジ念佛スルニ感應アルヲ知ヌベシ。陳ノ慧恭法師。及ヒ源太夫カ如シ。又字ハ火大ノ種子ニシテ。舌内ノ所發ナリ。心ノ藏ハ火ヲ主ル。舌ハ心ノ藏ノ枝ニシテ。赤色ナリ。又字ノ躰即舌ニシテ火ナリ。何ゾ世間ノ火ヲ以テ此ヲ銷鑠セシヤ。諸經ハ皆ナ龍猛ノ誦出ナレバ。阿弥陀佛ノ誦出トイツベシ。大師ノ曰ク本ヲ尋ヌレバ妙雲如來ト。妙雲如來ハ即チ阿弥陀佛ナリ。サレバ法花ニハ三乘即一ト開會セリ。又轉讀大乘ノ

諸大乘經ヲ讀誦スル人モ。舌根壞セサルアリ。皆金剛語菩薩ノ三昧ニシテ。即龍勝ノ誦出ナレバ。舌根壞セザルコト。理契當セリ。又金剛語菩薩ノ真言ニ。シテハ三身ナリ。又ハ金剛ナリ。又ハ語ノ義。説ノ義ナリ。字義ニ約セハ。不壞ノ義ナリ。舌ノ壞セザルコト宜ナルカナ。又ハ性鈍不可得ノ義ナリ。性鈍ノ人モ唯シ經ヲ誦ジ念佛スルニ感應アルコト知ヌベシ。陳ノ慧恭法師。及ヒ源太夫カ如シ。又字ハ火大ノ種子ニシテ。舌内ノ所發ナリ。心ノ藏ハ火ヲ主ル。舌ハ心ノ藏ノ枝ニシテ。赤色ナリ。又字ノ躰即舌ニシテ火ナリ。何ゾ世間ノ火ヲ以テ此ヲ銷鑠セシヤ。諸經ハ皆ナ龍猛ノ誦出ナレバ。阿弥陀佛ノ誦出トイツベシ。大師ノ曰ク本ヲ尋ヌレバ妙雲如來ト。妙雲如來ハ即チ阿弥陀佛ナリ。サレバ法花ニハ三乘即一ト開會セリ。又轉讀大乘ノ

人。西方ニ往生スル。理相應セリ。然レバ則チ阿弥陀佛ヲ念ズルハ。即チ法花ヲ念ズルナリ。故ニ念佛ヲ即チ出世ノ本懷ト云ニ妨ケナシ。況ヤ又字門眞實ノ義ヲ證得スレバ。現世ニ初地ニ至ルコトヲ得。觀智儀軌ニ法花ニ依テ修行スル者ハ。現世ニ無上覺ヲ成スルコトヲ得ト説又現生ニ初地ニ入ルコトヲ得ト説リ。是又字門本不生ノ理ヲ證得スレバナリ。即身成佛又豈出世ノ本懷ニアラズヤ。已上ノ秘密ノ義ハ密宗ノ肝要。相承ノ義ナレバ眞ノ照覽恐アリトイヘ疑詢ノ逆縁尚權教ノ戒行ニ勝レバ。俱ニ毒鼓ノ因縁ヲ結バシメンガ為ニ粗茲ニ記スル者ナリ。尚無盡秘密ノ義アリトイヘトモ繁ヲ恐レテ述ズ。要聞ノ人ハ明師ニ隨テ問ヘシ。阿弥陀ノ四重祕釋及ヒ祕密念佛ノ義ハ略シテ下ニ述ルガ如シ。○又戒家ニ戒ヲ出世ノ本懷ト云ニモ

人。西方ニ往生スルコト。理相應セリ。然レバ則チ阿弥陀佛ヲ念ズルハ。即チ法花ヲ念ズルナリ。故ニ念佛ヲ即チ出世ノ本懷ト云ニ妨ケナシ。況ヤ又字門眞實ノ義ヲ證得スレバ。現世ニ初地ニ至ルコトヲ得。觀智儀軌ニ法花ニ依テ修行スル者ハ。現世ニ無上覺ヲ成スルコトヲ得ト説又現生ニ初地ニ入ルコトヲ得ト説リ。是又字門本不生ノ理ヲ證得スレバナリ。即身成佛又豈出世ノ本懷ニアラズヤ。已上ノ秘密ノ義ハ密宗ノ肝要。相承ノ義ナレバ眞ノ照覽恐アリトイヘトモ疑詢ノ逆縁尚權教ノ戒行ニ勝レバ。俱ニ毒鼓ノ因縁ヲ結バシメンガ為ニ粗茲ニ記スル者ナリ。尚無盡秘密ノ義アリトイヘトモ繁ヲ恐レテ述ズ。要聞ノ人ハ明師ニ隨テ問ヘシ。阿弥陀ノ四重祕釋及ヒ祕密念佛ノ義ハ略シテ下ニ述ルガ如シ。○又戒家ニ戒ヲ出世ノ本懷ト云ニモ



顯略祕密ノ二義アリトイヘ。無盡ノ妙旨ハ山毫地墨ニ  
アラサレバ記スルヲアタハズ。但シ見諦ノ阿闍黎ニ隨テ受學ス  
法花經ヲ誦ノ舌根壞セザル人ノ事  
問法花ヲ誦ノ舌根壞セザル人古來幾何カアルヤ。答予カ  
寡聞淺識ナル多ク得ルヲアタハズ且ツ南北朝ノ時ハ僧ヲモ  
火葬ニスルヲ許サレバ壞ト不壞トヲ知ルヲ難シ。且ク予カ見  
聞ノ人ヲ舉バ。天竺。支那。日本ニ於テ。三十餘人ヲ得タリ。謂ク  
後秦ノ羅什。大唐ノ實叉難陀三藏。二入。唐ノ僧襲。靜琳。慧  
滿。荊州ノ比丘尼姊妹。范陽ノ五侯寺僧。雍州ノ僧及。慧顯法  
師。釋ノ遺俗。阿擔。法相。五代ノ漢ノ洪真。宋ノ傳章師。繼。永安。  
真淨。必才。善繼禪師。南湖ノ法智法師。大元ノ端裕。景元。安  
民。道行。守珣。蘊能。有權禪師。吾朝ニハ圓善法師。熊野ノ比

丘。春朝法師。定照法師等ナリ。多分ハ法花ヲ誦ゼシ人ナリ  
間密咒ヲ持シ念佛ヲ行トシ。諸大乘ヲ讀誦シ。禪定ヲ修  
習セル人アリ。又多クハ西方淨土ヲ願ヘル人ナリ。○又昔シ北  
齊ノ武成ノ世ニ并州ノ東看山ノ側ニ人アリ。地ヲ掘テ一處ノ  
土ヲ見ルニ其ノ色黃白ニシテ傍ノ土ト異ナリ。尋デ一物ヲ見ルニ  
狀チ兩脣ノ如シ。其ノ中ニ舌アリ。鮮紅赤色ナリ。人此ヲ怪シ  
テ事ヲ以テ奏聞ス。帝諸人ニ問ニ知者ナシ。沙門大統。法上  
法師奏シテ曰ク。我聞ク法花ヲ持スル者ハ六根壞セズト。是昔  
ノ持經者ノ墓ナラント。乃チ中書舍人高珍ニ勅シテ曰ク。卿ハ  
是信向ノ人ナリ。自ラ往テ是ヲ看ヨ。必ズ靈異アルベシ宜シク  
淨所ニ安置シテ齋ヲ設テ供養ズベシト。高珍勅ヲ奉テ彼所ニ  
至リ。諸ノ法花ヲ持スル沙門ヲ集メテ。手ニ香爐ヲ執テ旋

顯略祕密ノ二義アリトイヘトモ。無盡ノ妙旨ハ山毫地墨ニ  
アラサレバ記スルコトアタハズ。但シ見諦ノ阿闍黎ニ隨テ受學スヘシ  
法花經ヲ誦シテ舌根壞セザル人ノ事

問法花ヲ誦シテ舌根壞セザル人古來幾何カアルヤ。答予カ  
寡聞淺識ナル多ク得ルコトアタハズ且ツ南北朝ノ時ニハ僧ヲモ  
火葬ニスルコトヲ許サレバ壞ト不壞トヲ知ルコト難シ。且ク予カ見  
聞ノ人ヲ舉バ。天竺。支那。日本ニ於テ。三十餘人ヲ得タリ。謂ク  
後秦ノ羅什。大唐ノ實叉難陀三藏。二入。唐ノ僧襲。靜琳。慧  
滿。荊州ノ比丘尼姊妹。范陽ノ五侯寺僧。雍州ノ僧及。慧顯法  
師。釋ノ遺俗。阿擔。法相。五代ノ漢ノ洪真。宋ノ傳章。師繼。永安。  
真淨。必才。善繼禪師。南湖ノ法智法師。大元ノ端裕。景元。安  
民。道行。守珣。蘊能。有權禪師。吾朝ニハ圓善法師。熊野ノ比

丘。春朝法師。定照法師等ナリ。多分ハ法花ヲ誦ゼシ人ナリ  
間密咒ヲ持シ。念佛ヲ行トシ。諸大乘ヲ讀誦シ。禪定ヲ修  
習セル人アリ。又多クハ西方淨土ヲ願ヘル人ナリ。○又昔シ北  
齊ノ武成ノ世ニ并州ノ東看山ノ側ニ人アリ。地ヲ掘テ一處ノ  
土ヲ見ルニ其ノ色黃白ニシテ傍ノ土ト異ナリ。尋デ一物ヲ見ルニ  
狀チ兩脣ノ如シ。其ノ中ニ舌アリ。鮮紅赤色ナリ。人此ヲ怪シ  
テ事ヲ以テ奏聞ス。帝諸人ニ問ニ知者ナシ。沙門大統。法上  
法師奏シテ曰ク。我聞ク法花ヲ持スル者ハ六根壞セズト。是昔  
ノ持經者ノ墓ナラント。乃チ中書舍人高珍ニ勅シテ曰ク。卿ハ  
是信向ノ人ナリ。自ラ往テ是ヲ看ヨ。必ズ靈異アルベシ宜シク  
淨所ニ安置シテ齋ヲ設テ供養ズベシト。高珍勅ヲ奉テ彼所ニ  
至リ。諸ノ法花ヲ持スル沙門ヲ集メテ。手ニ香爐ヲ執テ旋

繞ノ呪ノ曰ク。菩薩涅槃ノ年代已ニ遠シ。像法流行ス幸ニ  
謬リナクンバ請感應ヲ現セヨト。諸僧同ジク法華ヲ誦ス。繞  
ニ聲ヲ發スルニ彼ノ土中ノ屑舌一時ニ鼓動ス。響聲ナシトイヘト  
讀誦ノ狀ニ似タリ。見ル者身毛豎スト云フナシ。高珍具ニ  
奏聞ス。詔ノ石函ヲ造テ此ヲ藏メテ山室ニ遷ストイヘリ。  
續高僧傳ノ三十八是ハ土葬ニセシ人ノ舌根壞セザルナリ。現ニ金剛語  
菩薩ノ三昧耶身ヲ得タルナリ。○又宋ノ杭州ノ紹嚴法師。法  
花二万部ヲ誦シ淨土ニ生ゼンコトヲ欣フ。俄ニ陸地ノ庭間ニ蓮  
花生スルヲ感ズ。諸人羣集シ瞻トイヘリ。○又五代ノ溫州ノ  
大雲寺ノ鴻楚法華ヲ講ズルコト五十許座。一日講堂ノ中ニ  
忽ニ蓮花ヲ生ズ。口中ヨリ蓮花ヲ生ズルト義同ナリ。皆三摩  
耶身ヲ得ルナリ。○又唐ノ烏龍山ノ少康法師。常ニ人ヲ勸メテ

念佛セシム。小兒ヲ教ヘテ念佛セシムルニ。念佛スル者ニハ錢  
一錢ヲ與フ。小兒蠅慕シテ少康ヲ見テハ即チ南無阿彌  
陀佛ト唱フ。後ニ烏龍山ニ於テ淨土道場ヲ立テ、諸人  
ヲ教化ス。所化三千人。少康ノ面門ヲ望ムニ高聲ニ南無  
阿彌佛ト唱レハ即チ化佛口ヨリ出ヅ。十聲スルニ十佛出  
ルヲ珠ヲ連チタルガ如シ。即チ告テ曰ク。汝等若シ佛身ヲ  
見バ即チ往生スベシト。貞元二十一年十月ニ結跏趺坐シテ。  
身ヨリ光明ヲ放テ遷化ストイヘリ。此ハ現ニ佛ノ應身ヲ  
得タルナリ。今ノ人モ善導少康。及ヒ吾朝ノ弘也上人ノ如ク  
ニ勇猛ニ念佛セバ。何ゾ決定往生ヲ遂ザラン。又何ゾ口中  
ヨリ佛ヲ現ゼザランヤ。口中ヨリ音ニ隨テ佛出玉フハ。祕密ノ  
聲字即實相。名即實體ノ義ナリ

繞シテ咒シテ曰ク。菩薩涅槃ノ年代已ニ遠シ。像法流行ス幸ニ  
謬リナクンバ請感應ヲ現セヨト。諸僧同ジク法華ヲ誦ズ。繞  
ニ聲ヲ發スルニ彼ノ土中ノ屑舌一時ニ鼓動ス。響聲ナシトイヘトモ  
讀誦ノ狀ニ似タリ。見ル者身毛豎スト云コトナシ。高珍具ニ  
奏聞ス。詔シテ石函ヲ造テ此ヲ藏メテ山室ニ遷ストイヘリ。  
續高僧傳ノ三十八是ハ土葬ニセシ人ノ舌根壞セザルナリ。現ニ金剛語  
菩薩ノ三昧耶身ヲ得タルナリ。○又宋ノ杭州ノ紹嚴法師。法  
花二万部ヲ誦シ淨土ニ生ゼンコトヲ欣フ。俄ニ陸地ノ庭間ニ蓮  
花生スルコトヲ感ズ。諸人羣集シ瞻トイヘリ。○又五代ノ溫州ノ  
大雲寺ノ鴻楚法華ヲ講ズルコト五十許座。一日講堂ノ中ニ  
忽ニ蓮花ヲ生ズ。口中ヨリ蓮花ヲ生ズルト義同ナリ。皆三摩  
耶身ヲ得ルナリ。○又唐ノ烏龍山ノ少康法師。常ニ人ヲ勸メテ

念佛セシム。小兒ヲ教ヘテ念佛セシムルニ。念佛スル者ニハ錢  
一錢ヲ與フ。小兒蠅慕シテ少康ヲ見テハ即チ南無阿彌  
陀佛ト唱フ。後ニ烏龍山ニ於テ淨土道場ヲ立テ、諸人  
ヲ教化ス。所化三千人。少康ノ面門ヲ望ムニ高聲ニ南無  
阿彌佛ト唱レハ即チ化佛口ヨリ出ヅ。十聲スルニ十佛出  
ルコト珠ヲ連ネタルガ如シ。即チ告テ曰ク。汝等若シ佛身ヲ  
見バ即チ往生スベシト。貞元二十一年十月ニ結跏趺坐シテ。  
身ヨリ光明ヲ放テ遷化ストイヘリ。此ハ現ニ佛ノ應身ヲ  
得タルナリ。今ノ人モ善導少康。及ヒ吾朝ノ弘也上人ノ如ク  
ニ勇猛ニ念佛セバ。何ゾ決定往生ヲ遂ザラン。又何ゾ口中  
ヨリ佛ヲ現ゼザランヤ。口中ヨリ音ニ隨テ佛出玉フハ。祕密ノ  
聲字即實相。名即實體ノ義ナリ



叡山ノ東塔院ノ圓善法師ノ事

釋ノ圓善法師常ニ法花ヲ誦ズ。後ニ熊野ノ肉背山ニ往テ卒ス。其ノ後ニ沙門壹禪ト云者アリ。行テ山中ニ宿ス。中夜ニ何者トモシレズ法華ヲ誦ズル聲アリ。其聲甚微妙ナリ。壹禪ハ我レヨリ先ニ人アリテ宿セリト思フニ。一卷一卷誦ジ畢テ禮拜懺悔ス。天明テ見ニ人ナシ。但シ傍ニ骸骨アリ。支躰全ク連ナル。年月久シク經タルト見テ。青キ苔遍チク生テ。宛モ衣ヲ著タルニ似タリ。髑髏ノ口中ニ舌アリ。紅蓮ノ如シ。壹禪見テ怪シミ。所由ヲ問ント欲シテ次ノ日モ尚宿シテ去ラズ。然ルニ夜ニ入テ彼ノ枯骨法花ヲ誦スルコト前ノ夜ノ如シ。曉ニ至テ壹禪起テ拜シテ曰ク。既ニ經ヲ誦ジ玉フ必ズ心モ言語モアルベシ。願クハ因縁ヲ語リ玉ヘト。時ニ骨人答テ曰ク。我ハ叡山東塔院ノ

叡山ノ東塔院ノ圓善法師ノ事  
釋ノ圓善法師常ニ法花ヲ誦ズ。後ニ熊野ノ肉背山ニ往テ卒ス。其ノ後ニ沙門壹禪ト云者アリ。行テ山中ニ宿ス。中夜ニ何者トモシレズ法華ヲ誦ズル聲アリ。其聲甚微妙ナリ。壹禪ハ我レヨリ先ニ人アリテ宿セリト思フニ。一卷一卷誦ジ畢テ禮拜懺悔ス。天明テ見ニ人ナシ。但シ傍ニ骸骨アリ。支躰全ク連ナル。年月久シク經タルト見テ。青キ苔遍チク生テ。宛モ衣ヲ著タルニ似タリ。髑髏ノ口中ニ舌アリ。紅蓮ノ如シ。壹禪見テ怪シミ。所由ヲ問ント欲シテ次ノ日モ尚宿シテ去ラズ。然ルニ夜ニ入テ彼ノ枯骨法花ヲ誦スルコト前ノ夜ノ如シ。曉ニ至テ壹禪起テ拜シテ曰ク。既ニ經ヲ誦ジ玉フ必ズ心モ言語モアルベシ。願クハ因縁ヲ語リ玉ヘト。時ニ骨人答テ曰ク。我ハ叡山東塔院ノ

僧ナリ。此ニ至テ死ス。平生堅誓ヲ發シテ法花六万部ヲ誦セント誓フ。存日オカニ三万部誦メテ天セリ。願力ノ故ニ尚經ヲ誦ズ。今近ク功ヲ終ントス。功終ラバ當ニ兜率ノ内院ニ往生スベシト。壹禪聞竟テ骨人ヲ禮拜シテ去ル。翌年又來ルニ苔骨ヲ見ズ。定テ知ヌ功終テ上生セリト云フ

熊野ノ比丘死シテ後モ經ヲ誦スル事

紀州牟婁ノ郡。熊野村ニ永興法師ト云者アリ。智行兼備ハル。一比丘アリ永興ニ從テ學ブ。小欲知足ニシテ能ク勤ム。其ノ所持ノ具ハ法花一部。水瓶一ツ。繩牀一ツノ外ニハ一物モアルコトナシ。比丘常ニ法花ヲ誦ズ。一年アマリ居シテ後ニ永興法師ニ床ヲ施シテ曰ク。我山ヲ越テ勢州ニ往ント欲スト。永興相別レテ二人ノ銀鹿ヲ送ラシメ。且糗ヲ與ヘテ糧トス。行コト一日次ノ日ニ

僧ナリ。此ニ至テ死ス。平生堅誓ヲ發シテ法花六万部ヲ誦セント誓フ。存日オカニ三万部誦シテ天セリ。願力ノ故ニ尚經ヲ誦ズ。今近ク功ヲ終ントス。功終ラバ當ニ兜率ノ内院ニ往生スベシト。壹禪聞竟テ骨人ヲ禮拜シテ去ル。翌年又來ルニ苔骨ヲ見ズ。定テ知ヌ功終テ上生セリト云コトヲ

熊野ノ比丘死シテ後モ經ヲ誦スル事

紀州牟婁ノ郡。熊野村ニ永興法師ト云者アリ。智行兼備ハル。一比丘アリ永興ニ從テ學ブ。小欲知足ニシテ能ク勤ム。其ノ所持ノ具ハ法花一部。水瓶一ツ。繩牀一ツノ外ニハ一物モアルコトナシ。比丘常ニ法花ヲ誦ズ。一年アマリ居シテ後ニ永興法師ニ床ヲ施シテ曰ク。我山ヲ越テ勢州ニ往ント欲スト。永興相別レテ二人ノ銀鹿ヲ送ラシメ。且糗ヲ與ヘテ糧トス。行コト一日次ノ日ニ



僕ヲ返ラシメ。并ニ經ト糗トヲ與ヘテ。自ラハ瓶ト麻繩トヲ  
攜ヘテ獨リ別レ去ル。二年ヲ經テ熊野村ノ人山ニ入テ木ヲ  
伐シ誦經ノ音ヲ聞ク。累日止ズ。村人怪シテ尋ヌレトモ見ヘ  
ズ。往テ永興ニ語ル。永興山ニ入テ深ク尋ヌルニ一ノ骸骨アリ  
麻繩ニ繫テ二脚巖ニ垂ル。傍ニ水瓶アリ。永興見テ是彼ノ  
比丘ナルヲ知テ。涙ヲ流シテ禮拜ケリ。後三年マデニ尚誦  
經ノ聲アリ。永興再ビ往テ骨ヲ收メテ葬ルニ舌根壞セズ。  
赤ク鮮ナルヲ紅蓮花ノ如シトイヘリ

春朝法師慈濟ノ心深キ事

釋ノ春朝法師常ニ法花ヲ誦ス。音韻和雅ニ聞者ヲ淨  
信ヲ生ゼシム。曾テ因圖ヲ見テ悲テ曰ク。惡輩惡ヲ作テ刑ヲ  
受ク。我如何此輩ヲ佛種ヲ植シメン。我當ニ七遍獄ニ入テ

法花ヲ誦シテ結緣セント。即チ貴人ノ家ニ行テ銀器ヲ盜ミ。家  
人捕ヘテ獄ニ入ル。皇子ニ春朝ヲ知ル人アリ。廷尉ニ令シテ曰ク。春  
朝ハ善人ナリ刑ヲ加ヘザレト。春朝獄ニ入テ法華ヲ誦ズ。其聲  
アハレニシテウルハシ。罪人等聞テ皆ナ合掌シテ涙ヲ流シテアリ  
ガタガリケリ。又廷尉夢ラク白象獄所ニ聚ル。諸天數モナク  
多ク下ルト。又大理卿夢ラク普賢菩薩白象ニ乗メ。手ニ鉢  
飯ヲ捧テ獄ノ門ニ立ツ。人アリ問テ曰ク何ノ故ニカ此ニ來リ玉  
フヤ。菩薩ノ曰ク春朝ニ供ズト。大理卿大ニ驚テ廷尉ニ告ク。廷尉  
モ亦夢ヲ説テ相共ニ不思議ナリト歎シテ。即チ法師ヲ免シテ  
獄ヲ出ス。其後法師五六度獄ニ入ル。廷尉議シテ曰ク春朝ノ罪  
狀一ニニアラス靈應アツテ罪ヲ免カルハニ依テ恣ニ盜ヲナス。  
輕罪ニ準メ則テ已後ヲ止メント。獄吏北野ニ往テ春朝ノ足ヲ

僕ヲ返ラシメ。并ニ經ト糗トヲ與ヘテ。自ラハ瓶ト麻繩トヲ  
攜ヘテ獨リ別レ去ル。二年ヲ經テ熊野村ノ人山ニ入テ木ヲ  
伐ルニ誦經ノ音ヲ聞ク。累日止ズ。村人怪シテ尋ヌレトモ見ヘ  
ズ。往テ永興ニ語ル。永興山ニ入テ深ク尋ヌルニ一ノ骸骨アリ  
麻繩ニ繫テ二脚巖ニ垂ル。傍ニ水瓶アリ。永興見テ是彼ノ  
比丘ナルコトヲ知テ。涙ヲ流シテ禮拜ケリ。後三年マデニ尚誦  
經ノ聲アリ。永興再ビ往テ骨ヲ收メテ葬ルニ舌根壞セズ。  
赤ク鮮ナルコト紅蓮花ノ如シトイヘリ

春朝法師慈濟ノ心深キ事

釋ノ春朝法師常ニ法花ヲ誦ス。音韻和雅ニシテ聞者ヲ淨  
信ヲ生ゼシム。曾テ因圖ヲ見テ悲テ曰ク。惡輩惡ヲ作テ刑ヲ  
受ク。我如何此輩ヲ佛種ヲ植シメン。我當ニ七遍獄ニ入テ

法花ヲ誦シテ結緣セント。即チ貴人ノ家ニ行テ銀器ヲ盜ミ。家  
人捕ヘテ獄ニ入ル。皇子ニ春朝ヲ知ル人アリ。廷尉ニ令シテ曰ク。春  
朝ハ善人ナリ刑ヲ加ヘザレト。春朝獄ニ入テ法華ヲ誦ズ。其聲  
アハレニシテウルハシ。罪人等聞テ皆ナ合掌シテ涙ヲ流シテアリ  
ガタガリケリ。又廷尉夢ラク白象獄所ニ聚ル。諸天數モナク  
多ク下ルト。又大理卿夢ラク普賢菩薩白象ニ乗シテ。手ニ鉢  
飯ヲ捧テ獄ノ門ニ立ツ。人アリ問テ曰ク何ノ故ニカ此ニ來リ玉  
フヤ。菩薩ノ曰ク春朝ニ供ズト。大理卿大ニ驚テ廷尉ニ告ク。廷尉  
モ亦夢ヲ説テ相共ニ不思議ナリト歎シテ。即チ法師ヲ免シテ  
獄ヲ出ス。其後法師五六度獄ニ入ル。廷尉議シテ曰ク春朝ノ罪  
狀一ニニアラス靈應アツテ罪ヲ免カルハニ依テ恣ニ盜ヲナス。  
輕罪ニ準シテ則テ已後ヲ止メント。獄吏北野ニ往テ春朝ノ足ヲ

別ニト欲ス。法師聲ヲ舉テ法華ヲ誦ズ。其音哀婉ナリ。官吏事竟テ泣ク歸ル。其夜廷尉夢ミラク天童告テ曰ク春朝上人ハ罪人ヲ救ハシガ爲ニ七遍獄ニ入ル。是菩薩ノ大悲方便ナリ。汝何ゾ心ナキヤト。廷尉身毛豎テ悲ミ悔トイヘモ甲斐ナシ。春朝法師終ニ北野ニ於テ死ス。髑髏尚ヲ毎夜法華ヲ誦ズ。一僧有テ髑髏ヲ取テ山中ニ葬ルトイヘリ。髑髏猶法華ヲ誦ズ。舌根ノ壞セザルヲ知ベシ。況ヤ慈悲心深クシテ死ヲ怖レズ獄ニ入ル。眞ノ大菩薩ナルヲヤ

#### 定照法師ノ墓ノ事

釋ノ定照法師ハ仁和寺ノ寛空僧正ノ弟子ナリ。常ニ真言ヲ持誦シ。又法華ヲ誦ス臨終ニ弟子ニ告テ曰ク。我屍ヲ火葬ニスルコトナカレ。死後猶法華ヲ誦ノ一切ヲ饒益スベシト語り訖テ定

印ヲ結テ端坐シテ遷化ス。門人遺命ニ隨フニ其ノ墓果シテ常ニ誦經ノ聲アリ。或ハ振鈴ノ聲ヲ聞トイヘリ。具ニハ下ニ記スルガ如シ。此モ亦舌根壞セザルノ徴シナリ。上來ノ人ハ皆ナ經王ノ力ニ依テ。現ニ語菩薩ノ三摩耶身ヲ得タルナリ。現世既ニカタノ如シ。未來ニ淨土ニ往生スルヲ何ゾ疑ハンヤ。羨シキ事トモナリ

#### 唐ノ遂端法師口中ヨリ青蓮花ヲ生スル事

問法花ヲ誦ジ及ビ念佛セル人。蓮花ヲ感ゼル事幾人カアルヤ。答貧道カ寡聞ナル多ク得ルコトアタハズ。姑ク九人ヲ得タリ。故ニ茲ニ記シテ同志ノ人ニ示ス。二人ハ上ニ記スルガ如シ。唐ノ明州德潤寺ノ遂端法師ハ何ノ所ノ人ト云コトヲシラス。姓ハ張氏ナリ。幼ノ時ニ師法花ヲ授クルニ遂端日夜十二時ニ誦シテ怠ルコトナシ。一生ノ間幾千万部ト云コトヲシルモノナシ。咸通二年ニ結跏趺坐シテ

別ニト欲ス。法師聲ヲ舉テ法華ヲ誦ズ。其音哀婉ナリ。官吏事竟テ泣ク歸ル。其夜廷尉夢ミラク天童告テ曰ク春朝上人ハ罪人ヲ救ハシガ爲ニ七遍獄ニ入ル。是菩薩ノ大悲方便ナリ。汝何ゾ心ナキヤト。廷尉身毛豎テ悲ミ悔トイヘトモ甲斐ナシ。春朝法師終ニ北野ニ於テ死ス。髑髏尚ヲ毎夜法華ヲ誦ズ。一僧有テ髑髏ヲ取テ山中ニ葬ルトイヘリ。髑髏猶法華ヲ誦ズ。舌根ノ壞セザルヲ知ベシ。況ヤ慈悲心深クシテ死ヲ怖レズ獄ニ入ル。眞ノ大菩薩ナルヲヤ

#### 定照法師ノ墓ノ事

釋ノ定照法師ハ仁和寺ノ寛空僧正ノ弟子ナリ。常ニ真言ヲ持誦シ。又法華ヲ誦ス臨終ニ弟子ニ告テ曰ク。我屍ヲ火葬ニスルコトナカレ。死後猶法華ヲ誦シテ一切ヲ饒益スベシト語り訖テ定

印ヲ結テ端坐シテ遷化ス。門人遺命ニ隨フニ其ノ墓果シテ常ニ誦經ノ聲アリ。或ハ振鈴ノ聲ヲ聞トイヘリ。具ニハ下ニ記スルガ如シ。此モ亦舌根壞セザルノ徴シナリ。上來ノ人ハ皆ナ經王ノ力ニ依テ。現ニ語菩薩ノ三摩耶身ヲ得タルナリ。現世既ニカタノ如シ。未來ニ淨土ニ往生スルコト何ゾ疑ハンヤ。羨シキ事トモナリ

#### 唐ノ遂端法師口中ヨリ青蓮花ヲ生スル事

問法花ヲ誦ジ及ビ念佛セル人。蓮花ヲ感ゼル事幾人カアルヤ。答貧道カ寡聞ナル多ク得ルコトアタハズ。姑ク九人ヲ得タリ。故ニ茲ニ記シテ同志ノ人ニ示ス。二人ハ上ニ記スルガ如シ。唐ノ明州德潤寺ノ遂端法師ハ何ノ所ノ人ト云コトヲシラス。姓ハ張氏ナリ。幼ノ時ニ師法花ヲ授クルニ遂端日夜十二時ニ誦シテ怠ルコトナシ。一生ノ間幾千万部ト云コトヲシルモノナシ。咸通二年ニ結跏趺坐シテ

遷化ス。須臾ニ口中ヨリ青蓮花七莖生ズ。遠近奔走ノ瞻禮シ。皆不思議ナリト讚歎ス。其ノ邑人イフ龜ヲ造テ葬ムル。二十餘年ヲ經テ其墳ジバク光明ヲ放ツ發テ見ルニ形質壞セス。生ルカ如クニ蓮花モ萎マズトイヘリ。此ノ人ハ全身壞セス。而モ蓮花ヲ感ゼリ。其舌根ノ壞セザルコトモ知ヌベシ然レモ勝レタルニ約メ今茲ニ列ヌルノミ

#### 播州ノ平願法師法花ヲ誦シ蓮花ヲ感スル事

釋ノ平願法師ハ。播州ノ人ナリ。書寫ノ性空上人ニ事ヘテ常ニ法花ヲ誦ズ。或時深山ニ草庵ヲ結テ經ヲ誦ズ。太風吹テ庵ヲ吹倒ス。平願壓レナガラ經ヲ誦シテ止ズ。忽ニ神人來テ壁ノ破レタル隙ヨリ引出シテ。摩頂慰誘シテ曰ク汝夙殃ノ故ニ此禍ニ遭トイヘ。經王ノ力ノ故ニ身全キヲ得タ

リ。益勤メテ誦ゼハ安樂ヲ得ン。今般ノ歷レタルハ是轉重輕受ナリト。平願歡喜シテ此ヨリ持誦彌勤ム。即チ衣鉢ヲ捨テ法花ヲ書シ。佛像ヲ描ク。或時河壩ニ於テ無遮會ヲ開テ誓テ曰ク。我若シ持經ノ力ニ依テ。必ズ當ニ安養ニ生ズベクハ願ハクハ此地ニ於テ必ズ奇瑞ヲ得ント。明日河邊ニ白蓮華一千餘莖生ズ香氣馥郁タリ。諸人羣集シテ瞻禮シ。驚キ讚歎ストイヘリ

#### 一宿上人ノ事

釋ノ行空法師ハ何ノ許ノ人ト云フヲ詳ンゼズ。五畿七道六十餘州。遍チ行カスト云フナシ。到處ニ夜住セズ。故ニ世ニ一宿上人ト号セリ。隨身ノ資具三衣尚全カラズ。況ヤ其ノ餘ヲヤ。只法花經一部ヲ持シテ暫モ身ヲハナタズ。晝六部誦シ夜モ

遷化ス。須臾ニ口中ヨリ青蓮花七莖生ズ。遠近奔走シテ瞻禮シ。皆不思議ナリト讚歎ス。其ノ邑人イフ龜ヲ造テ葬ムル。二十餘年ヲ經テ其墳ジバク光明ヲ放ツ發テ見ルニ形質壞セス。生ルカ如クニ蓮花モ萎マズトイヘリ。此ノ人ハ全身壞セスシテ。而モ蓮花ヲ感ゼリ。其舌根ノ壞セザルコトモ知ヌベシ然レトモ勝レタルニ約シテ今茲ニ列ヌルノミ

#### 播州ノ平願法師法花ヲ誦シ蓮花ヲ感スル事

釋ノ平願法師ハ。播州ノ人ナリ。書寫ノ性空上人ニ事ヘテ常ニ法花ヲ誦ズ。或時深山ニ草庵ヲ結テ經ヲ誦ズルニ。大風吹テ庵ヲ吹倒ス。平願壓レナガラ經ヲ誦シテ止ズ。忽ニ神人來テ壁ノ破レタル隙ヨリ引出シテ。摩頂慰誘シテ曰ク汝夙殃ノ故ニ此禍ニ遭トイヘトモ。經王ノ力ノ故ニ身全キコトヲ得タ

リ。益勤メテ誦ゼハ安樂ヲ得ン。今般ノ歷レタルハ是轉重輕受ナリト。平願歡喜シテ此ヨリ持誦彌勤ム。即チ衣鉢ヲ捨テ法花ヲ書シ。佛像ヲ描ク。或時河壩ニ於テ無遮會ヲ開テ誓テ曰ク。我若シ持經ノ力ニ依テ。必ズ當ニ安養ニ生ズベクハ願ハクハ此地ニ於テ必ズ奇瑞ヲ得ント。明日河邊ニ白蓮華一千餘莖生ズ香氣馥郁タリ。諸人羣集シテ瞻禮シ。驚キ讚歎ストイヘリ

#### 一宿上人ノ事

釋ノ行空法師ハ何ノ許ノ人ト云コトヲ詳ンゼズ。五畿七道六十餘州。遍チ行カスト云コトナシ。到處ニ夜住セズ。故ニ世ニ一宿上人ト号セリ。隨身ノ資具三衣尚全カラズ。況ヤ其ノ餘ヲヤ。只法花經一部ヲ持シテ暫モ身ヲハナタズ。晝六部誦シ夜モ



亦六部讀誦ス。旅行ノ間、岩路ニ迷フアレバ、天童此ヲ教ユ。若渴乏ノ時ハ、天女水ヲ擎ケテ與フ。若シ病苦アル時ハ、天ノ妙藥自ラ至リ。粥齋乏キ時ハ、天ノ甘露自然ニ現前セリ。年九十ニシテ鎮西ニ於テ遷化ス。臨終ノ時、天衣自ラ身ニ纏ヒ蓮花雙足ヲ承ク。又普賢文殊降臨シテ摩頂シ下フ。一生ノ間、讀誦スル所ノ經、凡ソ三十餘萬部ナリトイヘリ。蓮花雙足ヲ承ルハ口中胸間ヨリ生ゼルト。事異ナリトイヘリ。餘人ノ臨終ニ蓮花ニ坐セルハナシ。故ニ知ヌ經王ノ力ナルヲ。

常ニ法華ヲ誦シテ妙法蓮花ヲ感得スル事

釋ノ蓮長法師ハ持戒堅固ニシテ常ニ法華ヲ誦ズ。沐浴ニアラザレバ帶ヲ解ズ。晝夜臥スコトナシ。金峯山。高野。熊野。志賀。長谷。凡ソ日本國中ノ所有ノ名山勝地ニ到テ。必ズ各法花ヲ

亦六部讀誦ス。旅行ノ間、岩路ニ迷コトアレバ、天童此ヲ教ユ。若渴乏ノ時ハ、天女水ヲ擎ケテ與フ。若シ病苦アル時ハ、天ノ妙藥自ラ至リ。粥齋乏シキ時ハ、天ノ甘露自然ニ現前セリ。年九十ニシテ鎮西ニ於テ遷化ス。臨終ノ時、天衣自ラ身ニ纏ヒ蓮花雙足ヲ承ク。又普賢文殊降臨シテ摩頂シ下フ。一生ノ間、讀誦スル所ノ經、凡ソ三十餘萬部ナリトイヘリ。蓮花雙足ヲ承ルハ口中胸間ヨリ生ゼルト。事異ナリトイヘトモ。餘人ノ臨終ニ蓮花ニ坐セルハナシ。故ニ知ヌ經王ノ力ナルコトヲ。

常ニ法華ヲ誦シテ妙法蓮花ヲ感得スル事

釋ノ蓮長法師ハ持戒堅固ニシテ常ニ法華ヲ誦ズ。沐浴ニアラザレバ帶ヲ解ズ。晝夜臥スコトナシ。金峯山。高野。熊野。志賀。長谷。凡ソ日本國中ノ所有ノ名山勝地ニ到テ。必ズ各法花ヲ

誦ズル事一千部ナリ。天性唇舌迅疾ニシテ一月ノ間二千部誦ズ。臨終ノ時ニ手ニ不時ノ蓮花一莖ヲ持セリ。鮮白薰烈アリ。傍人問此花何ヨリシテカ得タルヤト。蓮長答テ曰ク。是則チ妙法蓮花ナリト言訖テ寂ス。手中ノ蓮花モ忽然ト見ズトイヘリ。嗚呼我等モ本淨ノ蓮體ヲ具足セリ。勤メテ精進シナバ何ゾ速ニ是ノ妙法分陀利花ヲ證得セザラン。況ヤ既ニ諸佛秘密ノ印璽ヲ傳ヘタルヲヤ。

念佛三昧ヲ修シテ蓮花ヲ感ズル人ノ事

釋ノ教眞法師ハ何クノ人ト云コトヲ知ラズ。延曆寺ニ居シテ義學ヲ業トス。兼テ念佛三昧ヲ修ス。臨終ノ夜蓮花其ノ室ニ降ルコト雪ノ飛カ如シ。見ル者ハ唯八人ノミ。餘人ハ見ルコトアタハズ。葬送耶旬ノ地。異香薰シテ七日カ間ダヤマズトイヘリ。此人既ニ台

誦ズル事一千部ナリ。天性唇舌迅疾ニシテ一月ノ間二千部誦ズ。臨終ノ時ニ手ニ不時ノ蓮花一莖ヲ持セリ。鮮白薰烈アリ。傍人問此花何ヨリシテカ得タルヤト。蓮長答テ曰ク。是則チ妙法蓮花ナリト言訖テ寂ス。手中ノ蓮花モ忽然トシテ見ズトイヘリ。嗚呼我等モ本淨ノ蓮體ヲ具足セリ。勤メテ精進シナバ何ゾ速ニ是ノ妙法分陀利花ヲ證得セザラン。況ヤ既ニ諸佛秘密ノ印璽ヲ傳ヘタルヲヤ。

念佛三昧ヲ修シテ蓮花ヲ感ズル人ノ事

釋ノ教眞法師ハ何クノ人ト云コトヲ知ラズ。延曆寺ニ居シテ義學ヲ業トス。兼テ念佛三昧ヲ修ス。臨終ノ夜蓮花其ノ室ニ降ルコト雪ノ飛カ如シ。見ル者ハ唯八人ノミ。餘人ハ見ルコトアタハズ。葬送耶旬ノ地。異香薰シテ七日カ間ダヤマズトイヘリ。此人既ニ台

教ヲ聞ク法華ヲ誦セルヲ明ケシ。設ヒ法花ヲ誦ゼストモ。念佛三昧ヲ修スレバ蓮花ヲ感セルヲ亦宣ナラスヤ。順次ノ往生決定シテ疑ナキ者ナリ

慧心僧都胸ヨリ蓮花ヲ生スル事

慧心ノ僧都諱ハ源信。和州葛木郡ノ人ナリ。睿山ニ登テ慈慧大師ヲ師トス。内ニハ三部三密ノ妙旨ヲ傳ヘ。外ニハ三諦三觀ノ奧義ヲ弘ム。或時ハ馬鳴龍樹ノ摩頂讚歎玉ヲ夢ミ。或時ハ觀自在尊ノ金蓮華ヲ授ケ玉フコトヲ蒙ル。寛仁元年六月十日ニ。門弟子ニ告テ曰ク。我一乗ノ善根ヲ以テ極樂界ニ回向ス。上品下生決定シテ疑ナシト。便定印ヲ結テ端坐シテ遷化シ玉ヘリ。寂後胸ノ間ヨリ青蓮花三莖生ゼリ。終ニ天子ヨリ此ヲメサレケレモ台徒獻ラザリ。サラバ

一莖ヲ奉トアリケレバ。一本ヲマヒラセケリ。二本ハ文殊樓ニ納メタリ。禁中ヘ奉リシ一莖ハ。後ニ宇治ノ寶藏ニ納リケルトナン。實ニ此ノ僧都ハ法花ノ奧義ヲ悟リ。五種法師缺ルコトナク。祕密ノ妙蹟ヲ探テ三密觀行怠リ玉ハズ。シカモ往生要集ヲ撰シテ無量ノ人ニ西方ノ淨業ヲ勸ム。青蓮花ヲ感ジ玉フコト亦宣ナラスヤ

讚岐源太夫發心往生ノ事

昔シ讚岐ノ國何レノ郡トカヤニ。源太夫ト云者アリケリ。佛法ノ名ヲダニシラズ。殺生ヲ好ミ人ヲ亡ボスヨリ外ノ事ナケレバ。近キモ遠キモヲソレタルコト限リナシ。或時狩ノ歸リケル路ニ。人ノ佛ヲ供養スル家ノ前ヲズク。聽聞ノ者集レルヲ見テ何ワザラスレバ人ハ多カルゾト問フ。郎等ノ云

教ヲ聞ク法華ヲ誦セルコト明ケシ。設ヒ法花ヲ誦ゼストモ。念佛三昧ヲ修スレバ蓮花ヲ感セルコト亦宣ナラスヤ。順次ノ往生決定シテ疑ナキ者ナリ

慧心僧都胸ヨリ蓮花ヲ生スル事

慧心ノ僧都諱ハ源信。和州葛木郡ノ人ナリ。睿山ニ登テ慈慧大師ヲ師トス。内ニハ三部三密ノ妙旨ヲ傳ヘ。外ニハ三諦三觀ノ奧義ヲ弘ム。或時ハ馬鳴龍樹ノ摩頂讚歎玉ヲ夢ミ。或時ハ觀自在尊ノ金蓮華ヲ授ケ玉フコトヲ蒙ル。寛仁元年六月十日ニ。門弟子ニ告テ曰ク。我一乗ノ善根ヲ以テ極樂界ニ回向ス。上品下生決定シテ疑ナシト。便定印ヲ結テ端坐シテ遷化シ玉ヘリ。寂後胸ノ間ヨリ青蓮花三莖生ゼリ。終ニ天子ヨリ此ヲメサレケレトモ台徒獻ラザリ。サラバ

一莖ヲ奉レトアリケレバ。一本ヲマヒラセケリ。二本ハ文殊樓ニ納メタリ。禁中ヘ奉リシ一莖ハ。後ニ宇治ノ寶藏ニ納リケルトナン。實ニ此ノ僧都ハ法花ノ奧義ヲ悟リ。五種法師缺ルコトナク。祕密ノ妙蹟ヲ探テ三密觀行怠リ玉ハズ。シカモ往生要集ヲ撰シテ無量ノ人ニ西方ノ淨業ヲ勸ム。青蓮花ヲ感ジ玉フコト亦宣ナラスヤ

讚岐源太夫發心往生ノ事

昔シ讚岐ノ國何レノ郡トカヤニ。源太夫ト云者アリケリ。佛法ノ名ヲダニシラズ。殺生ヲ好ミ人ヲ亡ボスヨリ外ノ事ナケレバ。近キモ遠キモヲソレタルコト限リナシ。或時狩ノ歸リケル路ニ。人ノ佛ヲ供養スル家ノ前ヲズク。聽聞ノ者集レルヲ見テ何ワザラスレバ人ハ多カルゾト問フ。郎等ノ云

佛供養ト云事シ侍ルナリト云。イデヤ興アリ未ダミヌ  
事ゾトテ馬ヨリ下テ。狩装束ノマ、ナガラ。中ヲ分入リ庭モ  
セニ許多居タル人。是情ナシトミルニ。ムネツブレテ。ヒラガリヲ  
リ。コ、ラノ人ノカタヲコヘテ導師ノ法トク傍ニ近ク居テ事  
ノ心ヲ問フ。僧ヲソロシナガラ。説法ヲトメテ阿弥陀ノ御誓  
タノモシキ事。極樂ノタノシミ此ノ世ノ苦シミ。無常ノアリサマ  
ナンドヲ。委細ニ説キ聞ス。此男云ヤウ。イトくイミジキ事ニ  
コソ。サラバ我レ法師ニナリテ。其ノ佛ノ御在ン方ヘ參シト  
思フニ道ヲ知ズ。心ヲイタシテ呼奉シト思フニ應玉ヒナンヤ  
ト云。誠ニ深ク心ヲ起シ玉ハ必スイラヘ玉フベシト答フニ。サ  
ラバ我ヲ只今法師ニナセト云。アレウノマ、ニテトモカクモイ  
ヒヤラズ。其時郎等ヨリ來テ今日ハ物騒シク侍リ。歸リ玉

フテソノ用意シテ出家シ給ハ宜シカラント云ニ。腹立テ己  
ガ計ニテハ我思ヒ立タル事ヲバ。爭テカ妨ゲンツスルゾト  
テ。眼ヲ怒ラカシテ太刀ヲ引マハセバ。恐レ戰テ立ノキヌ。  
大方今日ノ願主ヨリ始テ。アリトアル人色ヲ失ヘリ。近ク  
居ヨリ只今頭ヲ剃ソラテハアシカリナント頻リニ責ム  
レバ。遁ルベキ方ナクテ。戰々法師ニナシツ。衣袈裟乞テウ  
チ著テ。是ヨリ西サマムキテ。聲ノアル限リ南無阿弥陀  
佛ト唱ヘテ行。是ヲ聞人涙ヲナガシテ哀レムカクシツ、曰ヲ  
經テ。ハルカニユキくテ末ニ山寺アリケリ。ソコナル僧アヤ  
シミテ事ノ心ヲ問。シカくトアリノマ、ニ云ヘバ。貴トミ哀ム  
コト限リナシ。サテモ物ホシクヲハスラントテ。乾飯ヲ聊カ引ツ、  
ミテトラセケレバ。露物クハシ心ナシ。只佛ノイラヘ玉ハンマデハ。

佛供養ト云事シ侍ルナリト云。イデヤ興アリ未ダミヌ  
事ゾトテ馬ヨリ下テ。狩装束ノマ、ナガラ。中ヲ分入リ庭モ  
セニ許多居タル人。是情ナシトミルニ。ムネツブレテ。ヒラガリヲ  
リ。コ、ラノ人ノカタヲコヘテ導師ノ法トク傍ニ近ク居テ事  
ノ心ヲ問フ。僧ヲソロシナガラ。説法ヲトメテ阿弥陀ノ御誓  
タノモシキ事。極樂ノタノシミ此ノ世ノ苦シミ。無常ノアリサマ  
ナンドヲ。委細ニ説キ聞ス。此男云ヤウ。イトくイミジキ事ニ  
コソ。サラバ我レ法師ニナリテ。其ノ佛ノ御在ン方ヘ參シト  
思フニ道ヲ知ズ。心ヲイタシテ呼奉シト思フニ應玉ヒナンヤ  
ト云。誠ニ深ク心ヲ起シ玉ハ必スイラヘ玉フベシト答フニ。サ  
ラバ我ヲ只今法師ニナセト云。アレウノマ、ニテトモカクモイ  
ヒヤラズ。其時郎等ヨリ來テ今日ハ物騒シク侍リ。歸リ玉

フテソノ用意シテ出家シ給ハ宜シカラント云ニ。腹立テ己  
ガ計ニテハ我思ヒ立タル事ヲバ。爭テカ妨ゲンツスルゾト  
テ。眼ヲ怒ラカシテ太刀ヲ引マハセバ。恐レ戰テ立ノキヌ。  
大方今日ノ願主ヨリ始テ。アリトアル人色ヲ失ヘリ。近ク  
居ヨリ只今頭ヲ剃ソラテハアシカリナント頻リニ責ム  
レバ。遁ルベキ方ナクテ。戰々法師ニナシツ。衣袈裟乞テウ  
チ著テ。是ヨリ西サマムキテ。聲ノアル限リ南無阿弥陀  
佛ト唱ヘテ行。是ヲ聞人涙ヲナガシテ哀レムカクシツ、曰ヲ  
經テ。ハルカニユキくテ末ニ山寺アリケリ。ソコナル僧アヤ  
シミテ事ノ心ヲ問。シカくトアリノマ、ニ云ヘバ。貴トミ哀ム  
コト限リナシ。サテモ物ホシクヲハスラントテ。乾飯ヲ聊カ引ツ、  
ミテトラセケレバ。露物クハシ心ナシ。只佛ノイラヘ玉ハンマデハ。



山林海河ナリトモ。命ノ絶ニテ限リニテ行ント思フ心ノミ  
深クテ。其外ニハ何事モ覺ヘズトテ尚西ヲ指テヨバヒ行ク。  
彼ノ寺ニヒトリノ僧アリ。跡ヲ尋ネツ、行テ見バ。遙ノ西  
ノ海ギハニサシ出タル山ノ端ナル岩ノ上ニ居タリ。語リテ  
云クコ、ニテ阿弥陀佛ノイラヘ玉ヘバ待奉ルナリトテ聲ヲ  
舉テ呼ビ奉ル。誠ニ海ノ西ニカスカニ御聲聞ヘケリ。聞玉フ  
ニヤ。今ハハヤ歸リ給ヒヌ。サテ七日バカリ過テ又ヲハシテ。我  
ナリタラン相貌ヲ見玉ヘト云ケレバ。ナクノ歸ニケリ。其後云  
シカ如ク日比經テ其寺ノ僧アマタイザナヒ行テ問ヘルニ。本  
ノ處ニ露モカハラズ。掌ヲ合セツ、西ニ向ヒテ睡リタルガ如クニ  
テ居タリ。舌ノ端ヨリ青キ蓮ノ花ナシ。一莖生出タリケルヲ。  
ヲノノ佛ノ如ク拜ミテ。此ノ花ヲ取テ國守ニトラセケルヲ。持

上リテ。宇治殿ニゾ奉リケル。功ヲツメル事ハナケレトモ。一筋ニ  
憑ミ奉ル心深ケレバ。往生スル事又カクノ如シ。舌端ニ蓮花  
生セルコトハ。現ニ阿弥陀佛ノ三昧耶報身ヲ得タルナリ。長明  
ガ發心集ニ此事ヲ記ルセリ

畜生等佛ヲ念シテ靈感ヲ得ル事

宋ノ天台山正等寺ノ觀公ハ。鴈鴒ハチノトリヲ畜フニ能言テ常ニ  
念佛ス。或時立テ穴ノ上ニシテ死ス。仍テ此ヲ葬ムルニ。紫色ノ  
蓮花一朶生ゼリト。元照律師此ヲ贊ヲ作り玉ヘリ○又長  
沙郡ノ人。一ツノ鸚鵡インコヲ養フ。僧ノ念佛スルヲ見テ  
即チ口ニ隨テ念佛スルコト且暮ニタヘズ。因テ此鳥ヲ僧ニ與フ。  
僧愛シテ畜ニ久シクシテ鳥死シヌ。僧哀レンテ棺ヲ具ヘテ是ヲ葬  
ルニ。俄カニ鳥ノ口中ニ蓮花一朶ヲ生ズ。或人頌ヲ作テ曰ク。有ニ

山林海河ナリトモ。命ノ絶ニテ限リニテ行ント思フ心ノミ  
深クテ。其外ニハ何事モ覺ヘズトテ尚西ヲ指テヨバヒ行ク。  
彼ノ寺ニヒトリノ僧アリ。跡ヲ尋ネツ、行テ見バ。遙ノ西  
ノ海ギハニサシ出タル山ノ端ナル岩ノ上ニ居タリ。語リテ  
云クコ、ニテ阿弥陀佛ノイラヘ玉ヘバ待奉ルナリトテ聲ヲ  
舉テ呼ビ奉ル。誠ニ海ノ西ニカスカニ御聲聞ヘケリ。聞玉フ  
ニヤ。今ハハヤ歸リ給ヒヌ。サテ七日バカリ過テ又ヲハシテ。我  
ナリタラン相貌ヲ見玉ヘト云ケレバ。ナクノ歸ニケリ。其後云  
シカ如ク日比經テ其寺ノ僧アマタイザナヒ行テ問ヘルニ。本  
ノ處ニ露モカハラズ。掌ヲ合セツ、西ニ向ヒテ睡リタルガ如クニ  
テ居タリ。舌ノ端ヨリ青キ蓮ノ花ナシ。一莖生出タリケルヲ。  
ヲノノ佛ノ如ク拜ミテ。此ノ花ヲ取テ國守ニトラセケルヲ。持

上リテ。宇治殿ニゾ奉リケル。功ヲツメル事ハナケレトモ。一筋ニ  
憑ミ奉ル心深ケレバ。往生スル事又カクノ如シ。舌端ニ蓮花  
生セルコトハ。現ニ阿弥陀佛ノ三昧耶報身ヲ得タルナリ。長明  
ガ發心集ニ此事ヲ記ルセリ

畜生等佛ヲ念シテ靈感ヲ得ル事

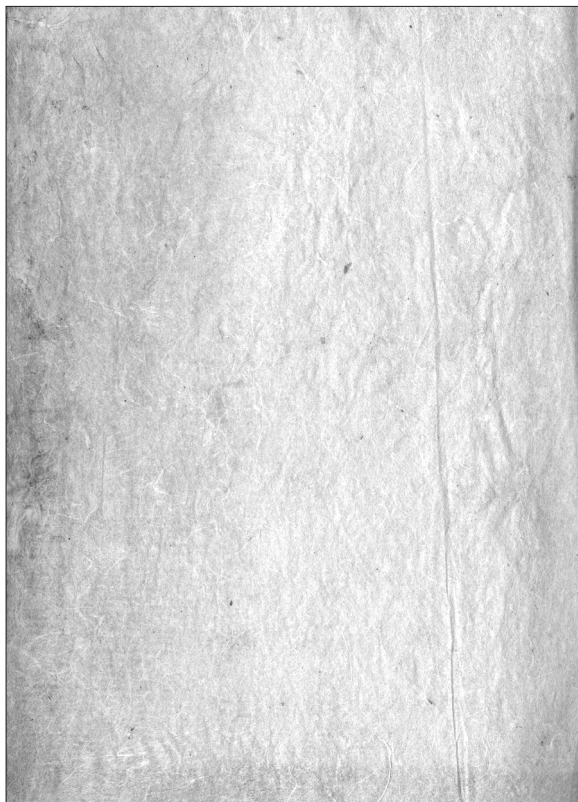
宋ノ天台山正等寺ノ觀公ハ。鴈鴒ハチノトリヲ畜フニ能言テ常ニ  
念佛ス。或時立テ穴ノ上ニシテ死ス。仍テ此ヲ葬ムルニ。紫色ノ  
蓮花一朶生ゼリト。元照律師此ヲ贊ヲ作り玉ヘリ○又長  
沙郡ノ人。一ツノ鸚鵡インコヲ養フ。僧ノ念佛スルヲ見テ  
即チ口ニ隨テ念佛スルコト且暮ニタヘズ。因テ此鳥ヲ僧ニ與フ。  
僧愛シテ畜ニ久シクシテ鳥死シヌ。僧哀レンテ棺ヲ具ヘテ是ヲ葬  
ルニ。俄カニ鳥ノ口中ニ蓮花一朶ヲ生ズ。或人頌ヲ作テ曰ク。有ニ

靈禽ハハ兒。解ス隨レ僧ニ口ニ念ス阿ニ弥ヲ死シ埋ム平地ニ蓮花ヲ發ス我輩ハ爲レ人ニ豈ニ不レ知ラ。佛祖統紀余思フ此ノ二鳥ハ過去ニテ念佛者ナリシニ。少業ニサヘラレテ畜生道ニ墮セルナルベシ。サレトモ宿習ノ故ニ又念佛シ。今餘殃既ニ盡テ。蓮花ノ瑞ヲ感ゼリ。決定往生疑ナキ者ナリ。須達ガ家ノ鸚鵡ト事類スレトモ。彼ハ小乘ナレバ生天ナリ。此ハ大乘ナレバ淨土ニ生ゼリ。吾朝ニモ犬アリ念佛スル人ノ後ニテ念佛ノマネスルアリ。後ニ淨土ニ生スベキヲヤ。サレバ菩薩ハ畜生ヲ見ル時ハ。汝是畜生發菩提心ト唱ヘヨト梵網經ニ説レタリ。況ヤ鸚鵡ナドノ類ハ人ノ口マネスル鳥ナレバ。真言念佛ナド唱ヘナバ。口マネシテ功德ヲ得。後ニハ淨土ニ生ズベシ。○昔シ阿難乞食シテ須達長者カ家ニ到リ。門ニ立テ苦集滅道ノ四諦ヲ唱ヘラレシヲ。鸚鵡聞テ苦集滅道

ト唱ヘテ。門ノ側ノ樹ニ頽タリ頽ルコト七遍セリ。其夜猫ニトラレテ死ス。四諦ヲ唱ヘシ功德ニ依テ。四王天ヨリ他化自在天マデ次第ニ生ジ。又第六天ヨリ四王天マテ次第ニ生ジ。上下スルコト七遍シテ樂ヲウケ。後ニ涅槃ニ入ベシト説ケリ。賢愚經此ハ小乗ノ法ナルスラ尚六欲天ニ七遍生ズルコトヲ得。況ヤ大乘ノ法及秘密真言乗ヲヤ。サレバ猫ニモ光明真言加持ノ土砂ヲ飲シムレバ鼠ヲトラズ。鐵砲ノ筒ノ中ヘモ真言ヲ誦シ入。又ハ土砂ヲ入レバ生類ニ中ラズ。又網罟ニモ土砂ヲ散ズレバ。魚入ラストイヘリ。此皆冥ニ不思議ノ功德アレバナリ。又獵師ノ言ヲ聞ニ獵ニ出ル時ニ道ニテ沙門ニ逢バ其日ハ獵ヲ得ズトイヘリ。此モ出家ハ慈濟ヲ本トスルガ故ナリ。又獵師ハ一念ノ慈悲心ニテモ發リ。生ヲ殺スヲ哀レム心。微塵許モ發レバ生類ヲ得スト。此モ一念

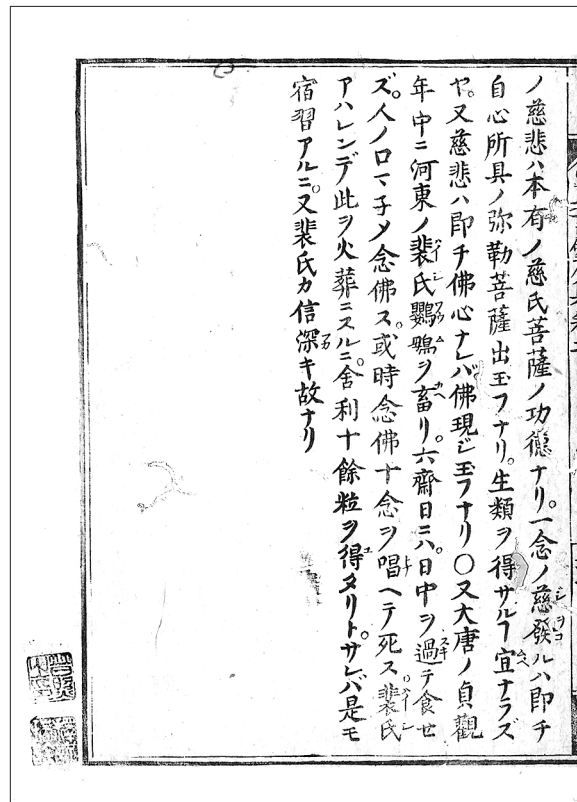
靈禽ハハ八兒。解ス隨レ僧ニ口ニ念ス阿ニ弥ヲ死シ埋ム平地ニ蓮花ヲ發ス我輩ハ爲レ人ニ豈ニ不レ知ラ。佛祖統紀余思フ此ノ二鳥ハ過去ニテ念佛者ナリシニ。少業ニサヘラレテ畜生道ニ墮セルナルベシ。サレトモ宿習ノ故ニ又念佛シ。今餘殃既ニ盡テ。蓮花ノ瑞ヲ感ゼリ。決定往生疑ナキ者ナリ。須達ガ家ノ鸚鵡ト事類スレトモ。彼ハ小乘ナレバ生天ナリ。此ハ大乘ナレバ淨土ニ生ゼリ。吾朝ニモ犬アリ念佛スル人ノ後ニテ念佛ノマネスルアリ。後ニ淨土ニ生スベキヲヤ。サレバ菩薩ハ畜生ヲ見ル時ハ。汝是畜生發菩提心ト唱ヘヨト梵網經ニ説レタリ。況ヤ鸚鵡ナドノ類ハ人ノ口マネスル鳥ナレバ。真言念佛ナド唱ヘナバ。口マネシテ功德ヲ得。後ニハ淨土ニ生ズベシ。○昔シ阿難乞食シテ須達長者カ家ニ到リ。門ニ立テ苦集滅道ノ四諦ヲ唱ヘラレシヲ。鸚鵡聞テ苦集滅道

ト唱ヘテ。門ノ側ノ樹ニ頽タリ頽ルコト七遍セリ。其夜猫ニトラレテ死ス。四諦ヲ唱ヘシ功德ニ依テ。四王天ヨリ他化自在天マデ次第ニ生ジ。又第六天ヨリ四王天マテ次第ニ生ジ。上下スルコト七遍シテ樂ヲウケ。後ニ涅槃ニ入ベシト説ケリ。賢愚經此ハ小乗ノ法ナルスラ尚六欲天ニ七遍生ズルコトヲ得。況ヤ大乘ノ法及秘密真言乗ヲヤ。サレバ猫ニモ光明真言加持ノ土砂ヲ飲シムレバ鼠ヲトラズ。鐵砲ノ筒ノ中ヘモ真言ヲ誦シ入。又ハ土砂ヲ入レバ生類ニ中ラズ。又網罟ニモ土砂ヲ散ズレバ。魚入ラストイヘリ。此皆冥ニ不思議ノ功德アレバナリ。又獵師ノ言ヲ聞ニ獵ニ出ル時ニ道ニテ沙門ニ逢バ其日ハ獵ヲ得ズトイヘリ。此モ出家ハ慈濟ヲ本トスルガ故ナリ。又獵師ハ一念ノ慈悲心ニテモ發リ。生ヲ殺スヲ哀レム心。微塵許モ發レバ生類ヲ得スト。此モ一念



(白丁)

「②裏表紙見返



ノ慈悲ハ本有ノ慈氏菩薩ノ功徳ナリ。一念ノ慈發ルハ即チ  
自心所具ノ弥勒菩薩出玉フナリ。生類ヲ得サルコト宜ナラズ  
ヤ。又慈悲ハ即チ佛心ナレバ。佛現ジ玉フナリ。○又大唐ノ貞觀  
年中ニ河東ノ裴氏鸚鵡ヲ畜リ。六齋日ニハ。日中ヲ過テ食セ  
ズ。人ノ口マネシテ念佛ス。或時念佛十念ヲ唱ヘテ死ス。裴氏  
アハレシテ此ヲ火葬ニスルニ。舍利十餘粒ヲ得タリト。サレバ是モ  
宿習アルニ。又裴氏カ信深キ故ナリ

(印)

普照  
之印

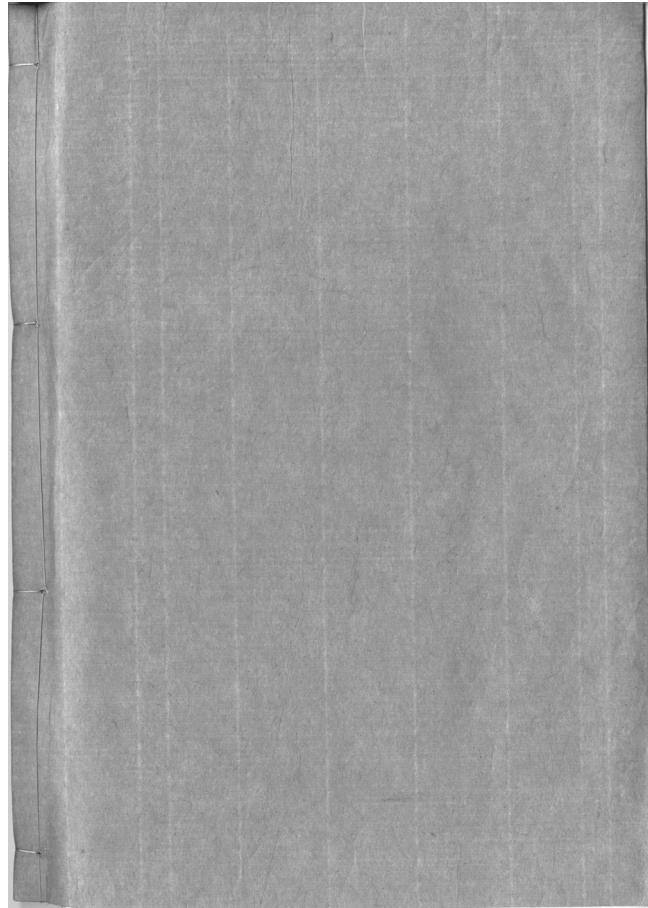
(印)

瑞釋  
詮□

「②57ウ

ノ慈悲ハ本有ノ慈氏菩薩ノ功徳ナリ。一念ノ慈發ルハ即チ  
自心所具ノ弥勒菩薩出玉フナリ。生類ヲ得サルコト宜ナラズ  
ヤ。又慈悲ハ即チ佛心ナレバ。佛現ジ玉フナリ。○又大唐ノ貞觀  
年中ニ河東ノ裴氏鸚鵡ヲ畜リ。六齋日ニハ。日中ヲ過テ食セ  
ズ。人ノ口マネシテ念佛ス。或時念佛十念ヲ唱ヘテ死ス。裴氏  
アハレシテ此ヲ火葬ニスルニ。舍利十餘粒ヲ得タリト。サレバ是モ  
宿習アルニ。又裴氏カ信深キ故ナリ





「②裏表紙

(せきぐち しずお 歴史文化学科)  
(てらつ まりえ 生活機構研究科生活文化史研究専攻修了生)